

米原市民意識調査

【調査報告書】

令和3年7月

米 原 市

【目次】

I 調査概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の設計	2
3. 調査の項目	2
4. アンケート回収結果	3
5. 報告書の見方	4
II 調査結果	5
あなたご自身のことについて	6
まちづくり全般について	13
「1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり」について	26
「2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり」について	30
「3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり」について	36
「4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり」について	45
「5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり」について	46
「6. まちづくりを進めるための基盤」について	52
人口減少対策について	62
新型コロナウイルス感染症対策について	70
自由意見記述の割合	73

I 調査概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

米原市のまちづくりや都市経営などについて市民の意見を伺い、市民の市政に対する評価、これからのまちづくりに対するニーズや意識を把握し、市政運営に当たっての基礎的資料を得ることを目的にアンケート調査を実施しました。

2. 調査の設計

(1) 調査区域：米原市全域

(2) 調査対象：市内に住所を有する 18 歳以上の男女 2,000 人

(3) 抽出方法：令和 3 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法：郵送またはインターネット

※回収率向上の取組として、調査票送付から 2 週間後に案内ハガキを送付

(5) 回答期間：令和 3 年 4 月 10 日（土）から 5 月 10 日（月）まで

3. 調査の項目

(1) 回答者自身の属性（性別、年代、職業、小学校区、家族構成、居住歴、居留意向）

(2) まちづくり全般について（1 問）

(3) 市のまちづくりについて（1 問：34 施策）

(4) 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくりについて（1 問）

(5) とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくりについて（4 問）

(6) 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくりについて（7 問）

(7) 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくりについて（1 問）

(8) 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくりについて（2 問）

(9) まちづくりを進めるための基盤について（6 問）

(10) 人口減少対策について（1 問：4 取組）

(11) 新型コロナウイルス感染症対策について（2 問）

(12) 自由記述

4. アンケート回収結果

回収数／回収率 1,211 票／60.6%

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
全体	2,000	1,211	960	(79.3%)	251	(20.7%)	60.6%

【性別】

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
男性	975	561	417	(74.3%)	144	(25.7%)	57.5%
女性	1,025	644	537	(83.4%)	107	(16.6%)	62.8%
その他	－	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	－
不明・無回答	－	6	6	(100.0%)	0	(0.0%)	－
合計	2,000	1,211	960	(79.3%)	251	(20.7%)	60.6%

【年代別】

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
10歳代	70	27	19	(70.4%)	8	(29.6%)	38.6%
20歳代	197	73	38	(52.1%)	35	(47.9%)	37.1%
30歳代	270	138	92	(66.7%)	46	(33.3%)	51.1%
40歳代	356	181	125	(69.1%)	56	(30.9%)	50.8%
50歳代	352	221	168	(76.0%)	53	(24.0%)	62.8%
60歳代	323	243	204	(84.0%)	39	(16.0%)	75.2%
70歳代	324	256	243	(94.9%)	13	(5.1%)	79.0%
80歳以上	108	71	70	(98.6%)	1	(1.4%)	65.7%
不明・無回答	－	1	1	(100.0%)	0	(0.0%)	－
合計	2,000	1,211	960	(79.3%)	251	(20.7%)	60.6%

【居住地域別】

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
山東地域	601	366	300	(82.0%)	66	(18.0%)	60.9%
伊吹地域	268	163	135	(82.8%)	28	(17.2%)	60.8%
米原地域	592	337	262	(77.7%)	75	(22.3%)	56.9%
近江地域	539	339	258	(76.1%)	81	(23.9%)	62.9%
不明・無回答	－	6	5	(83.3%)	1	(16.7%)	－
合計	2,000	1,211	960	(79.3%)	251	(20.7%)	60.6%

※（ ）内は構成比を表しています。

5. 報告書の見方

- 集計に当たっては、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計値が 100%にならない場合があります。このことは、本報告書内の文章、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100%を超える場合があります。
- グラフまたは図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていないもの、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフの N 数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- グラフ中の回答割合について、グラフが煩雑になる場合は省略しています。
- 本文中の「ポイント」とは、「%」の差を表しています。

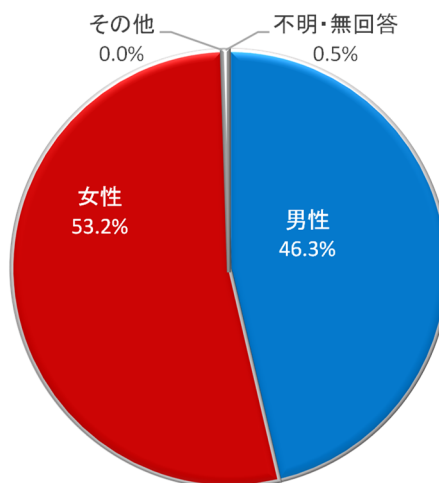
Ⅱ 調査結果

あなたご自身のことについて お伺いします。

問 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

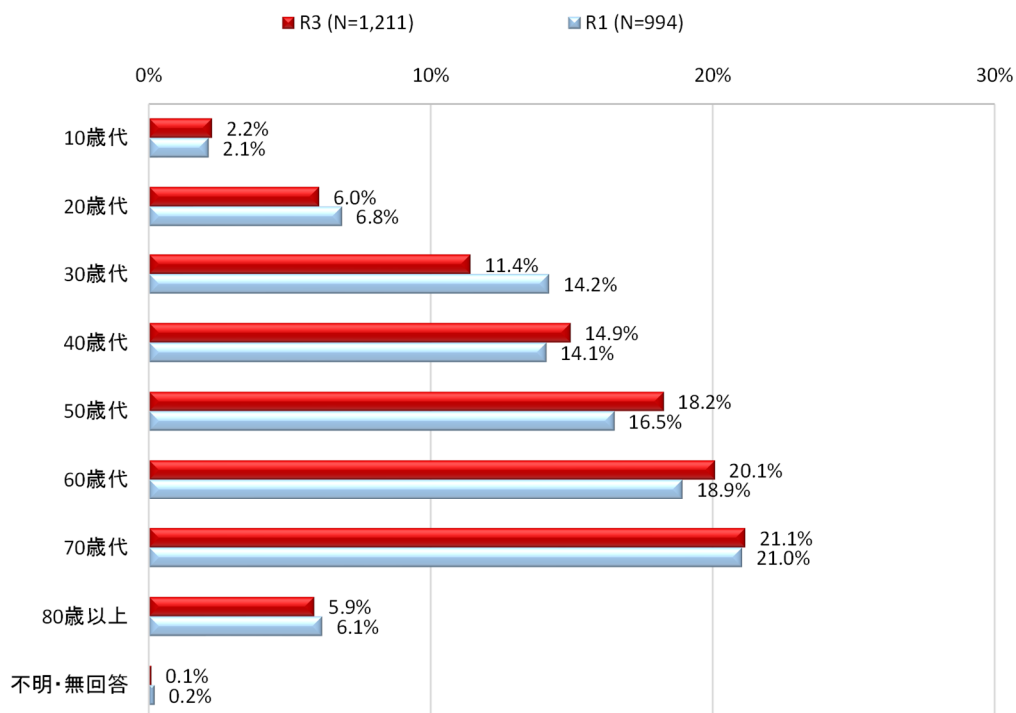
回答者の性別は、「男性」が46.3%、「女性」が53.2%となっています。

(N=1,211)



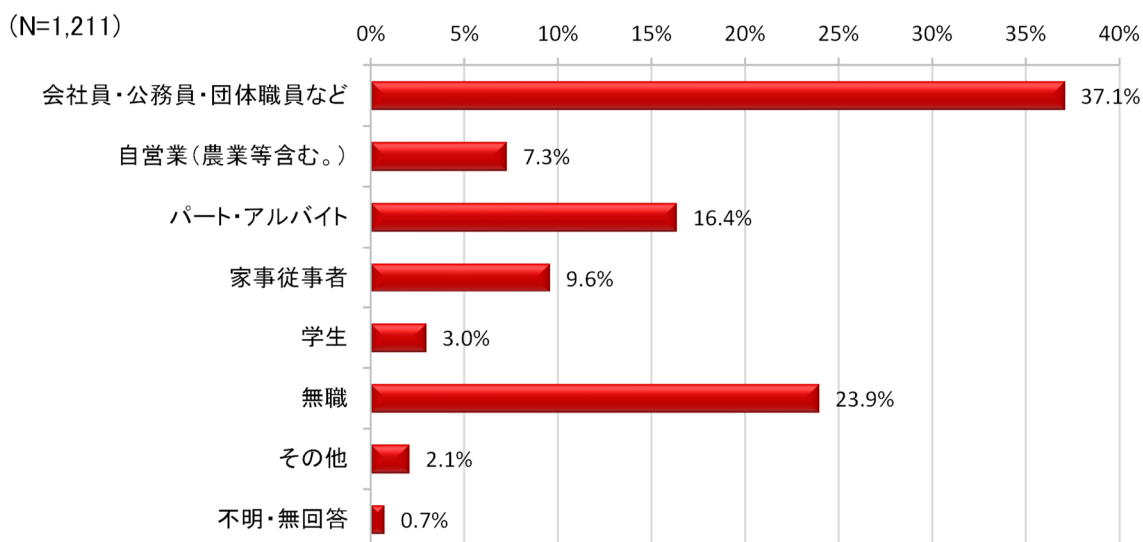
問 2 あなたの年齢は満でおいくつですか。(1つ)

回答者の年代は、「70 歳代」が21.1%と最も高く、次いで「60 歳代」が20.1%となっています。前回調査（令和元年度）と比べると、ほぼ同様な傾向になっています。



問3 あなたのご職業は何ですか。(1つ)

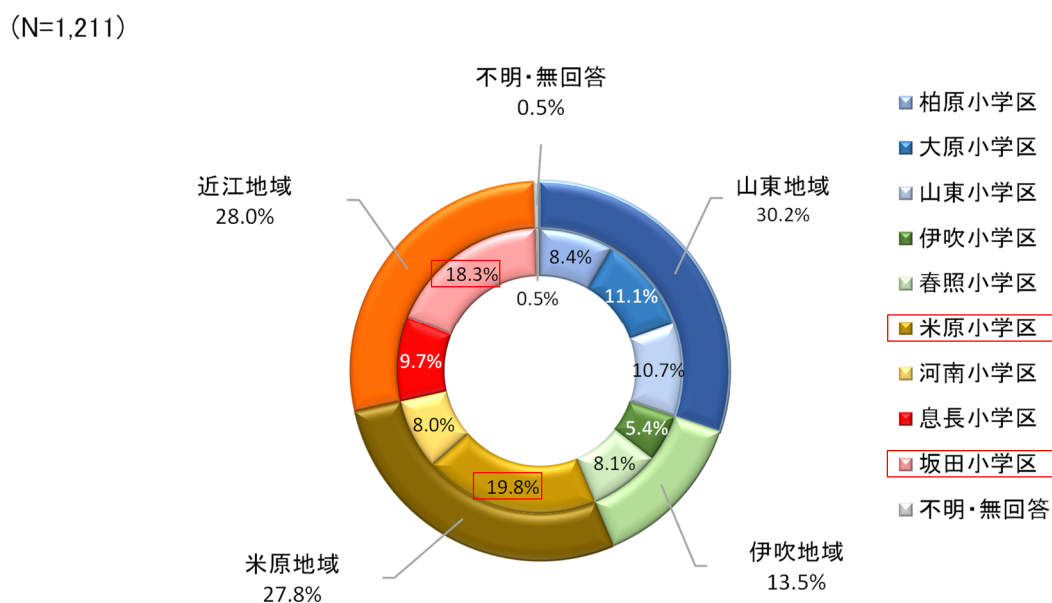
回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員など」が37.1%と最も高く、次いで「無職」が23.9%となっています。



問4 あなたのお住まいはどちらですか。(1つ)

回答者の居住地は、「米原小学区」が19.8%と最も高く、次いで「坂田小学区」が18.3%となっています。

地域別では「山東地域」「近江地域」「米原地域」「伊吹地域」の順となっています。



問5 あなたのご家族の構成はどれですか。また、「3.親と子(2世代世帯)」、「4.3世代以上の世帯」と答えられた方は15歳以下の子どもが「いる」、「いない」についてもお答えください。(1つ)

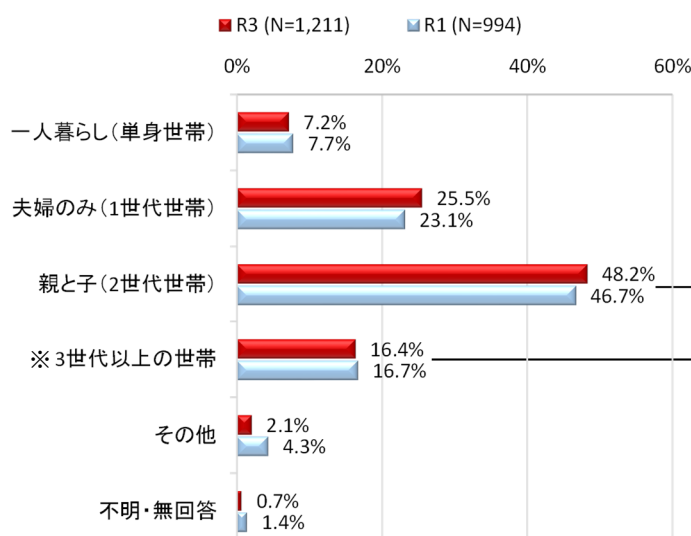
家族構成については、「親と子(2世代世帯)」が48.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ(1世代世帯)」が25.5%、「3世代以上の世帯)」が16.4%となっており、前回調査とほぼ同様の傾向が伺えます。

家族構成で「親と子(2世代世帯)」と答えた方のうち、15歳以下の子どもについては「いない」が58.7%となっています。また、「3世代以上の世帯」と答えた方のうち、15歳以下の子どもについては「いない」が61.1%となっています。

前回調査と比較すると、「いない」と答えた方のうち「親と子(2世代世帯)」では2.0ポイント、「3世代以上の世帯」では1.5ポイント高くなっています。

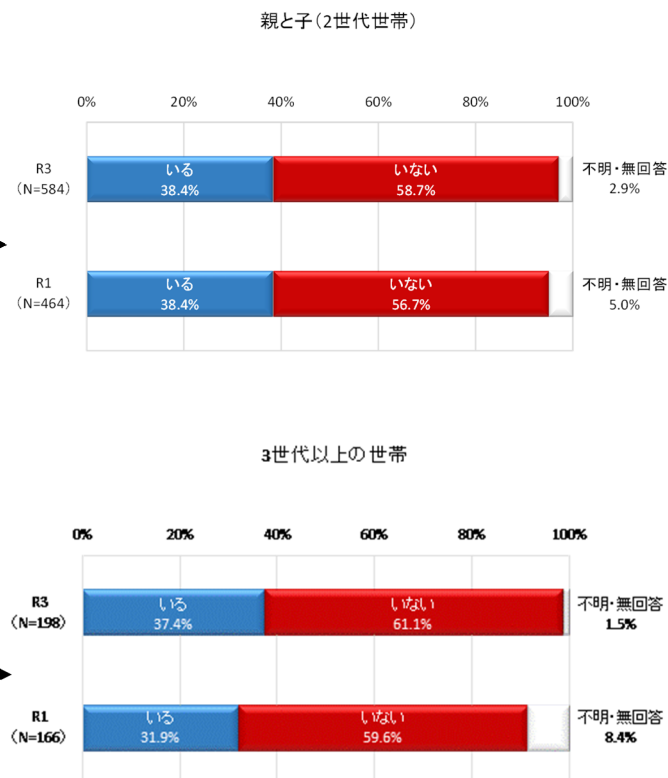
また、「3世代以上の世帯」では前回調査から項目内容が変更されたこともあり、「いる」については5.5ポイント高くなっています。

■家族構成



※今回より、前回項目「親と子と祖父母(3世代世帯)」が「3世代以上の世帯」と変更となっております。

■15歳以下の子どもの有無

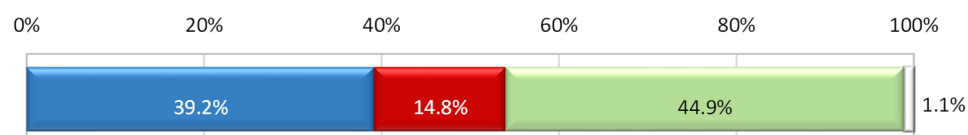


問 6 あなたは、いつから米原市にお住まいですか。（1つ）

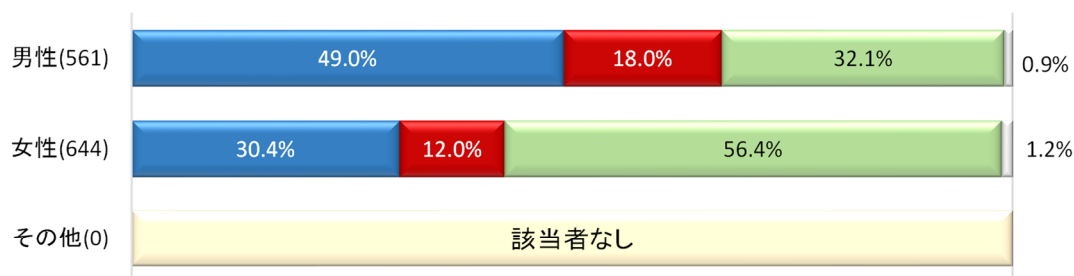
米原市にいつから住んでいるかについて見ると、「市外で生まれて、米原市に転入した」が44.9%と最も高く、次いで「生まれてからずっと米原市に住んでいる」が39.2%となっています。

性別では、男性は「生まれてからずっと米原市に住んでいる」、女性は「市外で生まれて、米原市に転入した」が高くなっています。

(N=1,211)



【性別】

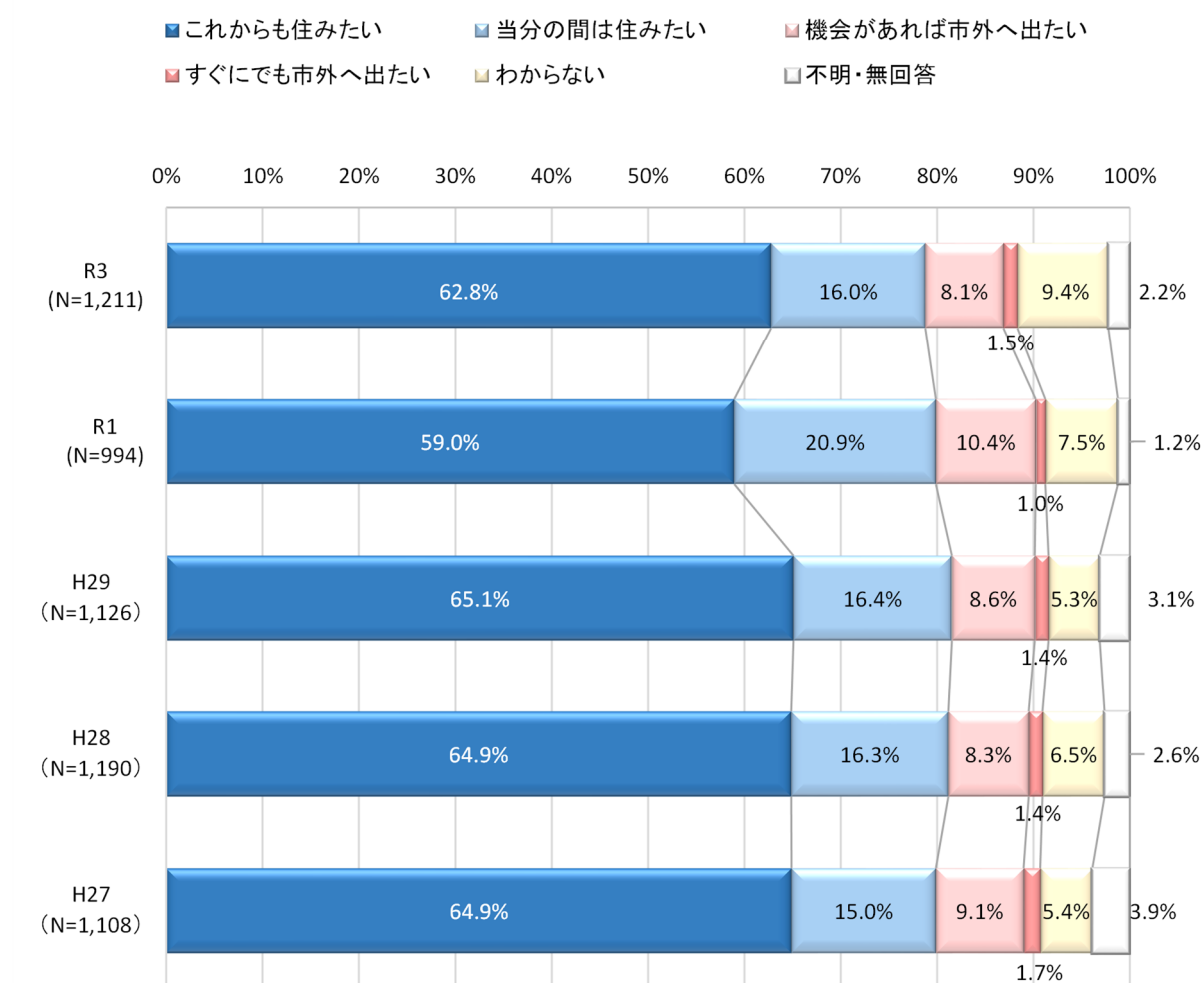


- 生まれてからずっと米原市に住んでいる
- 米原市に生まれて、市外に転出後、再び米原市に転入した
- 市外で生まれて、米原市に転入した
- 不明・無回答

問 7 あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか。(1つ)

これからも米原市に住みたいと思いますかの設問については、「これからも住みたい」が62.8%と最も高く、次いで「当分の間は住みたい」の16.0%となっており、合わせて約8割の市民が米原市への定住を希望しています。

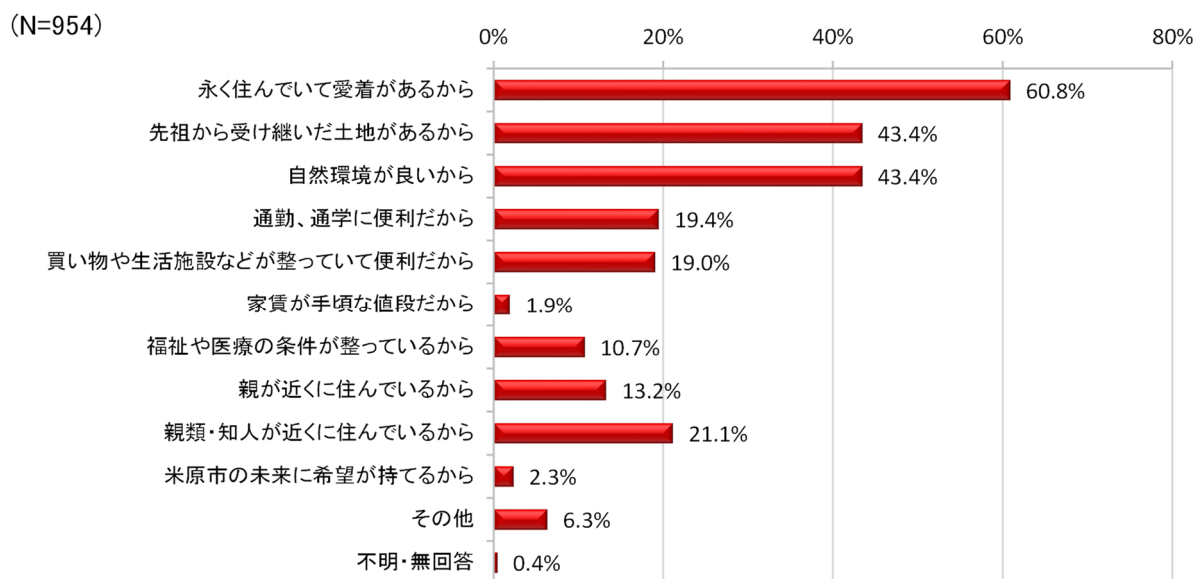
今までに実施した調査と比較したところ、「これからも住みたい」が前回調査より3.8ポイント高くなっています。また、「機会があれば市外へ出たい」と「すぐにでも市外へ出たい」を合わせた『市外へ出たい』は、1割前後で推移しています。



付問 1 【問 7 で「これからも住みたい」、「当分の間は住みたい」と答えられた方】
今後も住みたい理由は何ですか。（4 つまで）

「これからも住みたい」または「当分の間は住みたい」と答えられた方の理由について見ると、「永く住んでいて愛着があるから」が 60.8%と最も高く、次いで「先祖から受け継いだ土地があるから」「自然環境が良いから」が 43.4%となっています。

また、「その他」の具体的な理由としては、「家を建てたから」「交通の便が良いから」などが挙げられています。

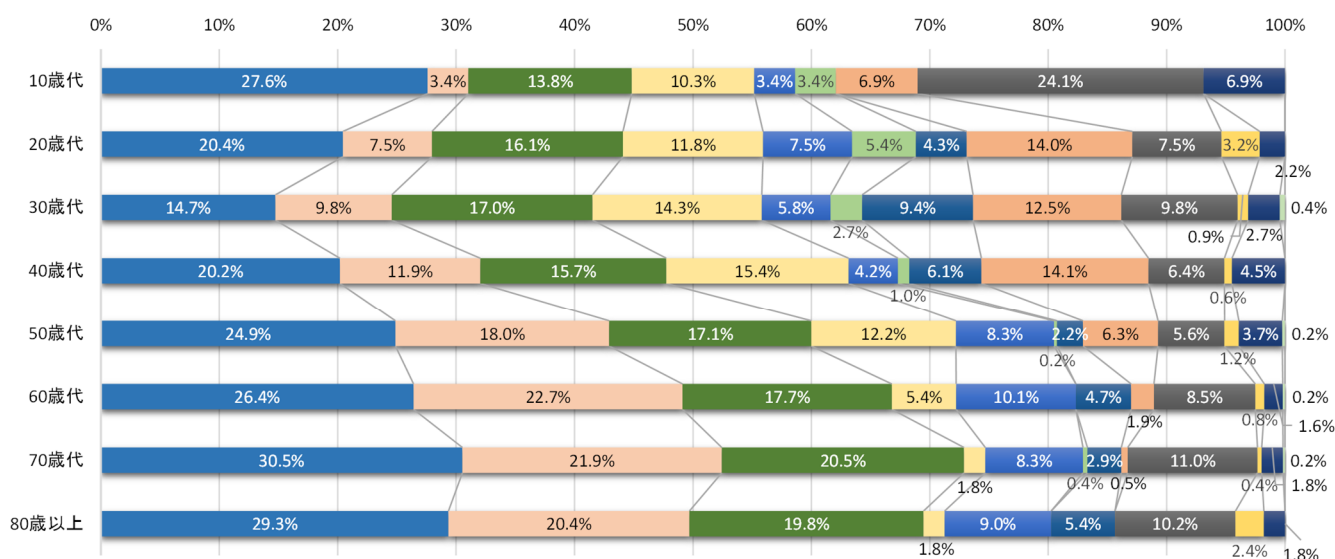


年代別で見ると、「永く住んでいて愛着があるから」がどの年代でも高くなっています。「先祖から受け継いだ土地があるから」は年代が上がるにつれて高くなる傾向が見られます。

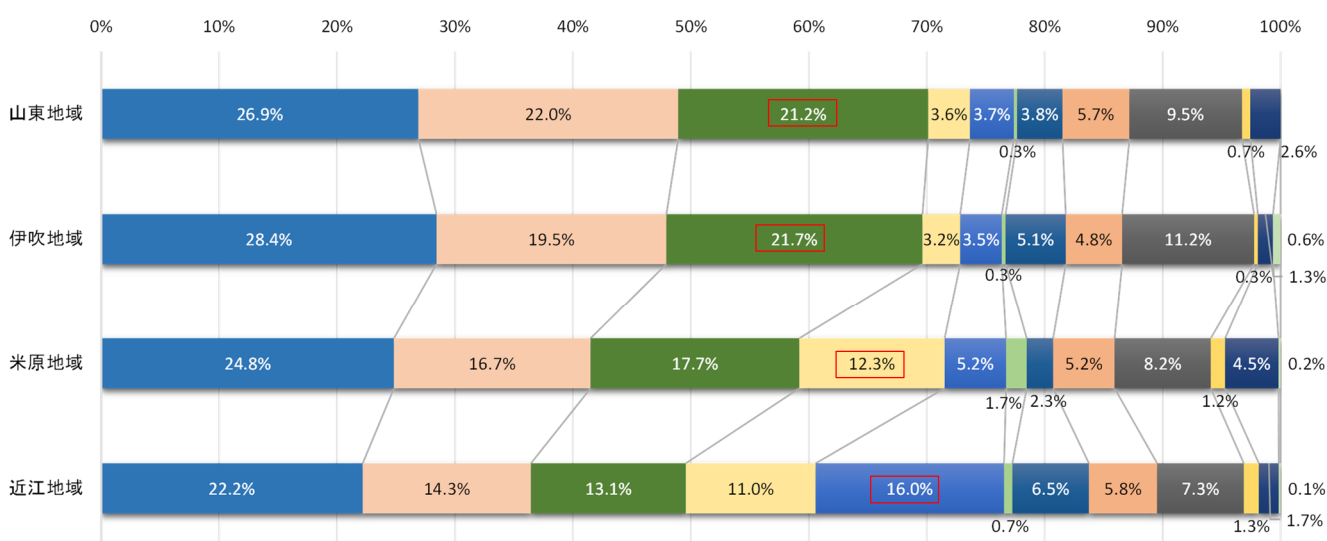
地域別に見ると、「通勤、通学に便利だから」が米原地域、「買い物や生活施設などが整っていて便利だから」が近江地域、「自然環境が良いから」が山東地域と伊吹地域でそれぞれ高くなっています。

- 永く住んでいて愛着があるから
- 先祖から受け継いだ土地があるから
- 自然環境が良いから
- 通勤、通学に便利だから
- 買い物や生活施設などが整っていて便利だから
- 家賃が手頃な値段だから
- 福祉や医療の条件が整っているから
- 親が近くに住んでいるから
- 親類・知人が近くに住んでいるから
- 米原市の未来に希望が持てるから
- その他
- 不明・無回答

【年代別】



【地域別】



まちづくり全般について お伺いします。

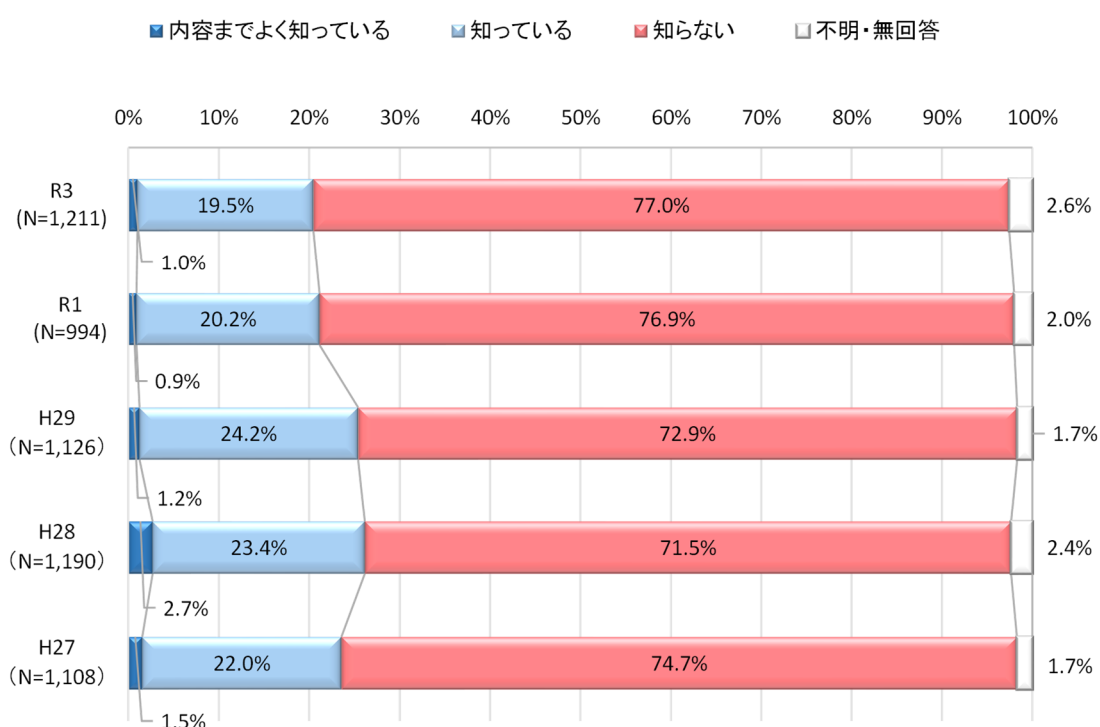
問 8 あなたは、市のまちづくりの基本ルールである「米原市自治基本条例」をご存知ですか。(1 つ)

「米原市自治基本条例」の認知度については、「よく知っている」と「知っている」を合わせると20.5%となっており、前回調査よりやや低くなっています。

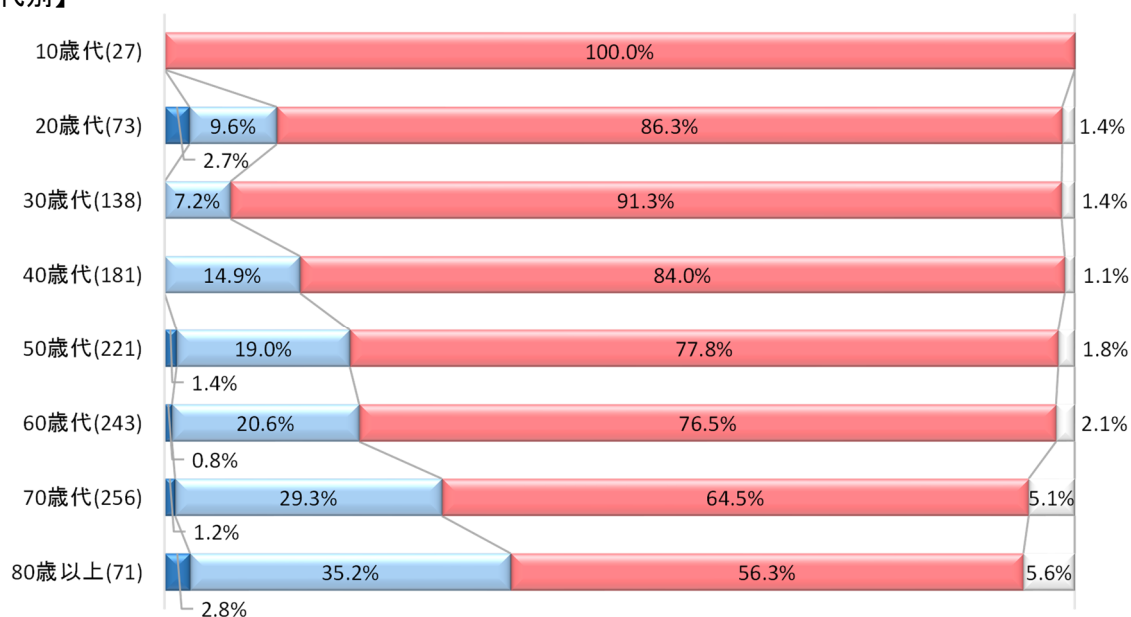
これまでに実施した調査でも7割強近くの市民が「知らない」状況が続いており、引き続き啓発が必要です。

年代別に見ると、10歳代の全ての方が「知らない」と答えています。

年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向が伺えます。



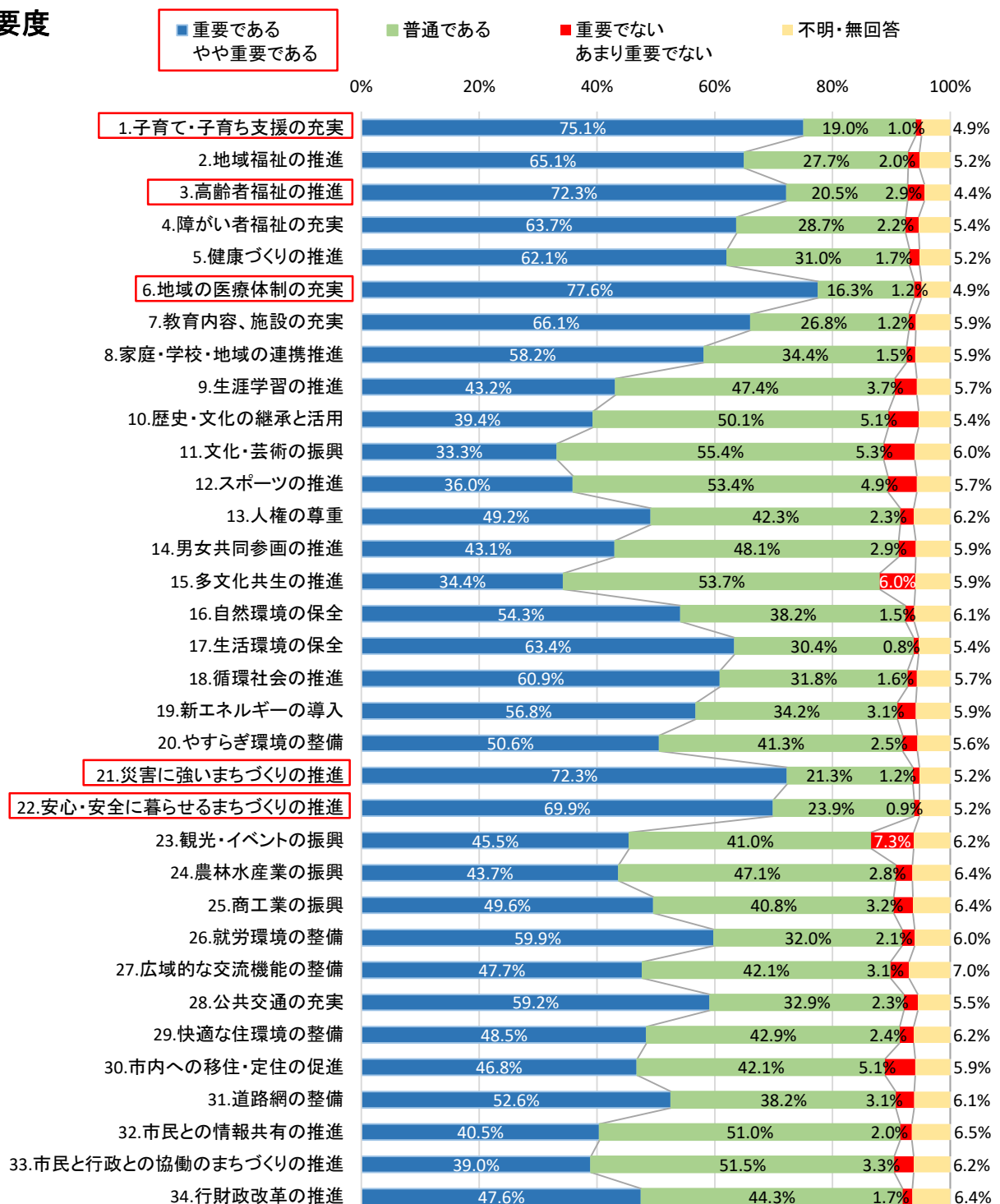
【年代別】



問9 市では、次に示す34項目の施策に取り組んでいます。あなたは、次の各項目について、現状をどのように評価し、コロナ後も見据えた中で、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。あなたの考えに一番近い番号を「1～5」の中からそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。難しく考えずに、イメージでお答えください。（満足度と重要度にそれぞれ1つ）

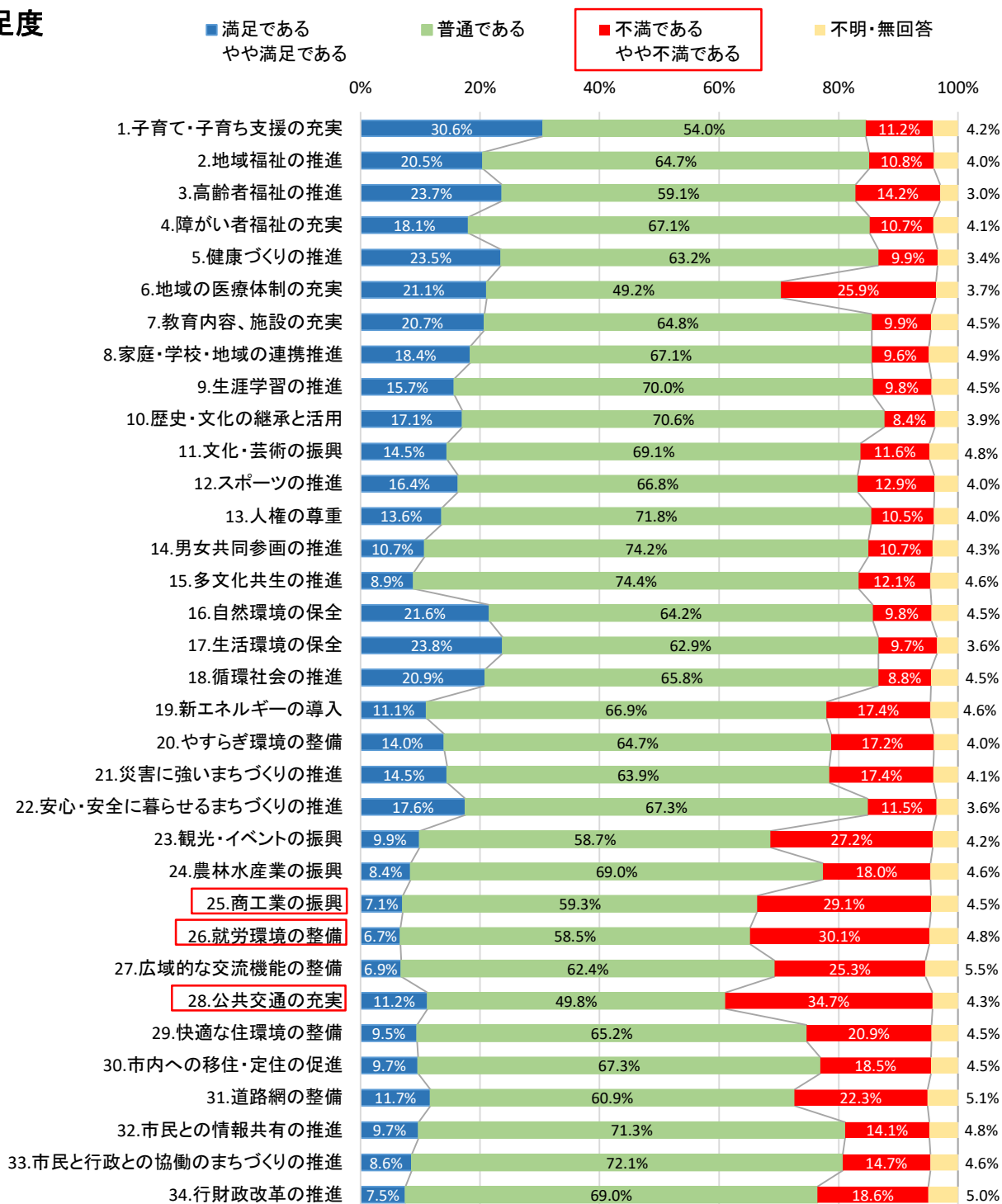
重要度の上位にランクされた項目については、コロナ禍の現状も加わり「6.地域の医療体制」が77.6%と最も高く、次いで「1.子育て・子育て支援」「3.高齢者福祉」「21.災害に強いまちづくり」「22.安心・安全に暮らせるまちづくり」となっており、前回調査と同様に重要度が高いものと認識されていることから、今後も継続して取組を進める必要があります。

重要度



満足度では、「不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満度』について、「28. 公共交通の充実」が34.7%、「26. 就労環境の整備」が30.1%、「25. 商工業の振興」が29.1%の順に高くなっています。前回調査と同様に、快適で安心して利用できる公共交通の確保や企業誘致等による多様な雇用機会の創出、交通の要衝である立地条件や地域資源を活かした商工業の活性化に力を入れていくことが求められています。

満足度

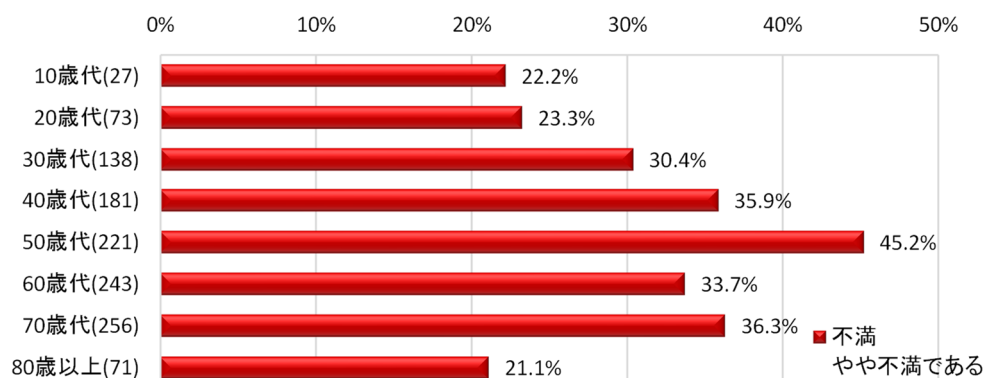


◆年代別

不満度の上位3つについて年代別に見ると、40～60歳代で不満と感じている割合が高くなっています。

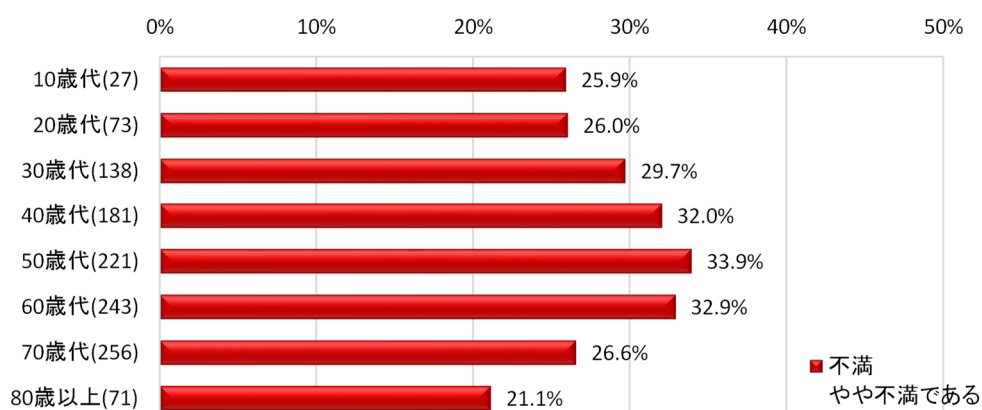
【年代別】

「28. 公共交通の充実」不満度1位



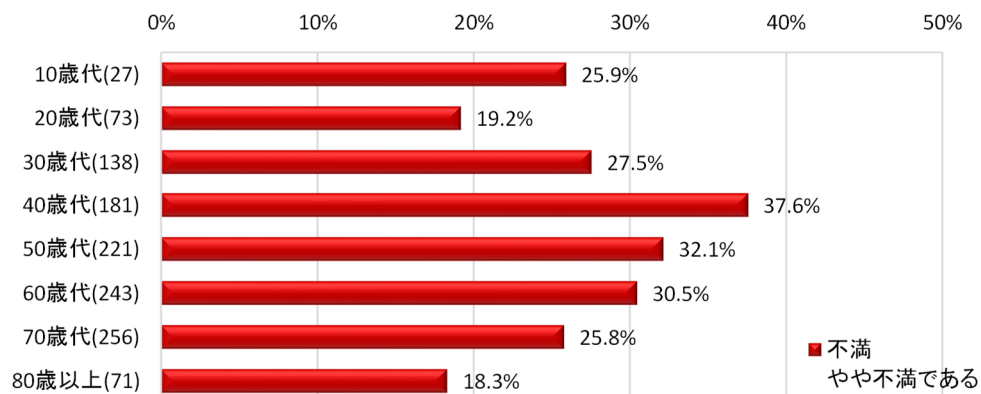
【年代別】

「26. 就労環境の整備」不満度2位



【年代別】

「25. 商工業の振興」不満度3位



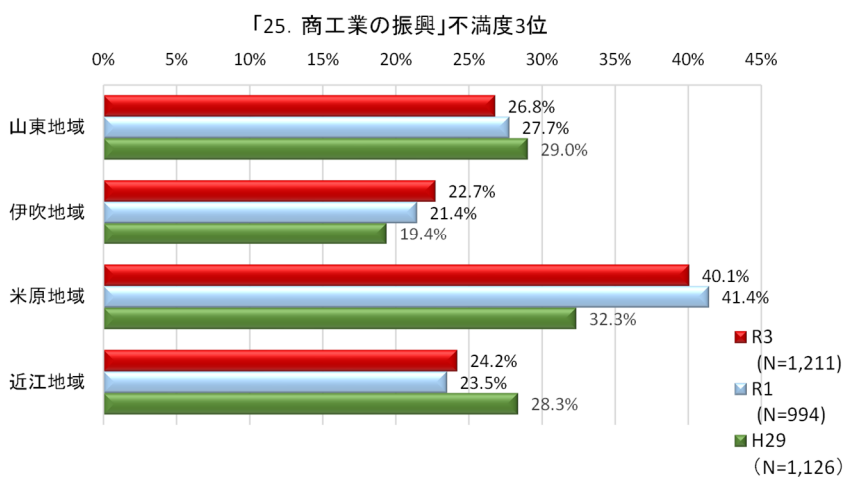
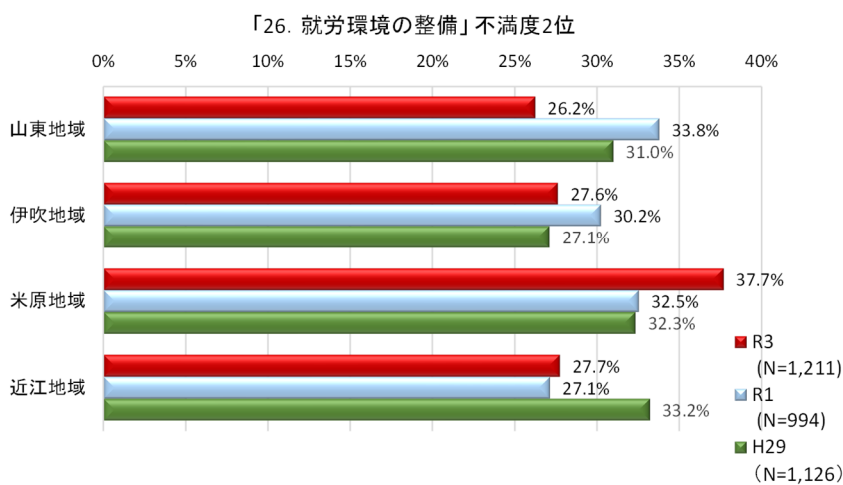
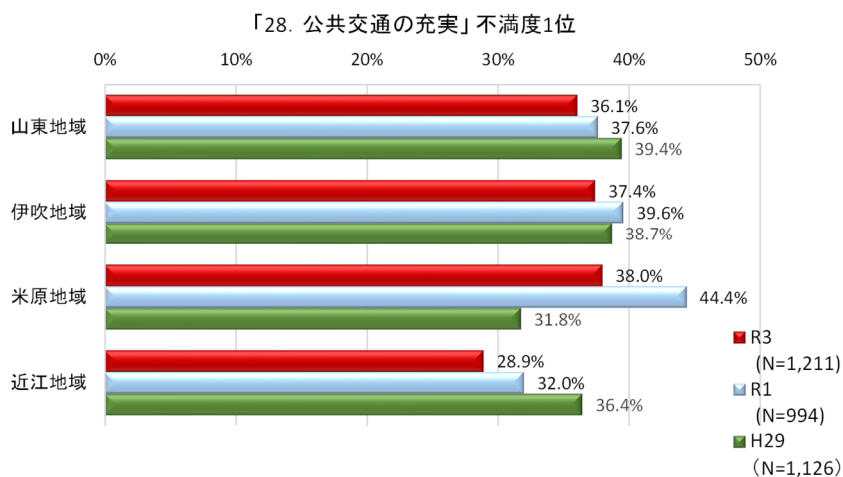
◆地域別

不満度の上位3つについて地域別に見ると、「公共交通の充実」では、全ての地域において前回調査より低くなっており、特に米原地域では6.4ポイントと最も低くなっています。

「就労環境の整備」では、山東地域では7.6ポイント低く、米原地域では5.2ポイント高くなっています。

「商工業の振興」では、前回調査とほぼ同様な傾向が伺えます。

※参考：前々回調査（H29）を表記



◆全施策における年代別の傾向

全施策における年代別の満足度と不満度を分類した結果、『満足である』については、「1. 子育て・子育て支援」では30～60歳代、「17. 生活環境の保全」では10～40歳代と70歳代以上がそれぞれ高くなっています。

『不満である』については、「28. 公共交通の充実」、「26. 就労環境の整備」、「25. 商工業の振興」全てにおいてほとんどの年代で高くなっています。また、「23. 観光・イベントの振興」では、10～40歳代の割合が高くなっています。

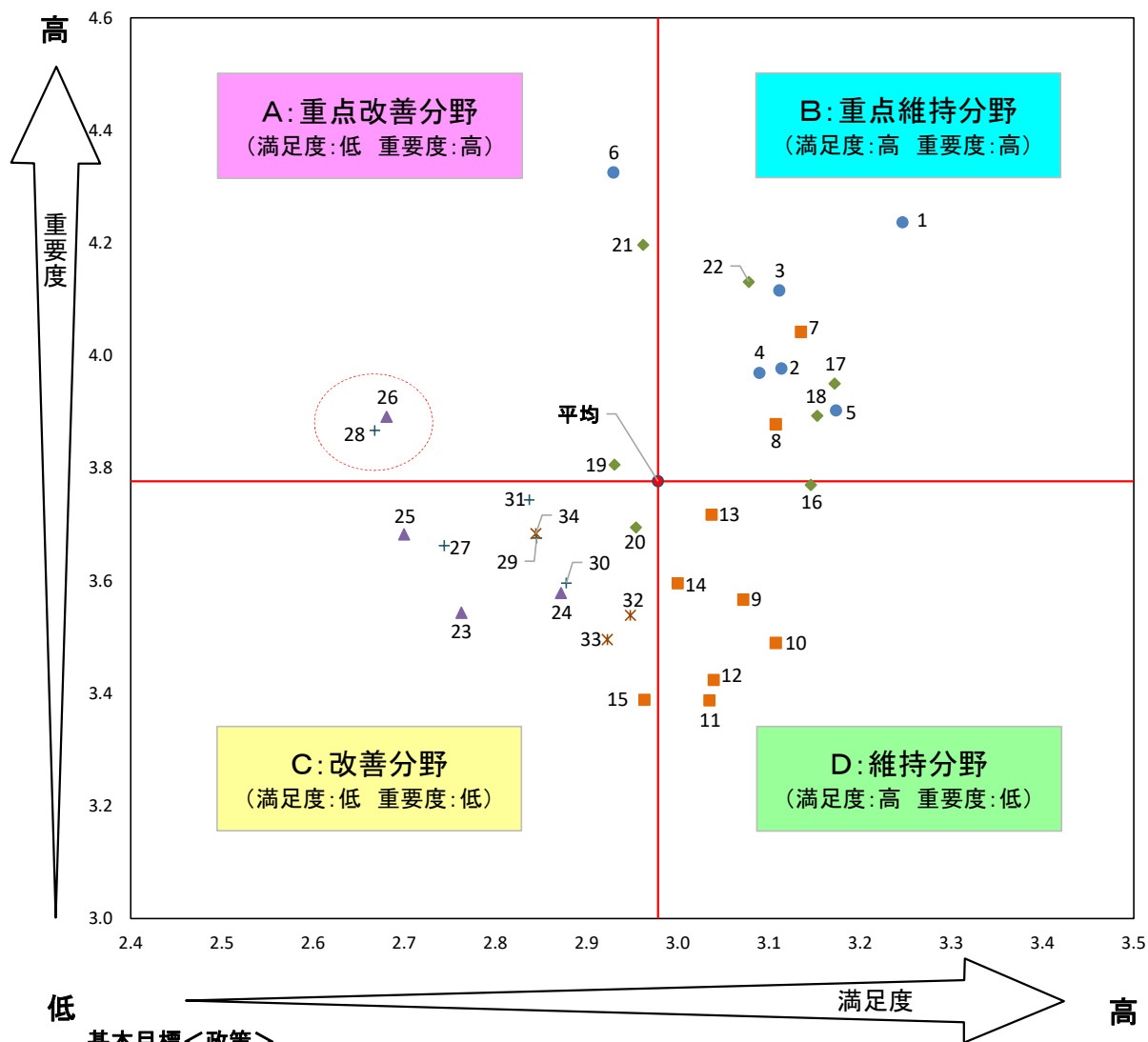
		※上段は回答数、下段は回答者に対する割合 各項目で上位3番まで着色																												1番目	2番目	3番目		
問9 満足度×年齢 【満足である】	1.子育て・ 子育て支援の充実	2.地域福祉の推進	3.高齢者福祉の推進	4.障がい者福祉の充実	5.健康づくりの推進	6.地域の医療体制の充実	7.教育内容、施設の充実	8.家庭・学校・地域の連携推進	9.生涯学習の推進	10.歴史・文化の継承と活用	11.文化・芸術の振興	12.スポーツの推進	13.人権の尊重	14.男女共同参画の推進	15.多文化共生の推進	16.自然環境の保全	17.生活環境の保全	18.循環社会の推進	19.新エネルギーの導入	20.やさしき環境の整備	21.災害に強いまちづくりの推進	22.安心・安全に暮らせるまちづくりの推進	23.観光・イベントの振興	24.農林水産業の振興	25.商工業の振興	26.就労環境の整備	27.広域的な交流機能の整備	28.公共交通の充実	29.快適な住環境の整備	30.市内への移住・定住の促進	31.道路網の整備	32.市民との情報共有の推進	33.市民と行政との協働のまちづくりの推進	34.行財政改革の推進
10歳代	6 22.2%	6 22.2%	8 29.6%	8 29.6%	6 22.2%	9 33.3%	7 25.9%	7 25.9%	5 18.5%	5 18.5%	5 18.5%	7 25.9%	6 22.2%	6 22.2%	5 18.5%	9 33.3%	7 25.9%	7 25.9%	4 14.8%	4 14.8%	6 22.2%	8 29.6%	5 18.5%	5 18.5%	4 14.8%	4 14.8%	3 11.1%	5 18.5%	3 11.1%	1 3.7%	3 11.1%	4 14.8%	2 7.4%	3 11.1%
20歳代	21 28.8%	16 21.9%	22 30.1%	15 20.5%	20 27.4%	16 21.9%	21 28.8%	20 27.4%	16 21.9%	24 32.9%	20 27.4%	23 31.5%	16 21.9%	13 17.8%	11 15.1%	21 28.8%	22 30.1%	16 21.9%	14 19.2%	14 19.2%	16 21.9%	14 19.2%	15 20.5%	8 11.0%	9 12.3%	10 13.7%	10 13.7%	15 20.5%	12 16.4%	11 15.1%	14 19.2%	10 13.7%	8 11.0%	10 13.7%
30歳代	54 39.1%	26 18.8%	25 18.1%	27 19.6%	28 20.3%	31 22.5%	32 23.2%	29 21.0%	24 17.4%	30 21.7%	23 16.7%	28 20.3%	27 19.6%	18 13.0%	17 12.3%	38 27.5%	38 27.5%	28 20.3%	22 15.9%	24 17.4%	20 14.5%	28 20.3%	17 12.3%	17 12.3%	12 8.7%	8 5.8%	14 10.1%	19 13.8%	16 11.6%	16 11.6%	19 13.8%	13 9.4%	11 8.0%	
40歳代	79 43.6%	43 23.8%	45 24.9%	37 20.4%	45 24.9%	40 22.1%	43 23.8%	39 21.5%	33 18.2%	32 17.7%	30 16.6%	27 14.9%	20 11.0%	16 8.8%	16 8.8%	41 22.7%	47 26.0%	33 18.2%	15 8.3%	24 13.3%	29 16.0%	32 17.7%	17 9.4%	17 9.4%	13 7.2%	12 6.6%	13 7.2%	24 13.3%	21 11.6%	22 12.2%	26 14.4%	20 11.0%	19 10.5%	16 8.8%
50歳代	54 24.4%	37 16.7%	45 20.4%	26 11.8%	41 18.6%	32 14.5%	30 13.6%	26 11.8%	29 13.1%	24 10.9%	20 9.0%	27 12.2%	15 6.8%	11 5.0%	15 6.8%	37 16.7%	33 14.9%	29 13.1%	12 5.4%	16 7.2%	18 8.1%	25 11.3%	14 6.3%	18 8.1%	16 7.2%	10 4.5%	14 6.3%	20 9.0%	10 4.5%	17 7.7%	15 6.8%	12 5.4%	11 5.0%	12 5.4%
60歳代	68 28.0%	46 18.9%	52 21.4%	36 14.8%	57 23.5%	42 17.3%	47 19.3%	36 14.8%	32 13.2%	30 12.3%	24 9.9%	29 11.9%	25 10.3%	21 8.6%	13 5.3%	39 16.0%	43 17.7%	45 18.5%	20 8.2%	33 13.6%	31 12.8%	30 12.3%	17 7.0%	11 4.5%	9 3.7%	12 4.9%	12 4.9%	24 9.9%	18 7.4%	14 5.8%	26 10.7%	22 9.1%	19 7.8%	15 6.2%
70歳代	69 27.0%	60 23.4%	69 27.0%	55 21.5%	72 28.1%	69 27.0%	58 22.7%	49 19.1%	36 14.1%	44 17.2%	42 16.4%	46 18.0%	41 16.0%	34 13.3%	23 9.0%	58 22.7%	71 27.7%	73 28.5%	36 14.1%	45 17.6%	42 16.4%	56 21.9%	25 9.8%	19 7.4%	16 6.3%	22 8.6%	19 7.4%	24 9.4%	26 10.2%	26 10.2%	34 13.3%	25 9.8%	22 8.6%	20 7.8%
80歳以上	19 26.8%	14 19.7%	21 29.6%	15 21.1%	15 21.1%	16 22.5%	13 18.3%	17 23.9%	14 19.7%	18 25.4%	11 15.5%	11 15.5%	15 21.1%	10 14.1%	8 11.3%	18 25.4%	27 38.0%	22 31.0%	10 14.1%	10 14.1%	14 19.7%	20 28.2%	10 14.1%	7 9.9%	7 9.9%	5 7.0%	4 5.6%	9 12.7%	5 7.0%	10 14.1%	8 11.3%	6 8.5%	9 12.7%	4 5.6%

		※上段は回答数、下段は回答者に対する割合 各項目で上位3番まで着色																												1番目	2番目	3番目		
問9 満足度×年齢 【不満である】	1.子育て・ 子育て支援の充実	2.地域福祉の推進	3.高齢者福祉の推進	4.障がい者福祉の充実	5.健康づくりの推進	6.地域の医療体制の充実	7.教育内容、施設の充実	8.家庭・学校・地域の連携推進	9.生涯学習の推進	10.歴史・文化の継承と活用	11.文化・芸術の振興	12.スポーツの推進	13.人権の尊重	14.男女共同参画の推進	15.多文化共生の推進	16.自然環境の保全	17.生活環境の保全	18.循環社会の推進	19.新エネルギーの導入	20.やさしき環境の整備	21.災害に強いまちづくりの推進	22.安心・安全に暮らせるまちづくりの推進	23.観光・イベントの振興	24.農林水産業の振興	25.商工業の振興	26.就労環境の整備	27.広域的な交流機能の整備	28.公共交通の充実	29.快適な住環境の整備	30.市内への移住・定住の促進	31.道路網の整備	32.市民との情報共有の推進	33.市民と行政との協働のまちづくりの推進	34.行財政改革の推進
10歳代	3 11.1%	2 7.4%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	4 14.8%	3 11.1%	1 3.7%	3 11.1%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%	4 14.8%	1 3.7%	3 11.1%	2 7.4%	5 18.5%	3 11.1%	4 14.8%	5 18.5%	3 11.1%	2 7.4%	9 33.3%	4 14.8%	7 25.9%	7 25.9%	4 14.8%	6 22.2%	5 18.5%	4 14.8%	3 11.1%	3 11.1%	2 7.4%	2 7.4%
20歳代	9 12.3%	6 8.2%	5 6.8%	3 4.1%	4 5.5%	10 13.7%	6 8.2%	5 6.8%	3 4.1%	3 4.1%	5 6.8%	9 12.3%	5 6.8%	5 6.8%	3 4.1%	3 4.1%	3 4.1%	5 6.8%	11 15.1%	5 6.8%	10 13.7%	7 9.6%	19 26.0%	6 8.2%	14 19.2%	19 26.0%	13 17.8%	17 23.3%	10 13.7%	7 9.6%	19 26.0%	5 6.8%	5 6.8%	6 8.2%
30歳代	16 11.6%	12 8.7%	7 5.1%	6 4.3%	9 6.5%	44 31.9%	15 10.9%	20 14.5%	11 8.0%	10 7.2%	14 10.1%	18 13.0%	12 8.7%	14 10.1%	16 11.6%	11 8.0%	14 10.1%	11 8.0%	18 13.0%	31 22.5%	22 15.9%	20 14.5%	44 31.9%	19 13.8%	38 27.5%	41 29.7%	37 26.8%	42 30.4%	36 26.1%	18 13.0%	34 24.6%	18 13.0%	17 12.3%	26 18.8%
40歳代	21 11.6%	19 10.5%	21 11.6%	20 11.0%	17 9.4%	52 28.7%	28 15.5%	18 9.9%	21 11.6%	12 6.6%	22 12.2%	31 17.1%	23 12.7%	22 12.2%	27 14.9%	21 11.6%	24 13.3%	20 11.0%	32 17.7%	40 22.1%	34 18.8%	24 13.3%	73 40.3%	42 23.2%	68 37.6%	58 32.0%	63 34.8%	65 35.9%	45 24.9%	36 19.9%	54 29.8%	28 15.5%	29 16.0%	40 22.1%
50歳代	29 13.1%	22 10.0%	40 18.1%	32 14.5%	26 11.8%	67 30.3%	24 10.9%	22 10.0%	20 9.0%	22 10.0%	33 14.9%	32 14.5%	19 8.6%	24 10.9%	32 14.5%	15 6.8%	17 7.7%	16 7.2%	42 19.0%	36 16.3%	40 18.1%	27 12.2%	62 28.1%	44 19.9%	71 32.1%	75 33.9%	63 28.5%	100 45.2%	52 23.5%	49 22.2%	57 25.8%	34 15.4%	34 15.4%	50 22.6%
60歳代	29 11.9%	28 11.5%	42 17.3%	34 14.0%	27 11.1%	62 25.5%	26 10.7%	20 8.2%	26 10.7%	19 7.8%	37 15.2%	29 11.9%	24 9.9%	33 13.6%	32 13.2%	28 11.5%	23 9.5%	20 8.2%	46 18.9%	43 17.7%	47 19.3%	24 9.9%	62 25.5%	50 20.6%	74 30.5%	80 32.9%	63 25.9%	82 33.7%	45 18.5%	43 17.7%	43 17.7%	35 14.4%	41 16.9%	45 18.5%
70歳代	26 10.2%	31 12.1%	44 17.2%	27 10.5%	29 11.3%	60 23.4%	14 5.5%	26 10.2%	29 11.3%	25 9.8%	23 9.0%	27 10.5%	33 12.9%	30 11.7%	30 11.7%	34 13.3%	30 11.7%	24 9.4%	51 19.9%	40 15.6%	45 17.6%	27 10.5%	52 20.3%	45 17.6%	66 25.8%	68 26.6%	54 21.1%	93 36.3%	49 19.1%	55 21.5%	50 19.5%	40 15.6%	43 16.8%	49 19.1%
80歳以上	3 4.2%	10 14.1%	10 14.1%	6 8.5%	7 9.9%	15 21.1%	4 5.6%	3 4.2%	6 8.5%	7 9.9%	4 5.6%	6 8.5%	6 8.5%	1 1.4%	3 4.2%	4 5.6%	2 2.8%	6 8.5%	7 9.9%	7 9.9%	9 12.7%	7 9.9%	8 11.3%	7 9.9%	13 18.3%	15 21.1%	8 11.3%	15 21.1%	11 15.5%	11 15.5%	9 12.7%	7 9.9%	7 9.9%	6 8.5%

◆満足度・重要度の散布図

それぞれの施策の満足度・重要度を得点化し、平均を算出したところ、以下のような散布状況となっています（施策名については、14、15 ページにあるグラフの該当する番号の施策名を参照）。

前回調査と同様に、「26. 就労環境の整備」「28. 公共交通の充実」といった満足度が低くなっています。重要度が高い A の領域にある施策について、重点改善分野として取り組んでいく必要があります。



基本目標＜政策＞

- 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり
- ◆ 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり
- ▲ 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり
- + 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり
- とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり
- ✱ まちづくりを進めるための基盤

【得点化の手順】

満足度		得点	重要度		得点
満足である	→	5 点	重要である	→	5 点
やや満足である	→	4 点	やや重要である	→	4 点
普通である	→	3 点	普通である	→	3 点
やや不満である	→	2 点	あまり重要でない	→	2 点
不満である	→	1 点	重要でない	→	1 点

※不明・無回答については計算の対象外

※全施策平均値 満足度：2.98 点 重要度：3.78 点

■前回調査（令和元年度）との比較

基本目標 1.健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり

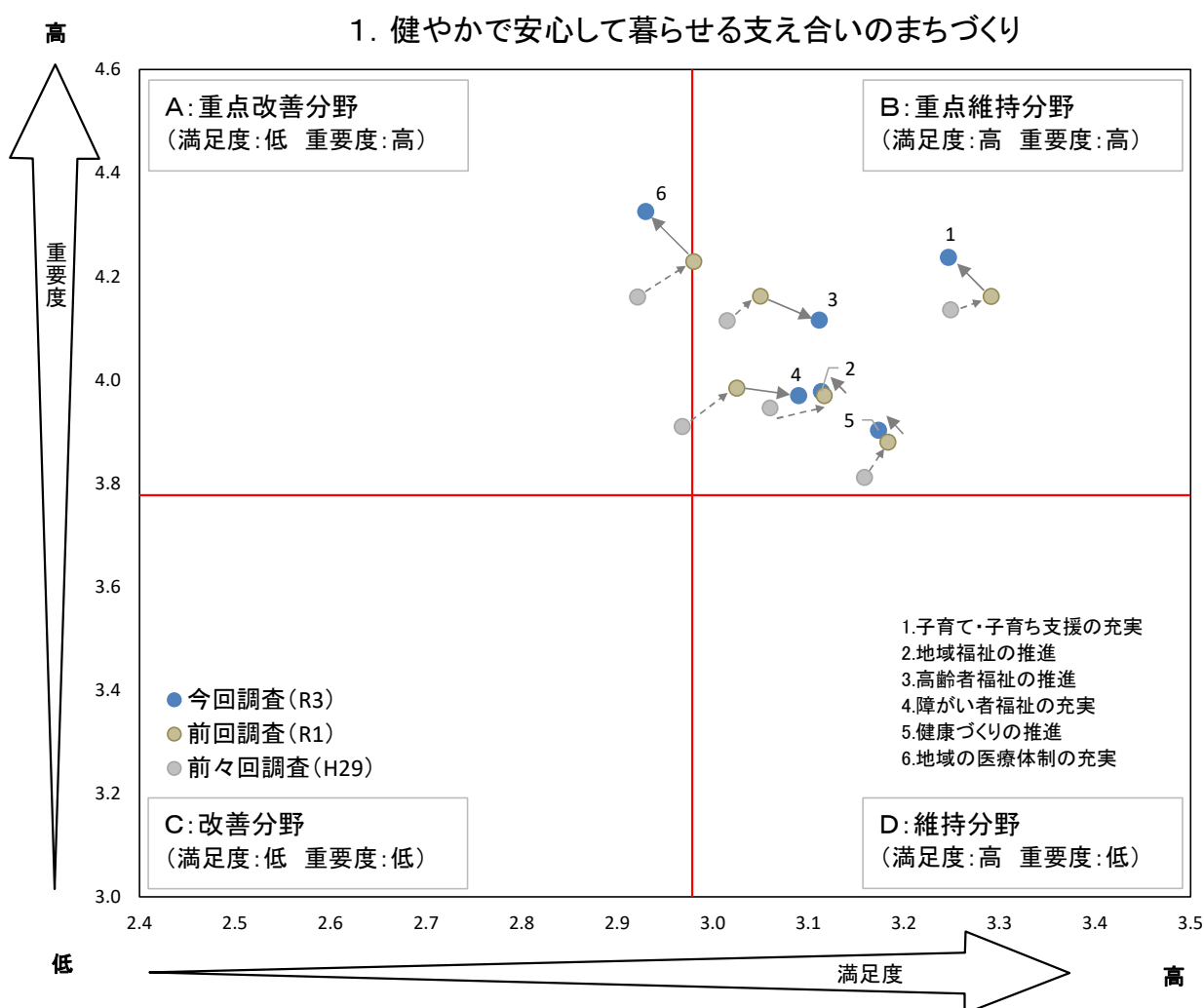
『1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり』には6施策があります。

「3. 高齢者福祉の推進」と「4. 障がい者福祉の充実」については、前回調査より満足度が高くなっています。

A（重点改善分野）に位置している「6. 地域の医療体制の充実」については、満足度が低く、重要度は高くなっています。これはコロナ禍の現状を踏まえた結果であると思われます。

今後も継続的に施策の改善を図り、満足度を高めていく必要があります。

※参考：前々回調査（H29）を表記



基本目標 2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり

『2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり』には9施策※があります。6施策において満足度・重要度が前回調査より高くなっています。

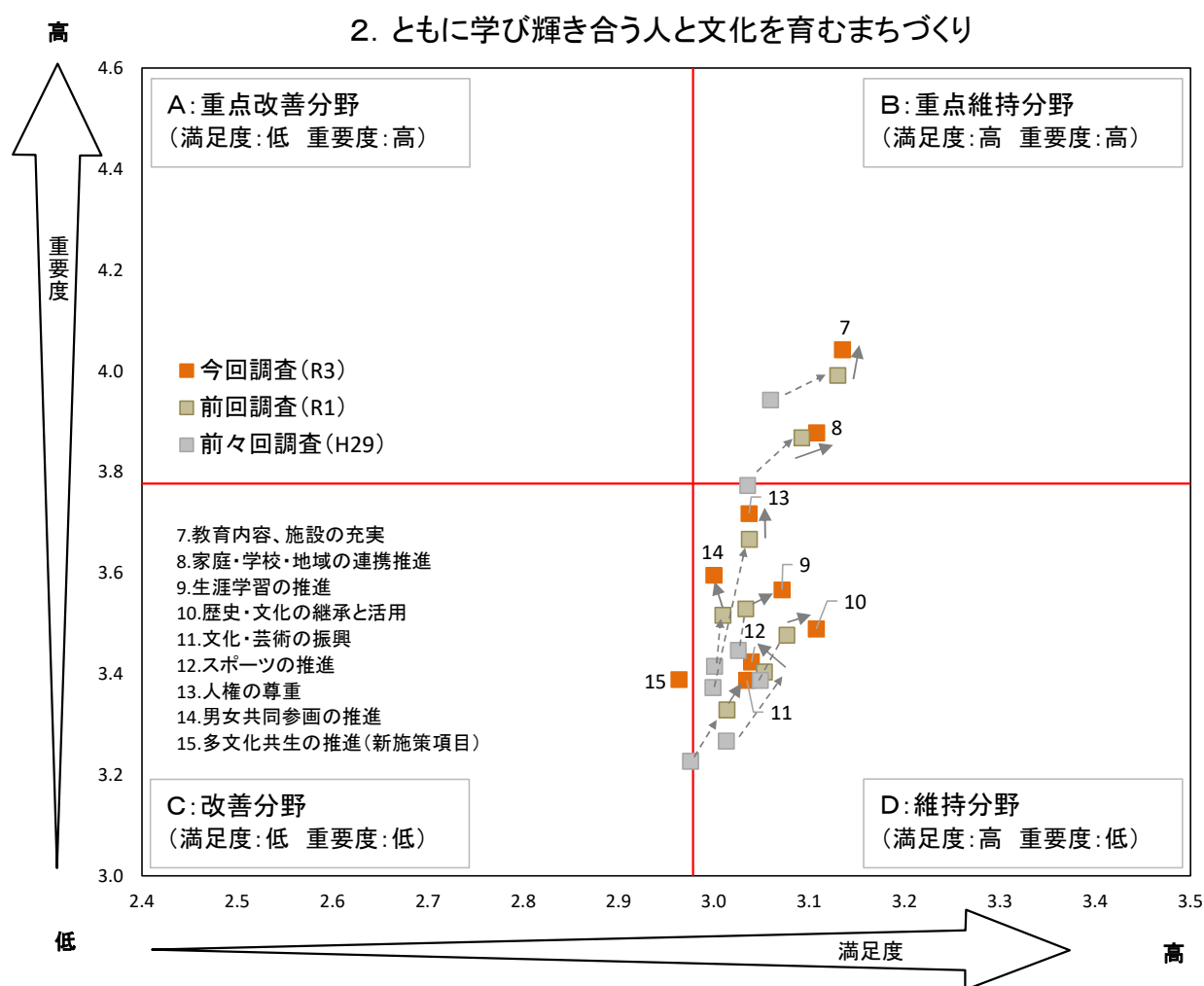
「7. 教育内容、施設の充実」と「8. 家庭・学校・地域連携の推進」は、B（重点維持分野）に位置しています。今後も継続的に施策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要があります。

「15. 多文化共生の推進」は、C（改善分野）に位置していることから、さらに市民全体の満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

その他の施策は、D（維持分野）に位置しているため、一定の満足度は得られており、着実に施策を推進する必要があります。

※「15.多文化共生の推進」は新施策項目

※参考：前々回調査（H29）を表記



基本目標 3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり

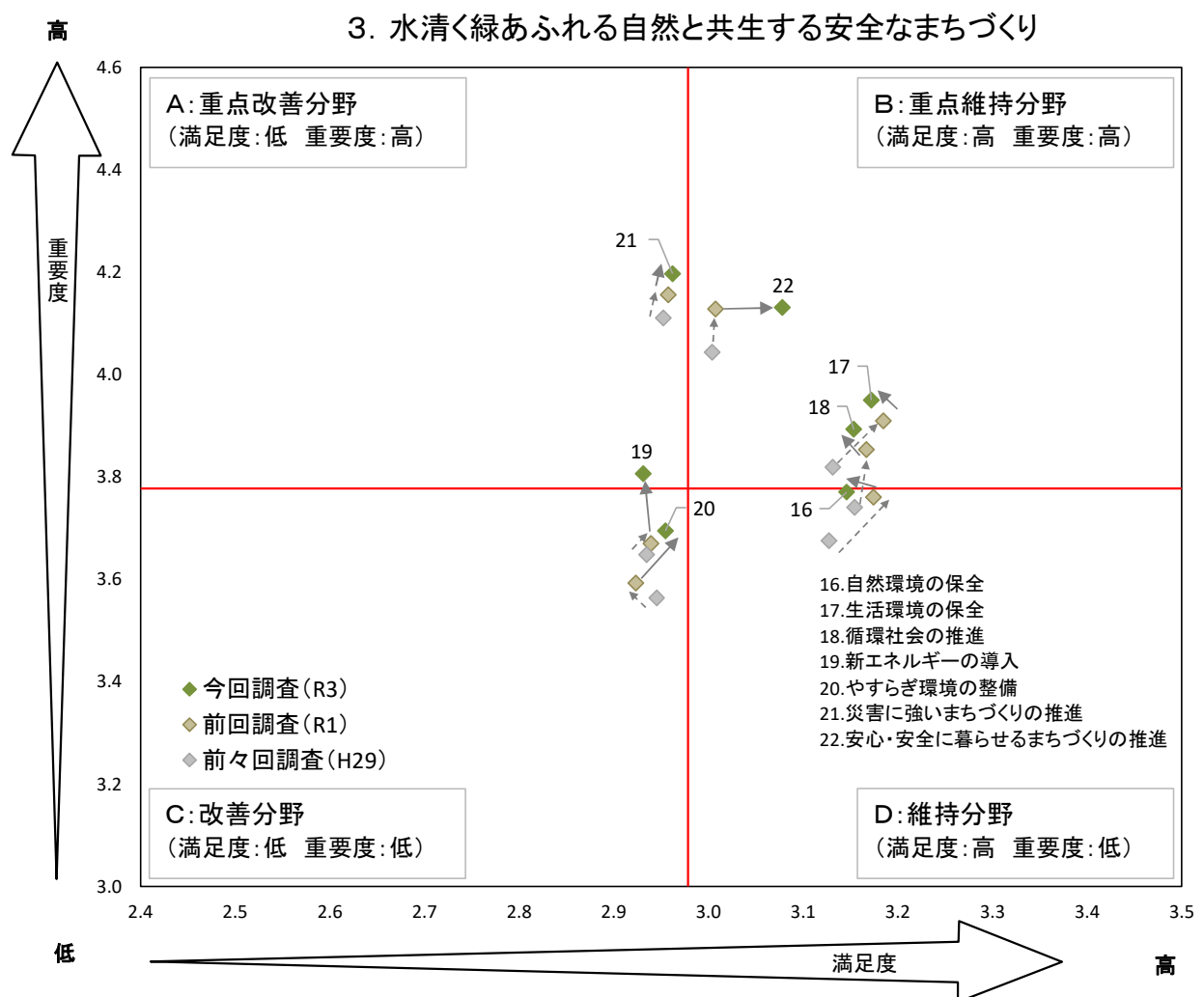
『3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり』には 7 施策があります。3 施策において満足度・重要度が前回調査より高くなっています。3 施策が B（重点維持分野）に位置し、今後も継続的に施策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要があります。

「21. 災害に強いまちづくりの推進」と「19. 新エネルギーの導入」は重要度が高くなっており、A（重点改善分野）に位置しています。市民の関心が高いことから、今後とも満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

「20. やすらぎ環境の整備」は、満足度・重要度が高くなっているものの、C（改善分野）に位置していることから、さらに市民全体の満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

「16. 自然環境の保全」については、満足度が低くなっているため、市民の満足度が高まる施策を推進する必要があると思われます。

※参考：前々回調査（H29）を表記

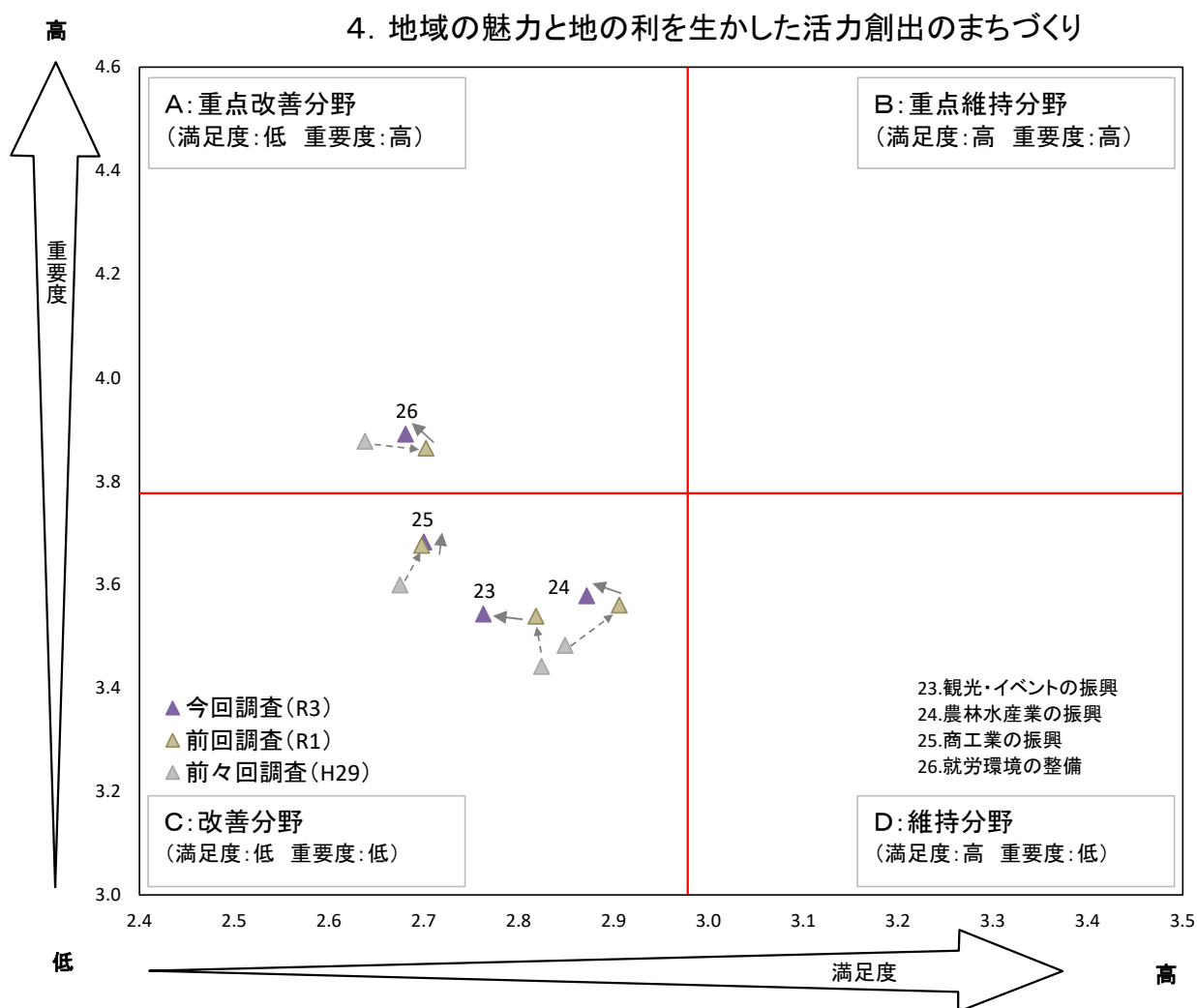


基本目標 4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり

『4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり』には4施策があります。3施策がC（改善分野）に位置しているため、市民全体の満足度や重要度を高めていく施策を推進する必要があります。

A（重点改善分野）には「26. 就労環境の整備」が位置していますが、満足度が低くなっています。市民の関心が高いことから、今後満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

※参考：前々回調査（H29）を表記

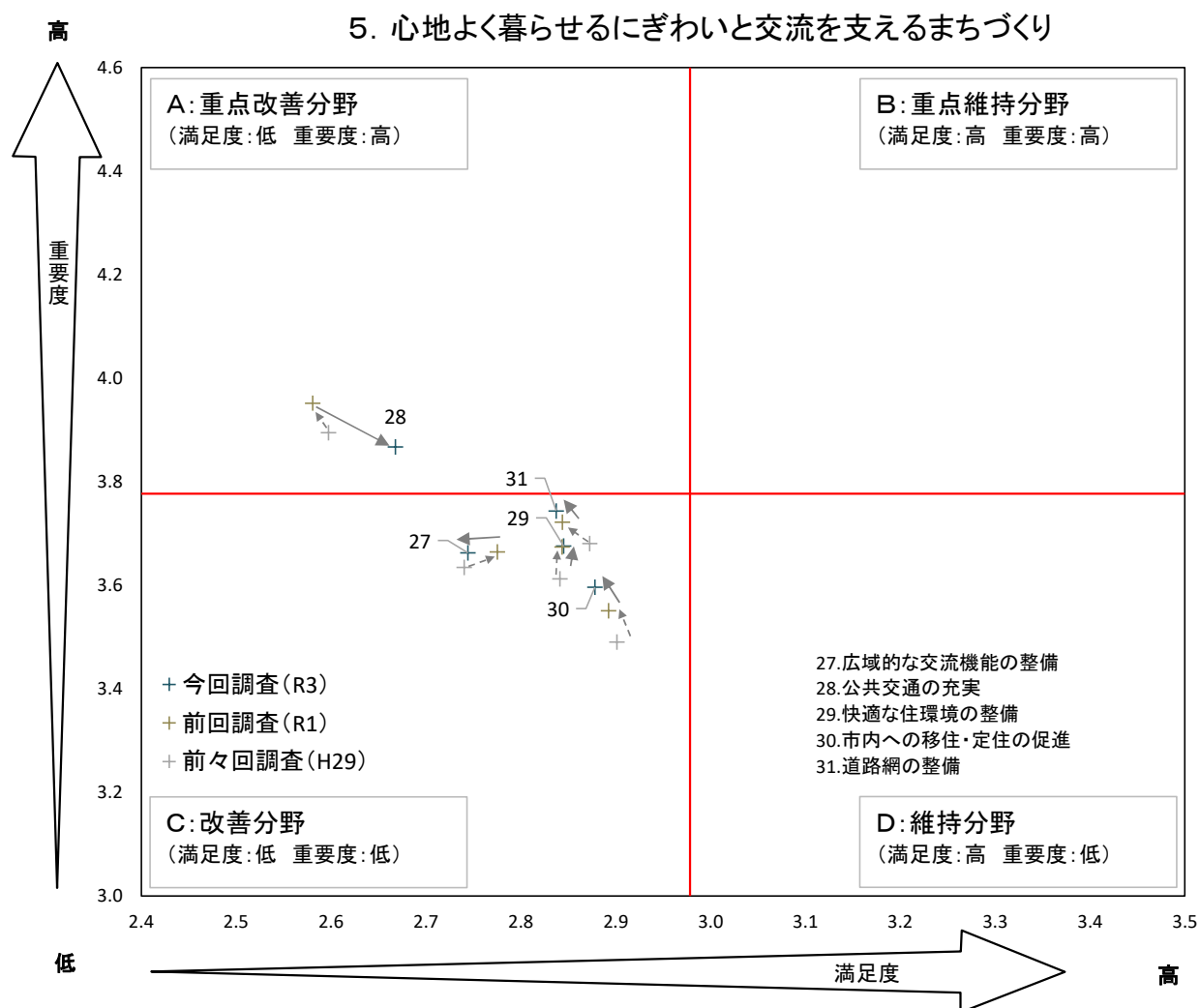


基本目標 5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり

『5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり』には5施策があります。4施策がC（改善分野）に位置しています。このうち3施策の満足度が前回調査より低くなっているため、市民全体の満足度や重要度を高めていく施策を推進する必要があります。

A（重点改善分野）には「28. 公共交通の充実」が位置しています。前回調査より満足度が高まっているものの、今回調査での『不満足』は最も高くなっています。今後とも更なる施策の改善が必要です。

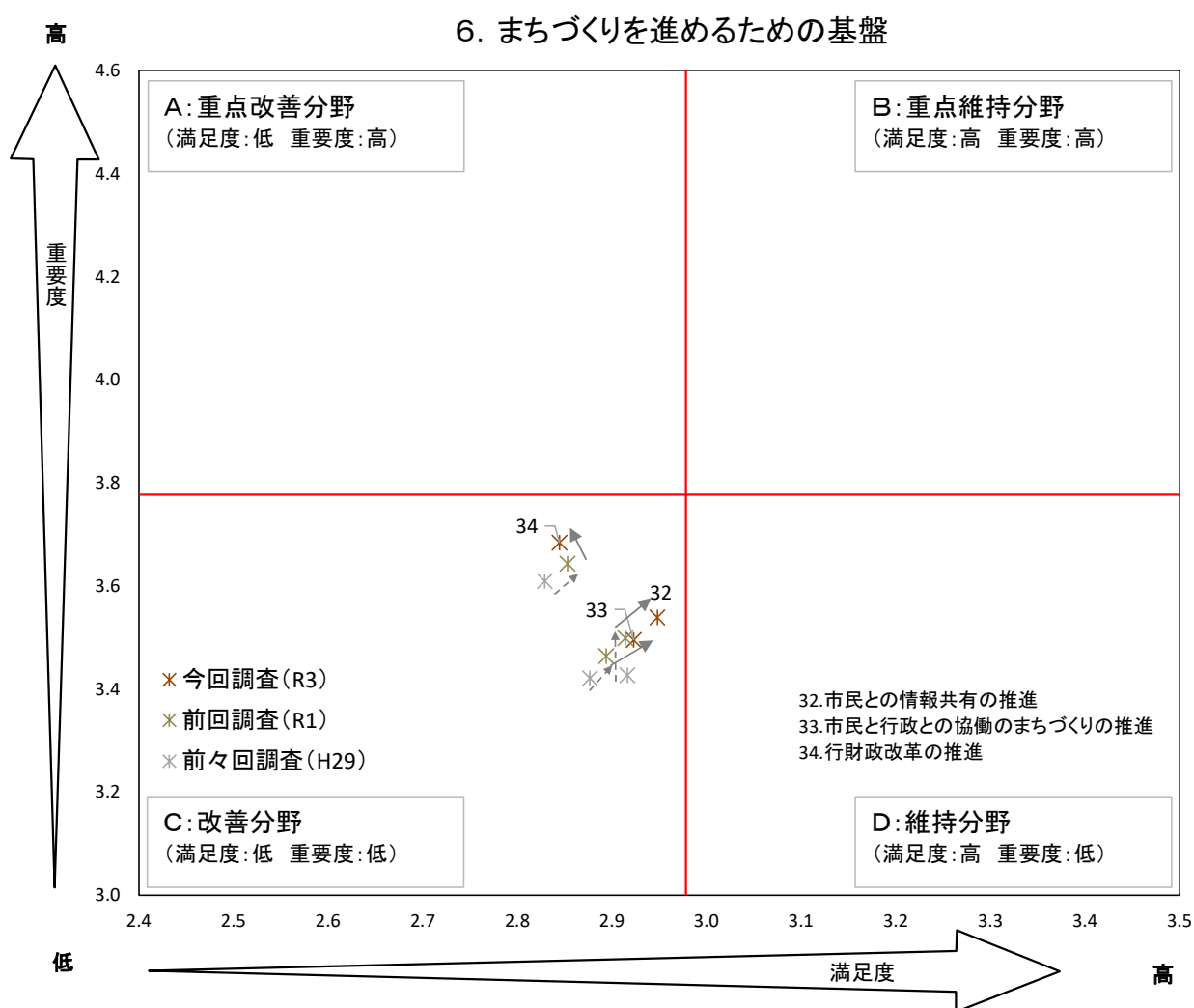
※参考：前々回調査（H29）を表記



基本目標 6. まちづくりを進めるための基盤

『6. まちづくりを進めるための基盤』には3施策があります。2施策で満足度・重要度が前回調査より高くなっていますが、C（改善分野）に位置しているため、市民全体の満足度や重要度を高めていく施策を推進する必要があります。

※参考：前々回調査（H29）を表記



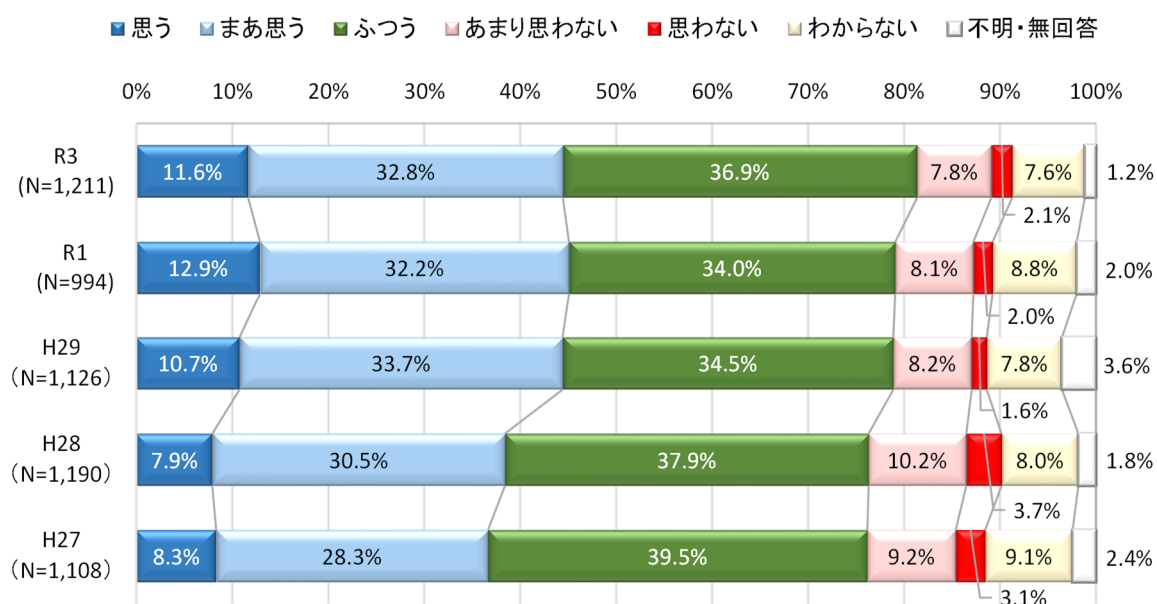
1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり に関する設問です。

問 10 あなたは、米原市を子育てしやすいまちだと思いますか。(1 つ)

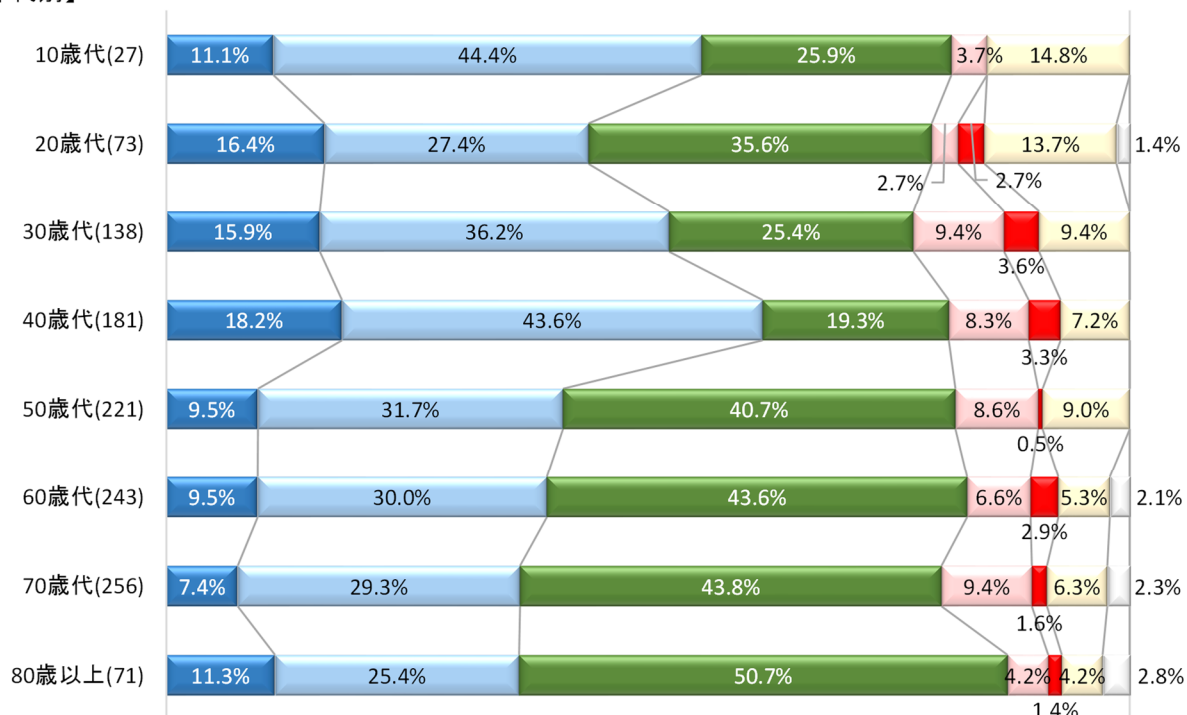
米原市を子育てしやすいまちだと思うかについて見ると、「ふつう」の割合が36.9%と最も高く、「思う」と「まあ思う」を合わせた『思う』が44.4%に対して、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が9.9%となっています。

経年変化を見ると、徐々に子育てしやすいという回答が上昇している傾向が伺えます。

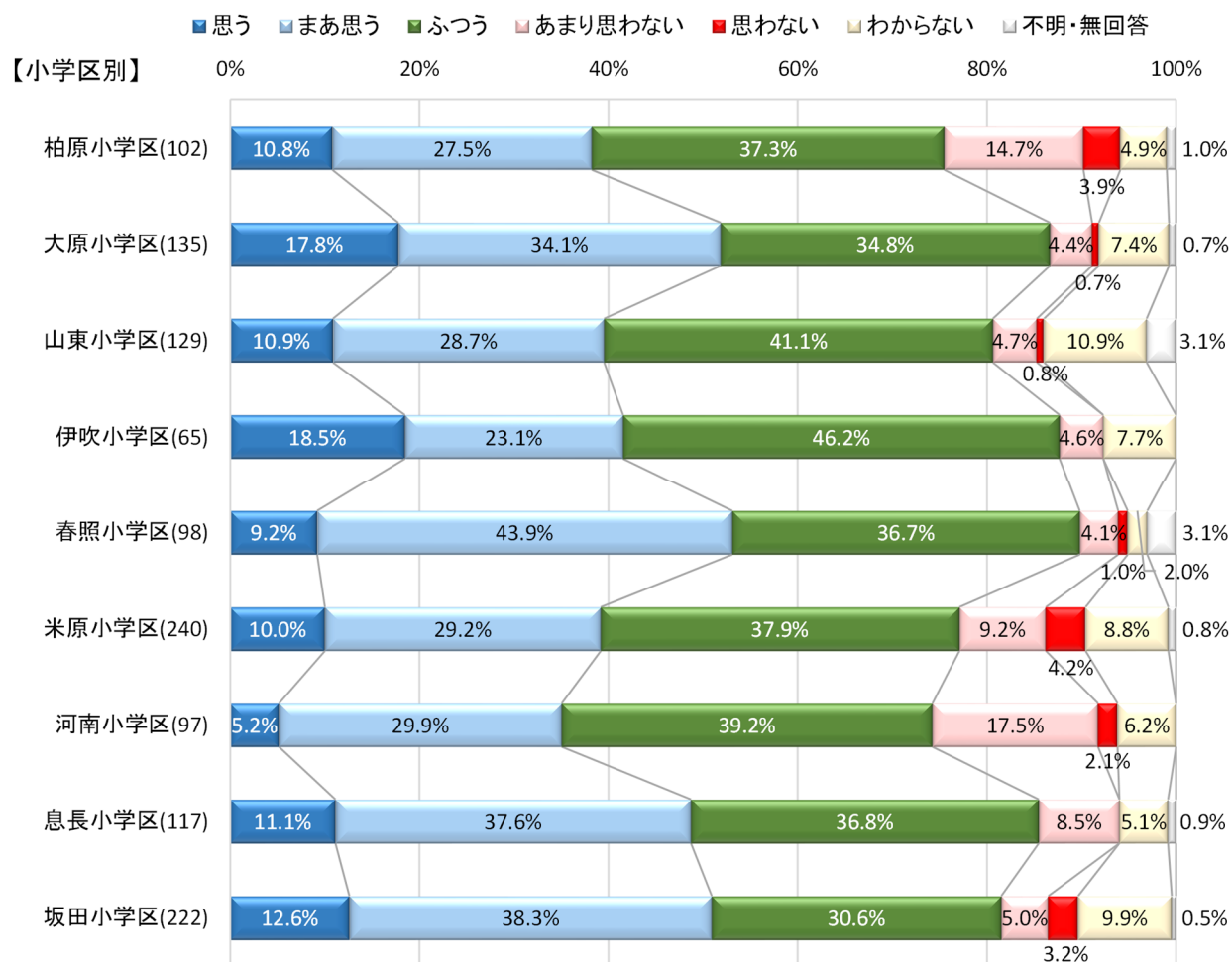
年代別では、10歳代と30～40歳代で『思う』の回答が高く、半数以上となっています。



【年代別】



小学区別に見ると、「思う」と「まあ思う」を合わせた『思う』は大原小学区、春照小学区、坂田小学区で高く、半数以上となっています。また、河南小学区が最も低い割合となっています。

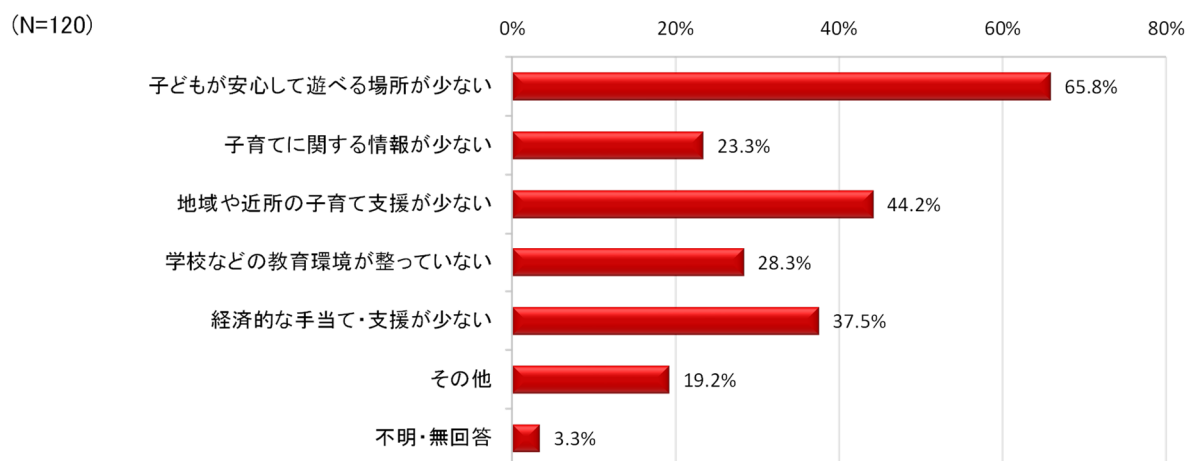


付問2 【問10で「あまり思わない」、「思わない」と答えられた方】 子育てしにくいところはどんなところですか。（あてはまるものすべて）

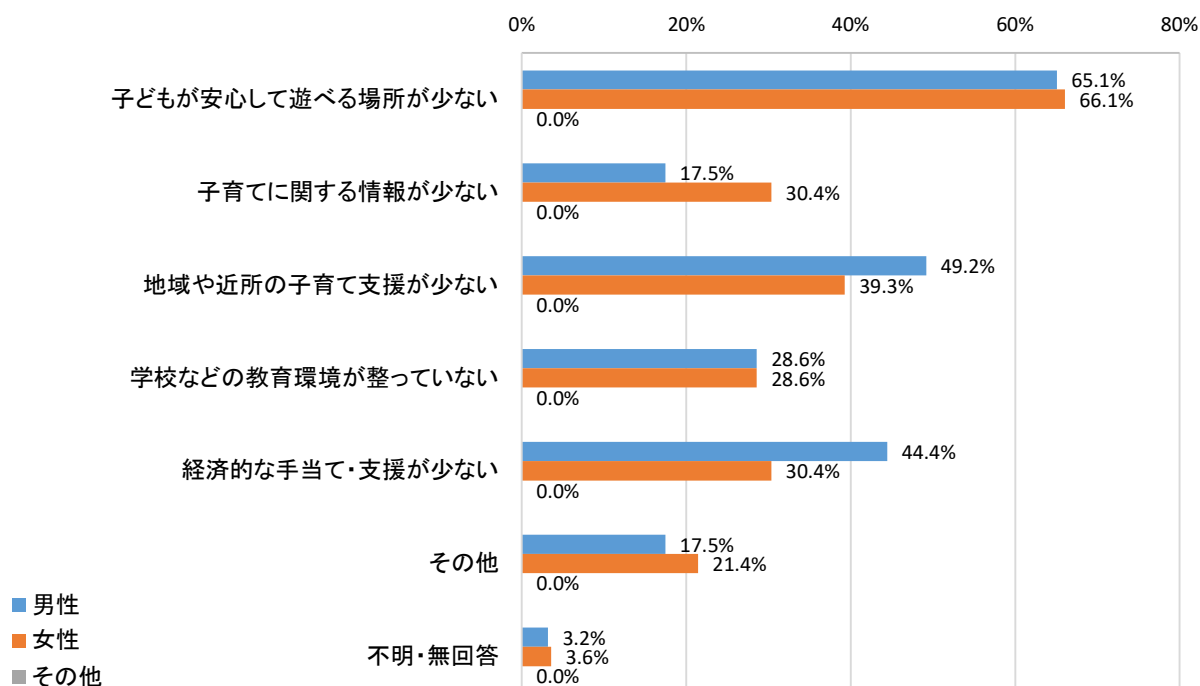
「あまり思わない」または「思わない」と答えられた方の、その理由について見ると、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」が65.8%と最も高く、次いで「地域や近所の子育て支援が少ない」が44.2%、「経済的な手当て・支援が少ない」が37.5%となっています。

また、「その他」の具体的な理由としては、「近所に子どもが少ない」「小児の大きな病院がない」「通学路が安全でない」などが挙がっています。

性別で見ると、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」と「学校などの教育環境が整っていない」については男女ともほぼ同等の割合ですが、「地域や近所の子育て支援が少ない」と「経済的な手当て・支援が少ない」については男性が、「子育てに関する情報が少ない」については女性が、それぞれ高くなっています。

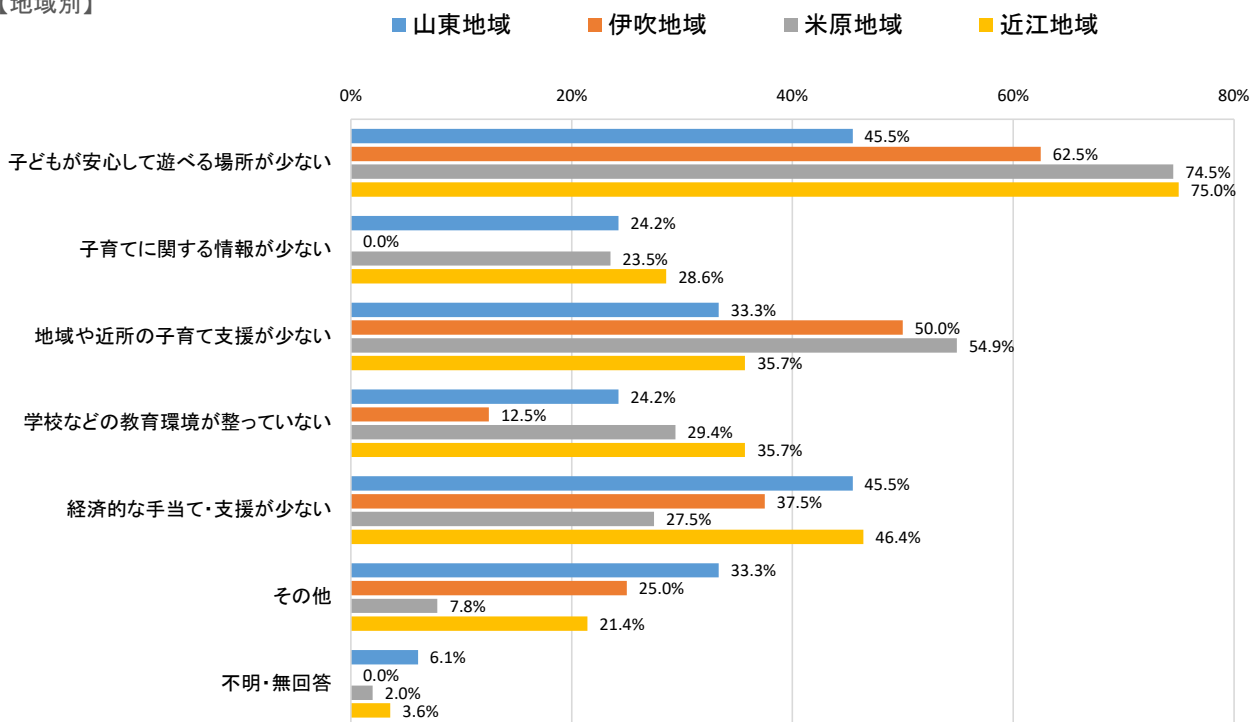


【性別】



地域別に見ると、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」については米原地域と近江地域で、「地域や近所の子育て支援が少ない」については伊吹地域と米原地域で、「経済的な手当て・支援が少ない」については山東地域と近江地域で、それぞれ高くなっています。

【地域別】



2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり に関する設問です。

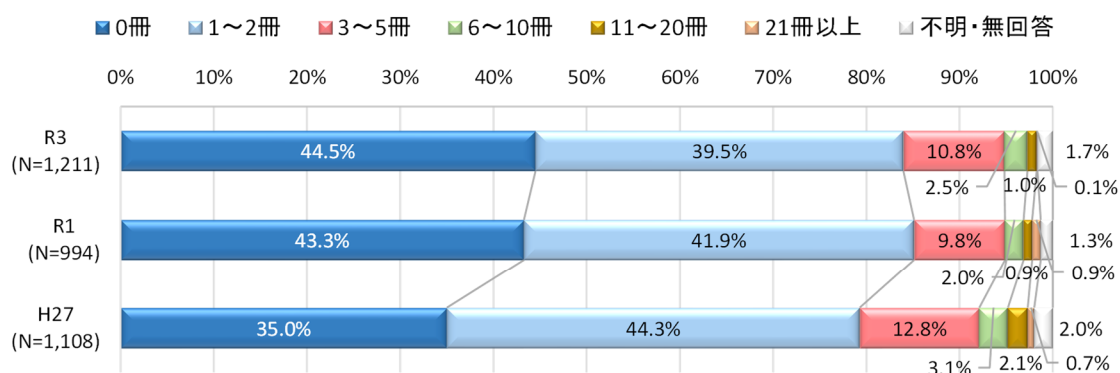
問 11 あなたは、1 か月に何冊くらい本を読みますか。(1 つ)

1 か月に何冊くらい本を読むかについて見ると、「0 冊」が 44.5%、「1 冊～2 冊」が 39.5%、「3～5 冊」が 10.8%となっています。

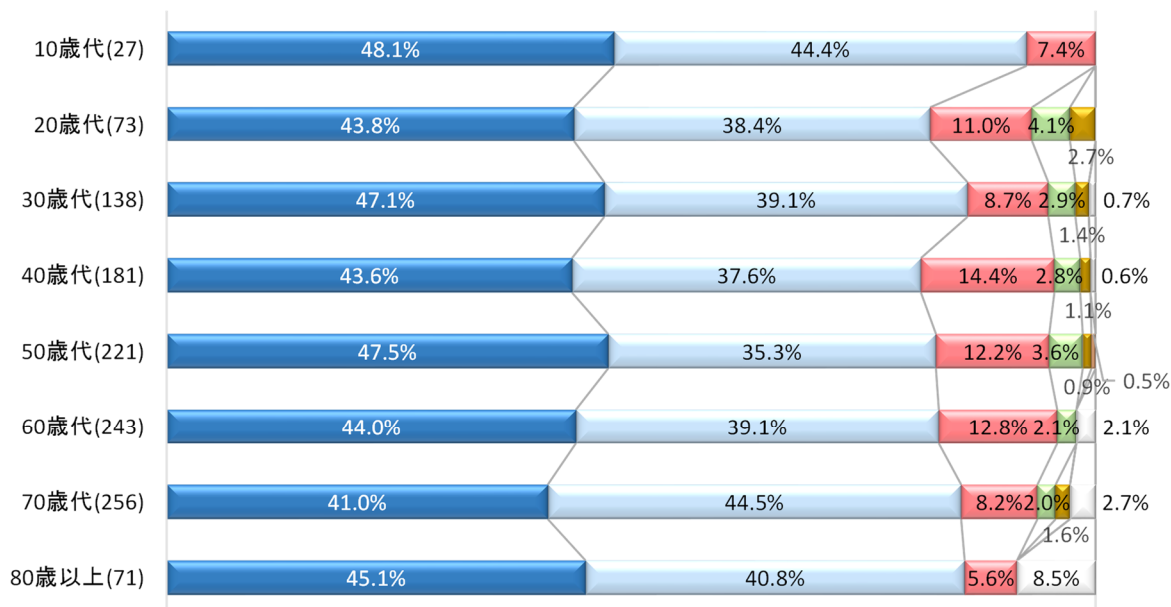
経年変化を見ると、1 か月に 1 冊も本を読まない割合が増えています。

年代別に見ると、10 歳代は「0 冊」が 48.1%、70 歳代は「1 冊～2 冊」が 44.5%、40 歳代は「3～5 冊」が 14.4%と、他の年代よりも高くなっています。

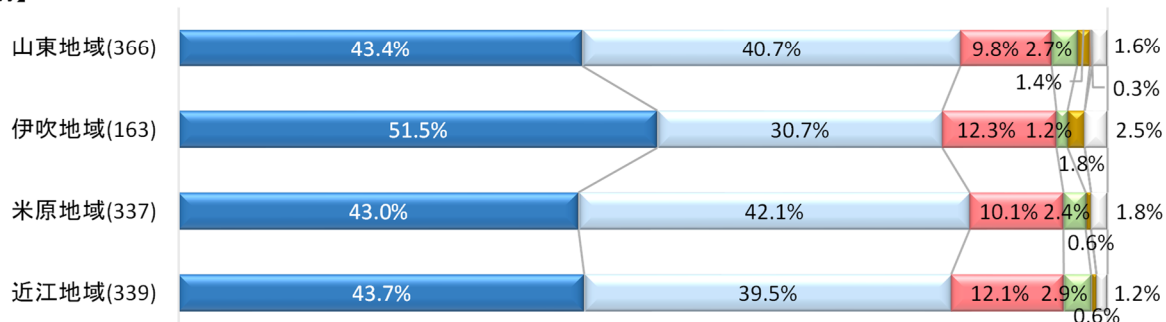
地域別に見ると、伊吹地域は「0 冊」が 51.5%、「3～5 冊」が 12.3%と、他の地域よりも高くなっています。



【年代別】

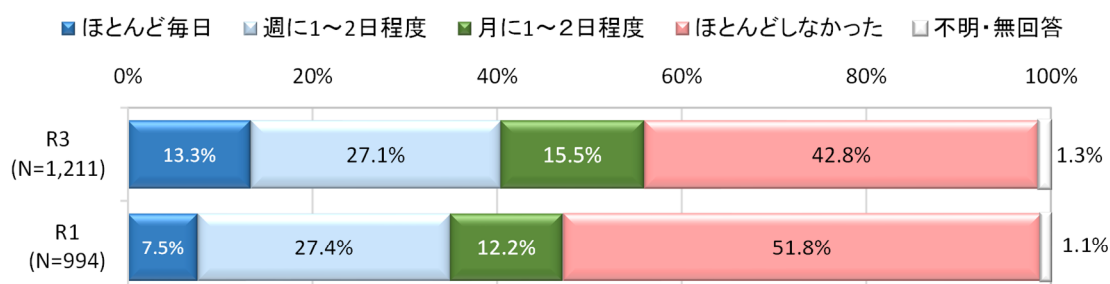


【地域別】

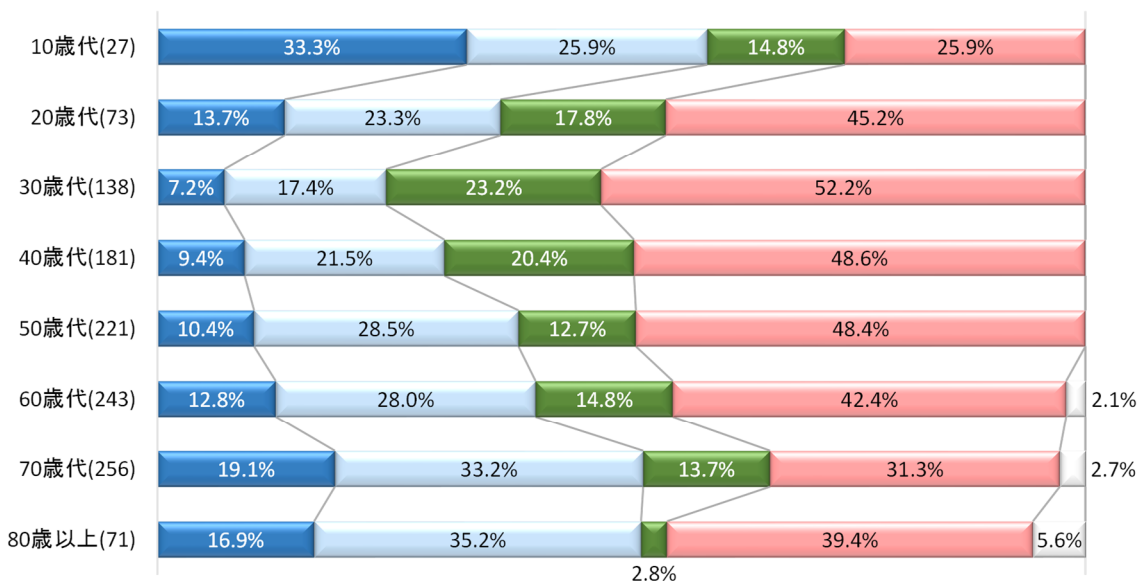


問 12 あなたは、この1年間にどれくらいの頻度で運動、体操やスポーツを行いましたか。(1つ)

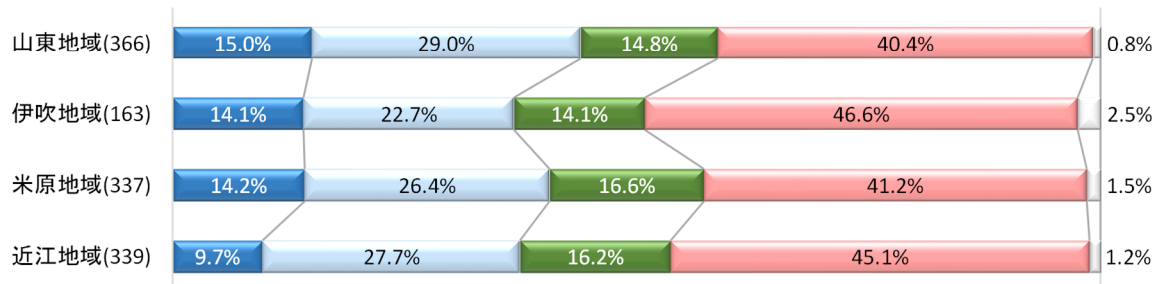
運動習慣については「ほとんど毎日」「週に1～2日程度」「月に1～2日程度」を合わせた『月に1日以上運動をする』が55.9%で、その内「週に1～2日程度」が27.1%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、『月に1日以上運動をする』については、8.8ポイント高くなってます。年代別に見ると、30歳代で「ほとんどしなかった」が半数を超えています。地域別に見ると、伊吹地域で『月に1日以上運動をする』の割合が他の地域よりも低くなっています。



【年代別】



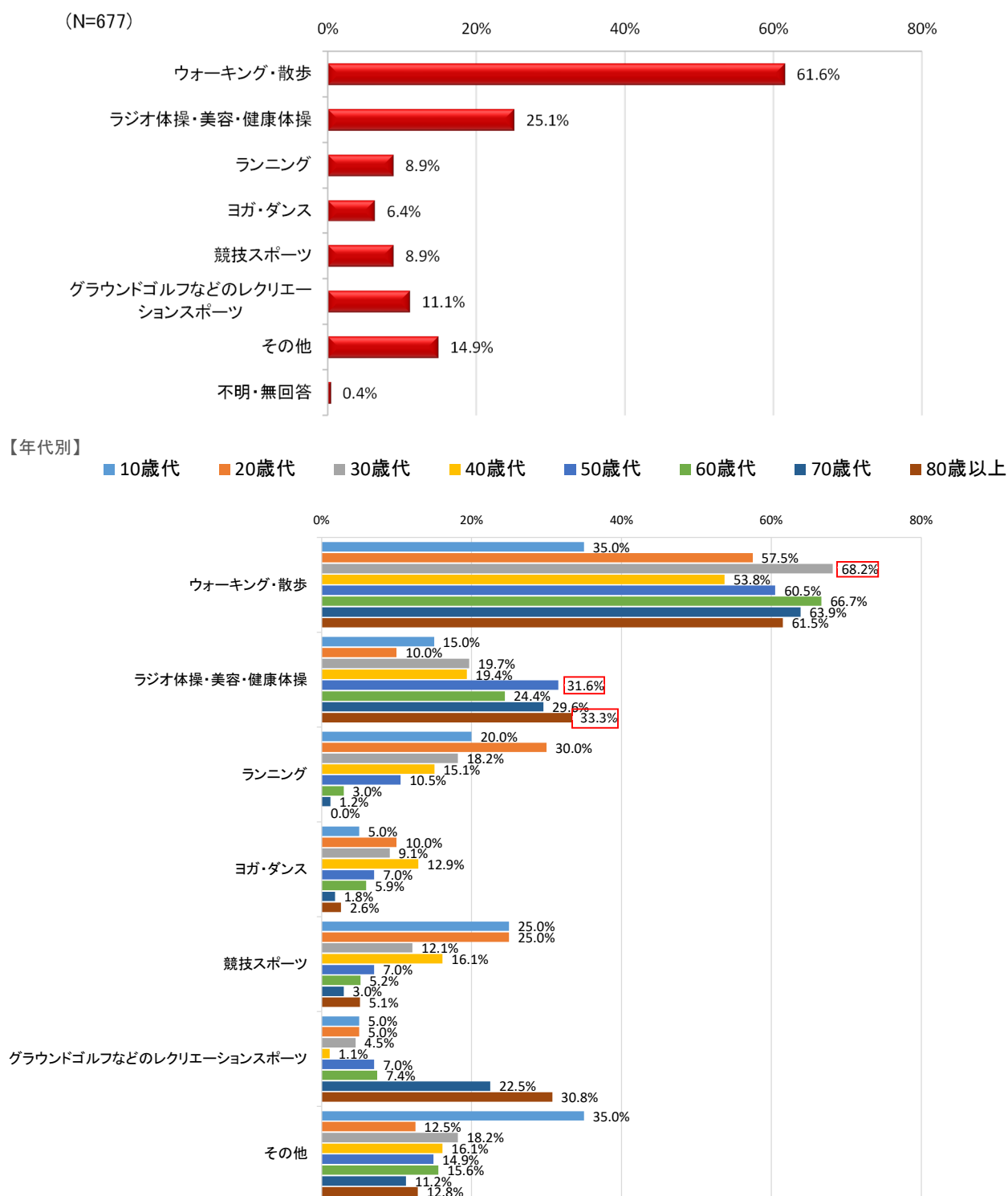
【地域別】



付問3 【問12で「ほとんど毎日」「週に1～2日程度」「月に1～2日程度」と答えられた方】 どのような運動、体操、スポーツを行いましたか。（あてはまるものすべて）

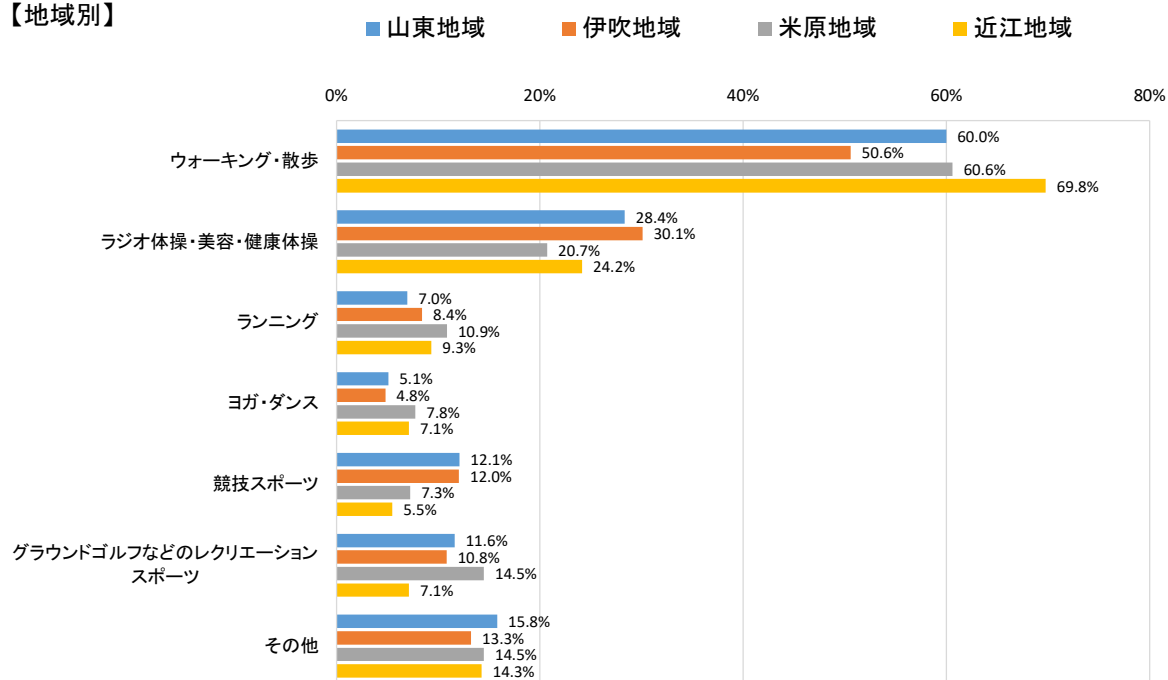
運動習慣については「ほとんど毎日」「週に1～2日程度」「月に1～2日程度」を合わせた『月に1日以上運動をする』と答えられた方の内訳を見ると、「ウォーキング・散歩」が61.6%と最も高く、次いで「ラジオ体操・美容・健康体操」が25.1%、「その他」が14.9%となっています。「その他」の具体的な運動としてはゴルフ、サイクリング、スイミング等などが挙がっています。

年代別で見ると、「ウォーキング・散歩」では30歳代が、「ラジオ体操・美容・健康体操」では50歳代と80歳以上が、他の年代よりも高くなっています。



地域別で見ると、「ウォーキング・散歩」では近江地区が、「ラジオ体操・美容・健康体操」では伊吹地域が、他の地域よりも高くなっています。

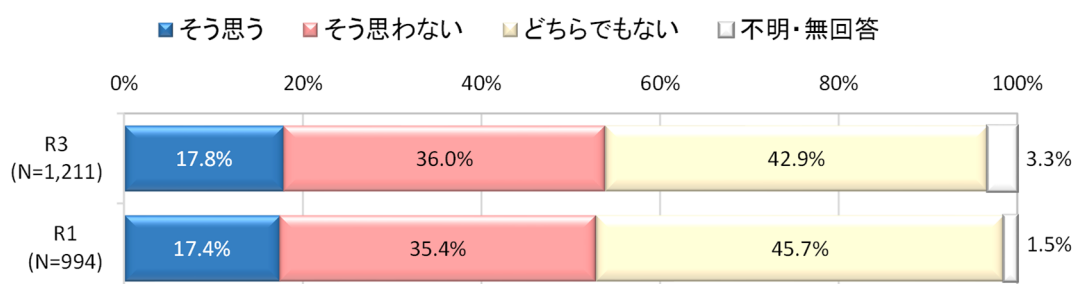
【地域別】



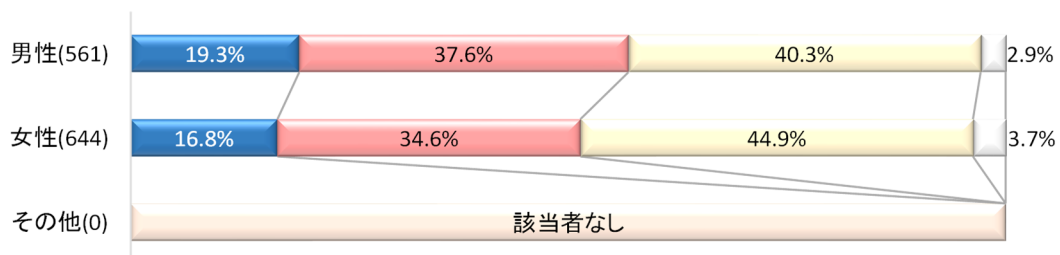
問 13 あなたは、職場や地域で女性が活躍できる環境が整っていると思いますか。 (1つ)

職場や地域で女性が活躍できる環境が整っていると思いますかについては、「そう思う」が17.8%、「そう思わない」が36.0%となっており、前回調査と比較すると、ほぼ同様な割合となっています。性別に見ると、「そう思う」「そう思わない」とも、男性が高くなっています。

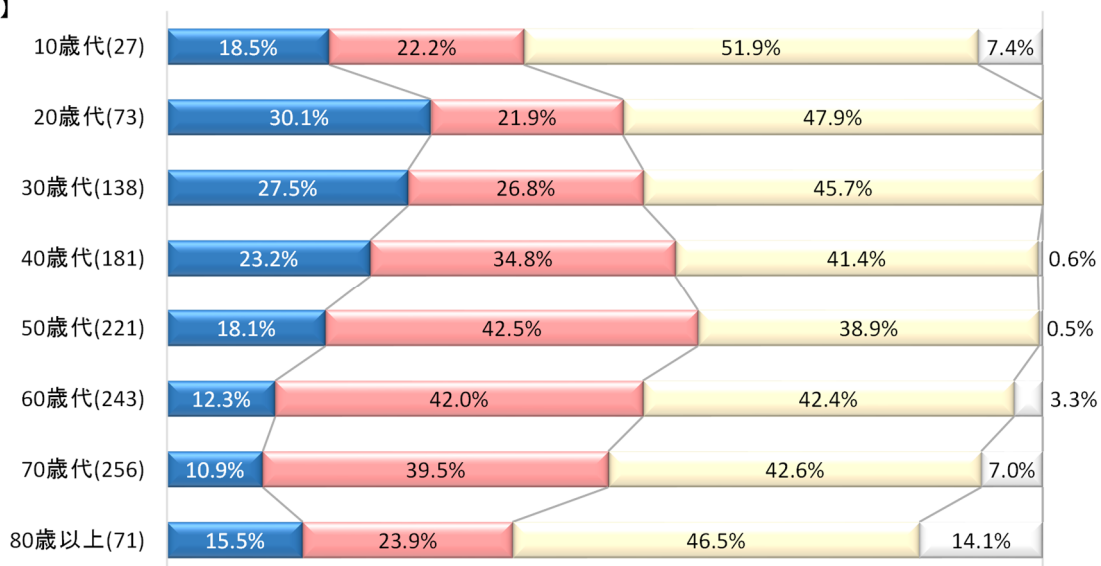
年代別に見ると、「そう思う」が20歳代で最も高く30.1%、次いで30歳代で27.5%となっています。「そう思わない」は50歳代で42.5%、次いで60歳代で42.0%となっています。



【性別】



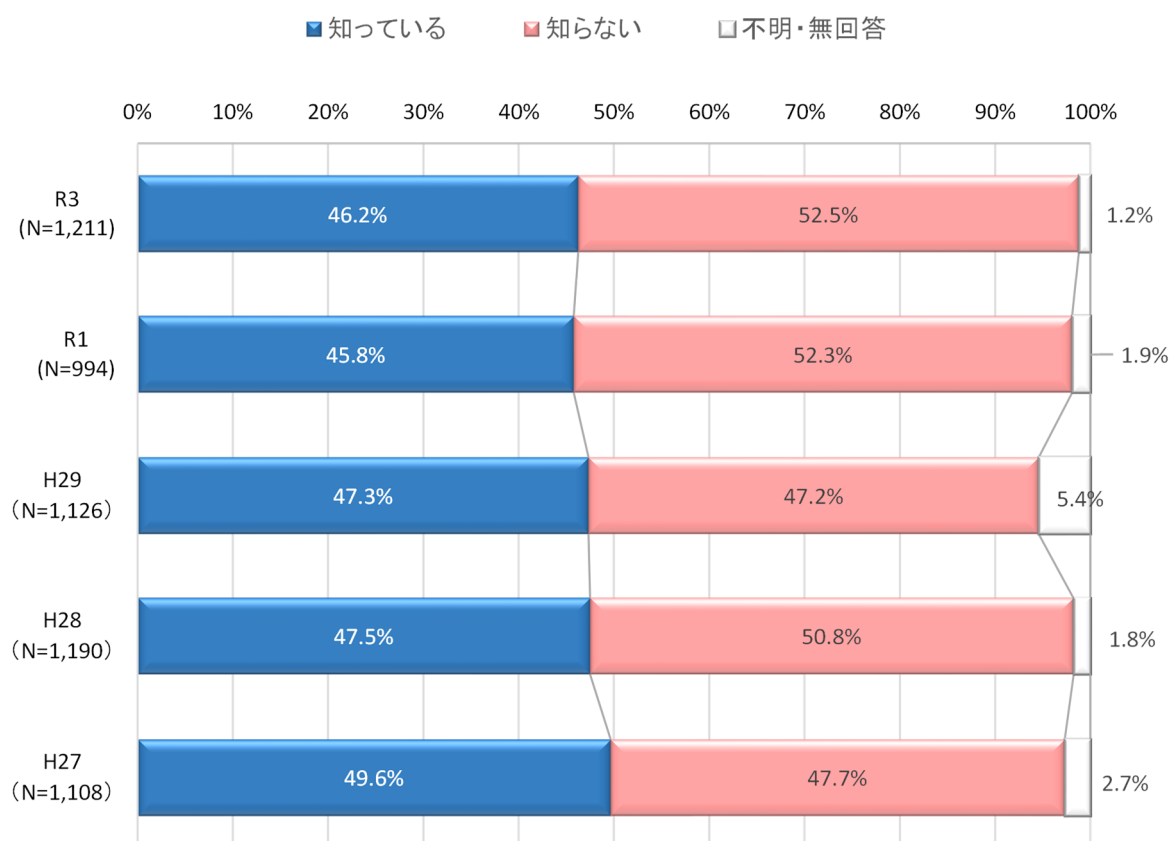
【年代別】



問 14 あなたは、市が「非核・平和都市宣言のまち」であることをご存じですか。 (1つ)

市が「非核・平和都市宣言のまち」であることの認知度については、「知っている」が46.2%、「知らない」が52.5%となっています。

経年変化で見ると、前回調査から「知っている」が0.4ポイント高くなっているものの、依然として半数以下であり、今後とも認知度を高めていく活動が必要です。

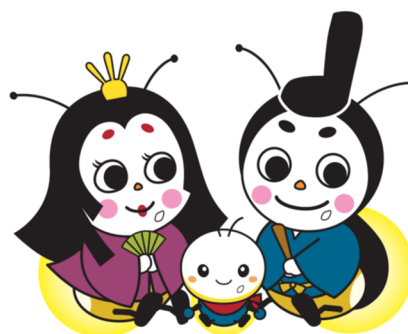
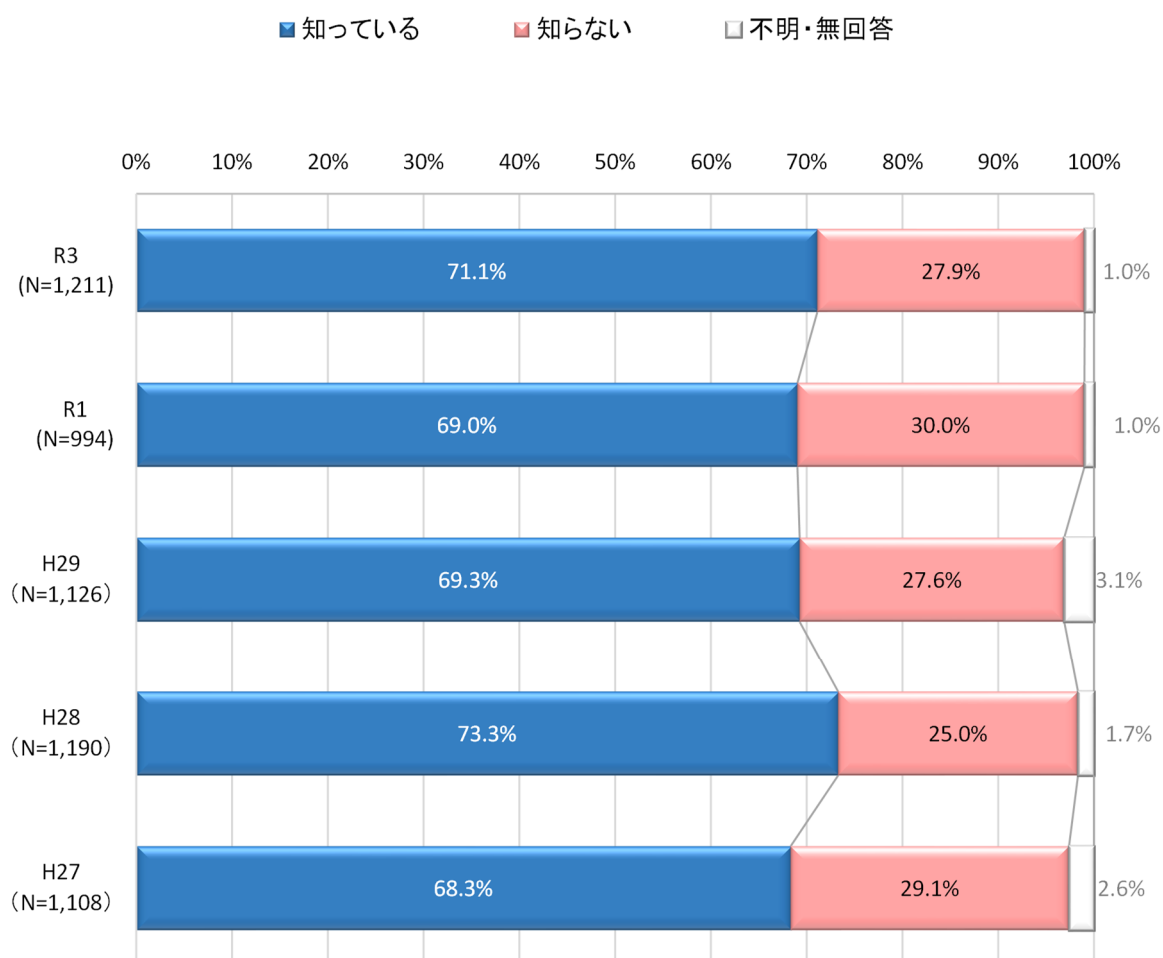


3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり に関する設問です。

問 15 あなたは、「米原市蛍保護条例」で、市内全域がホタルの保護区域に定められていることをご存じですか。(1つ)

「米原市蛍保護条例」で市内全域がホタルの保護区域に定められていることの認知度について見ると、「知っている」が71.1%、「知らない」が27.9%となっています。

認知度については7割前後で推移しています。

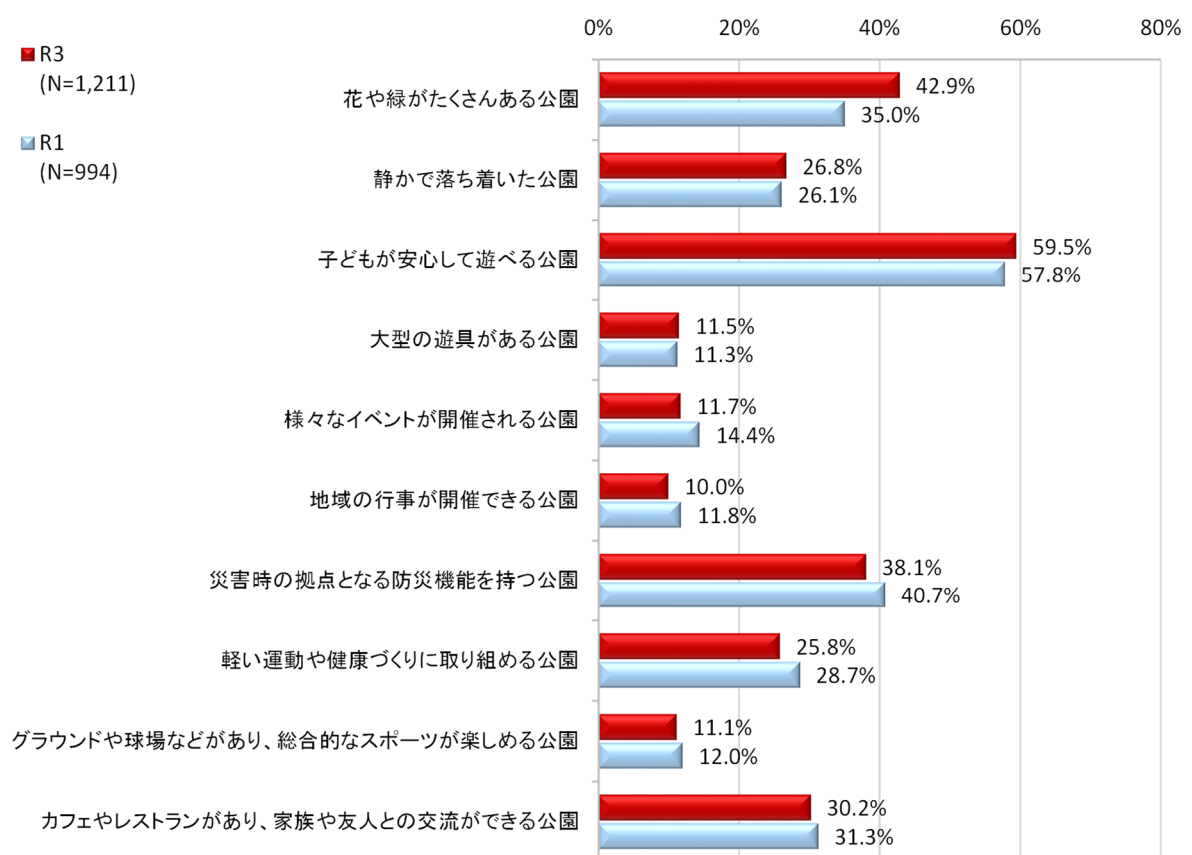


問 16 市では、市のシンボルとなるような市民公園づくりの検討を進めています。
あなたは、どのような公園があればよいと思いますか。（3つ）

どのような公園があればよいと思いますかについて見ると、「子どもが安心して遊べる公園」が最も高く 59.5%、次いで「花や緑がたくさんある公園」が 42.9%、「災害時の拠点となる防災機能を持つ公園」が 38.1%となっています。

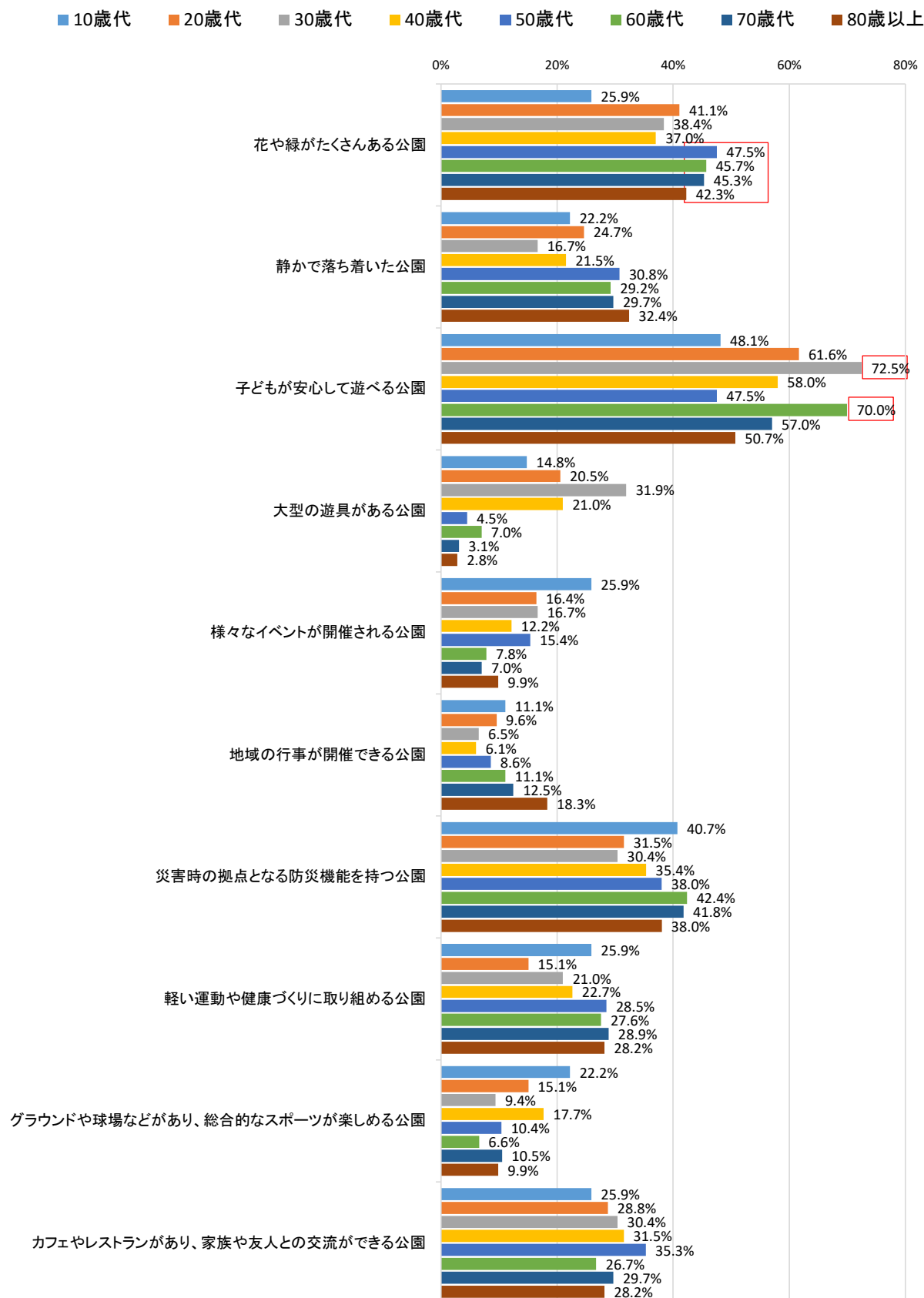
一方、「大型の遊具がある公園」「様々なイベントが開催される公園」「地域の行事が開催できる公園」「グラウンドや球場などがあり、総合的なスポーツが楽しめる公園」がそれぞれ 1 割強と低くなっています。

前回調査と比較すると、「花や緑がたくさんある公園」が 7.9 ポイント高く、その他はほぼ同様な傾向が見られます。



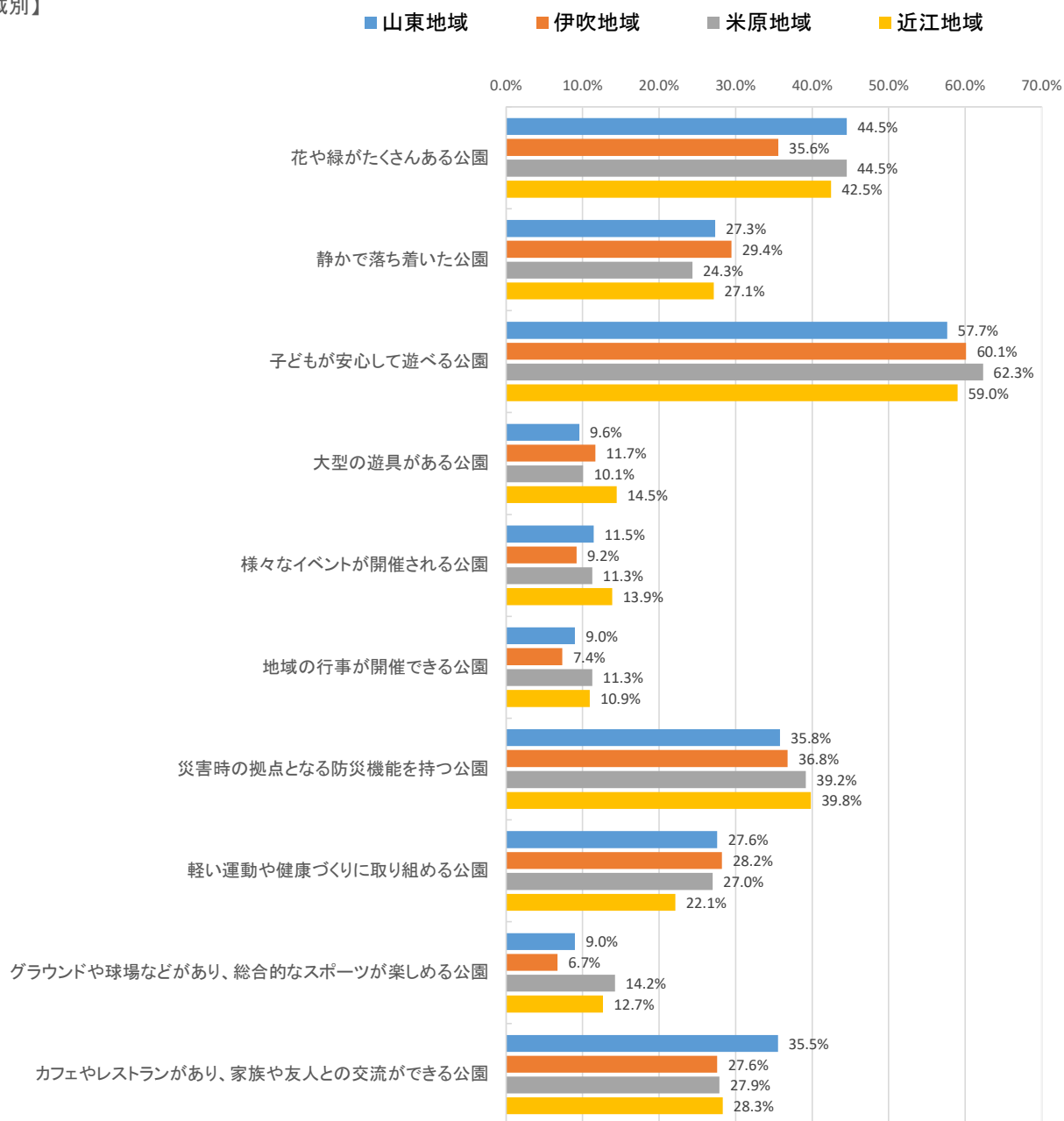
年代別に見ると、「子どもが安心して遊べる公園」は30歳代と60歳代で高く、「花や緑がたくさんある公園」は50歳代以上で高くなっています。

【年代別】



地域別に見ると、「子どもが安心して遊べる公園」は米原地域が、「花や緑がたくさんある公園」は山東地域と米原地域が、「災害時の拠点となる防災機能を持つ公園」は米原地域と近江地域が、それぞれ高くなっています。

【地域別】

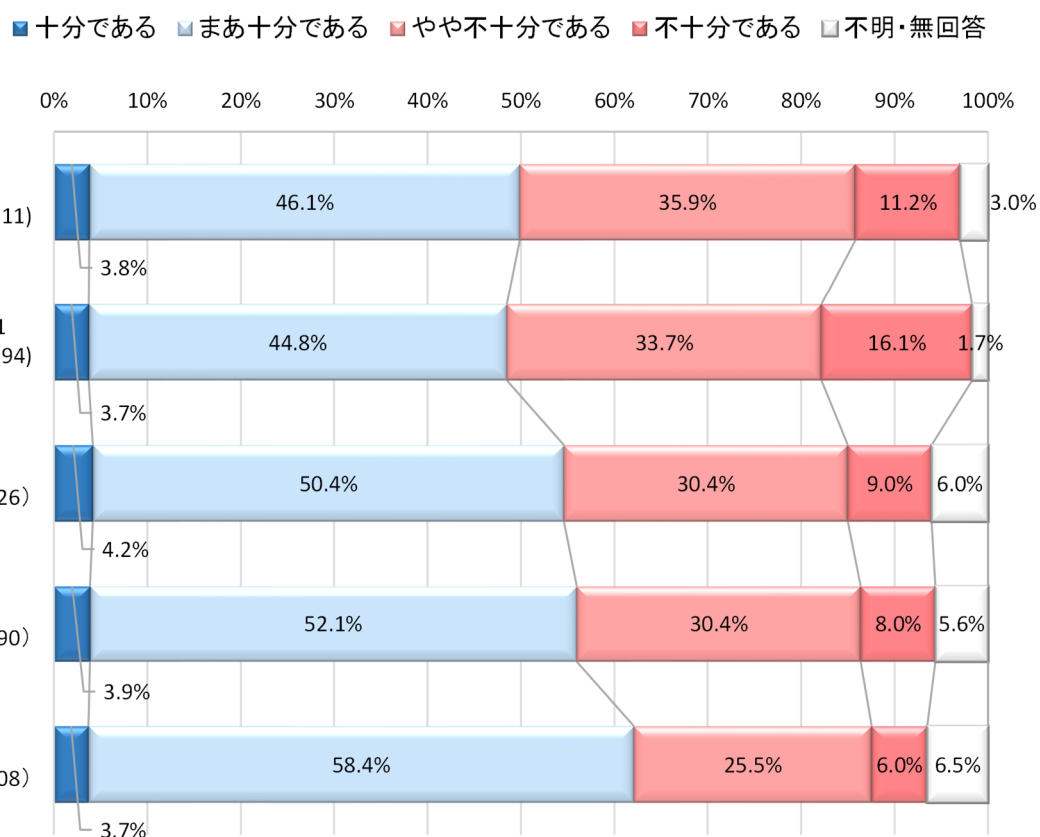


問 17 あなたは、災害時の市からの情報伝達体制は十分だと思いますか。(1つ)

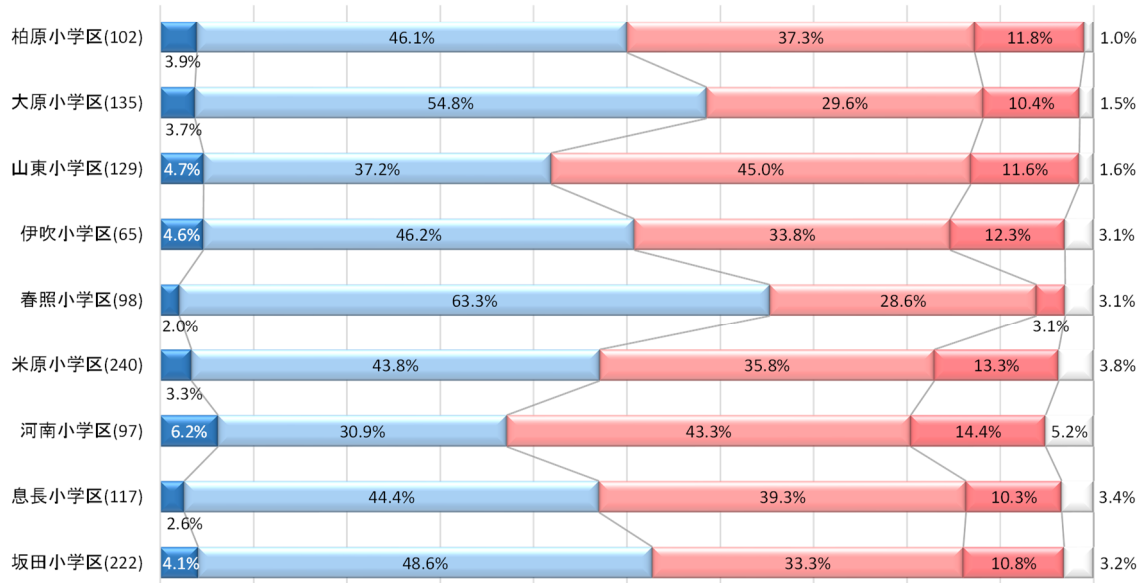
災害時の市からの情報伝達体制について見ると、「十分である」と「まあ十分である」を合わせた『十分である』は49.9%、「不十分である」と「やや不十分である」を合わせた『不十分である』は47.1%となっています。

経年変化で見ると、『十分である』は前回調査から1.4ポイント高くなりましたが、依然として5割を下回っています。

小学区別で見ると、『十分である』が最も高いのは春照小学区の65.3%であり、『不十分である』が最も高いのは河南小学区の57.7%となっています。



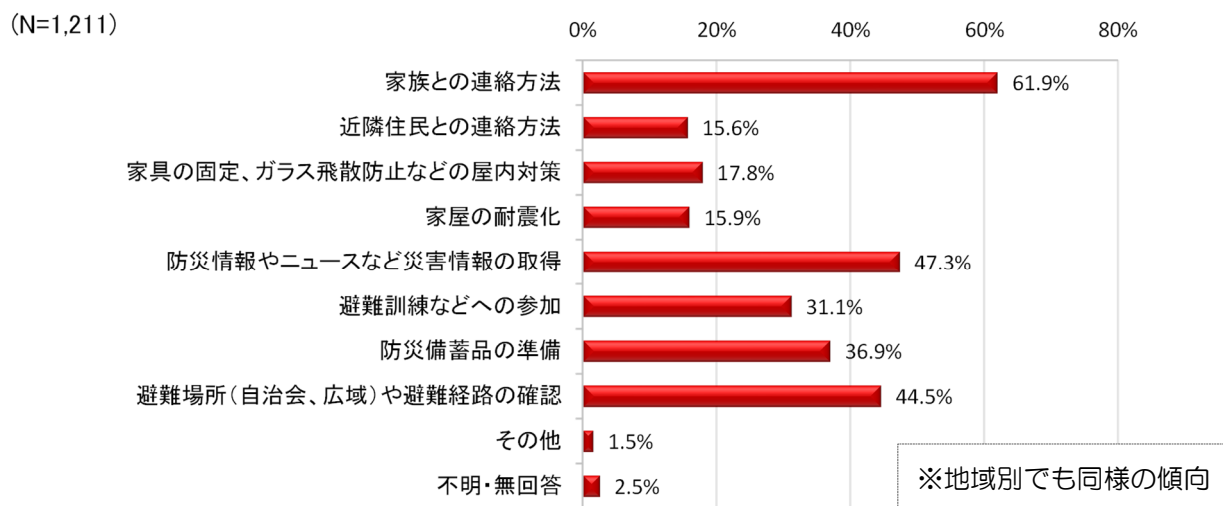
【小学区別】



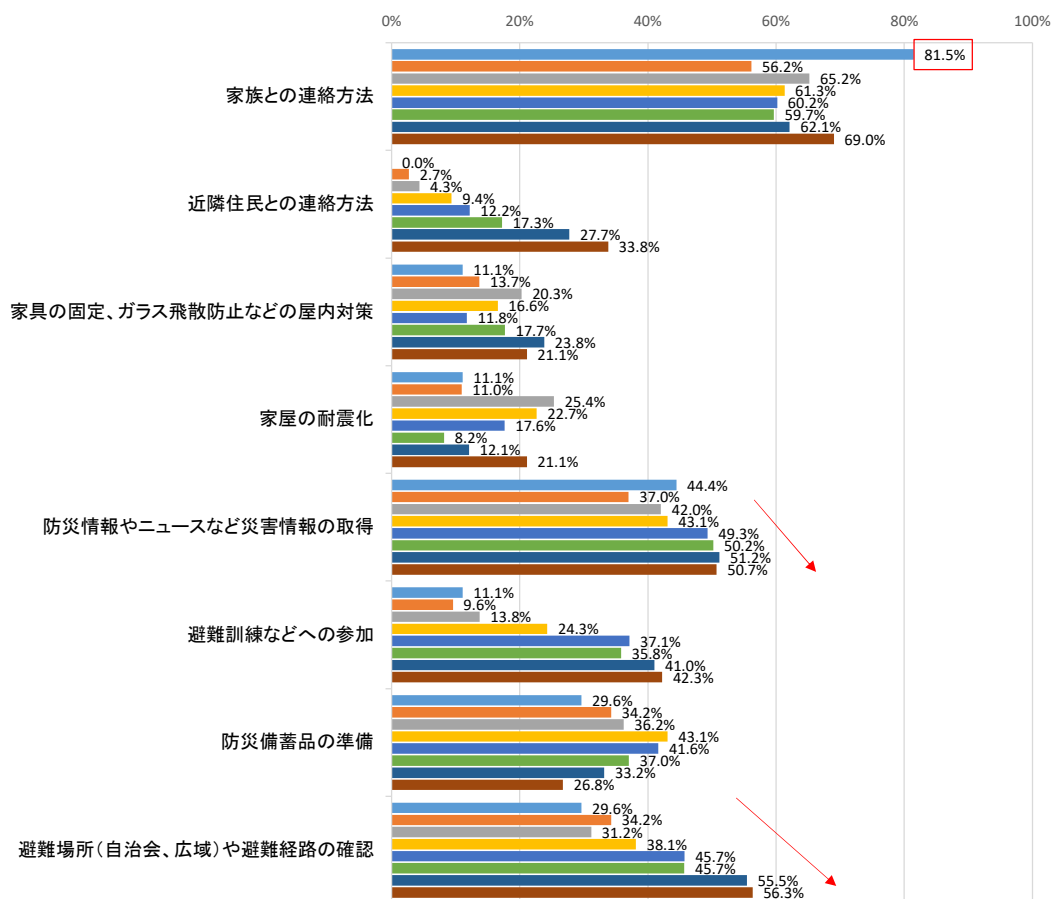
問 18 自分でできる災害対策として、日頃から何を備えていますか。 (あてはまるものすべて)

災害対策としての日頃からの備えについて見ると、「家族との連絡方法」が61.9%、「防災情報やニュースなど災害情報の取得」が47.3%、「避難場所（自治会、広域）や避難経路の確認」が44.5%となっています。

年代別に見ると、「家族との連絡方法」が10歳代で高く、「防災情報やニュースなど災害情報の取得」と「避難場所（自治会、広域）や避難経路の確認」は年代が上がるほど高くなる傾向が伺えます。



【年代別】 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

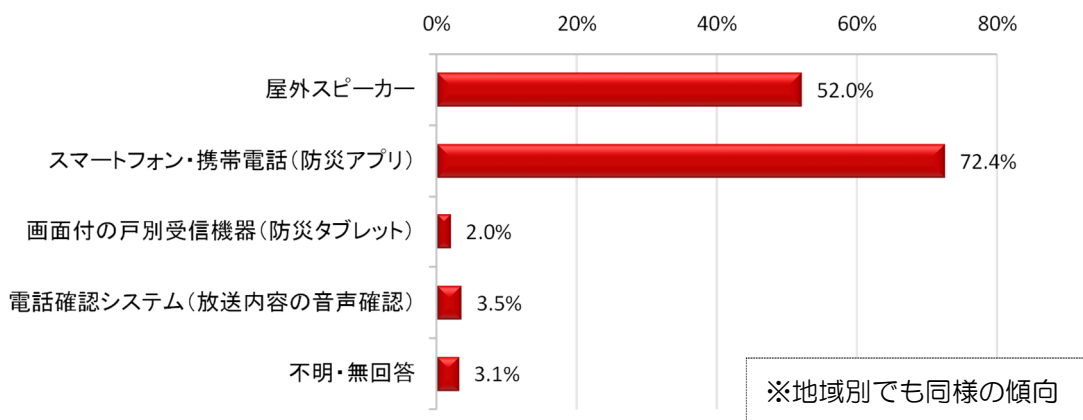


問 19 市では、市からの防災情報を屋外スピーカーやスマートフォンアプリなどを活用して文字や音声でお知らせする防災情報伝達システムを整備しています。
あなたは、市からの防災情報を得るために何を利用していますか。
(あてはまるものすべて)

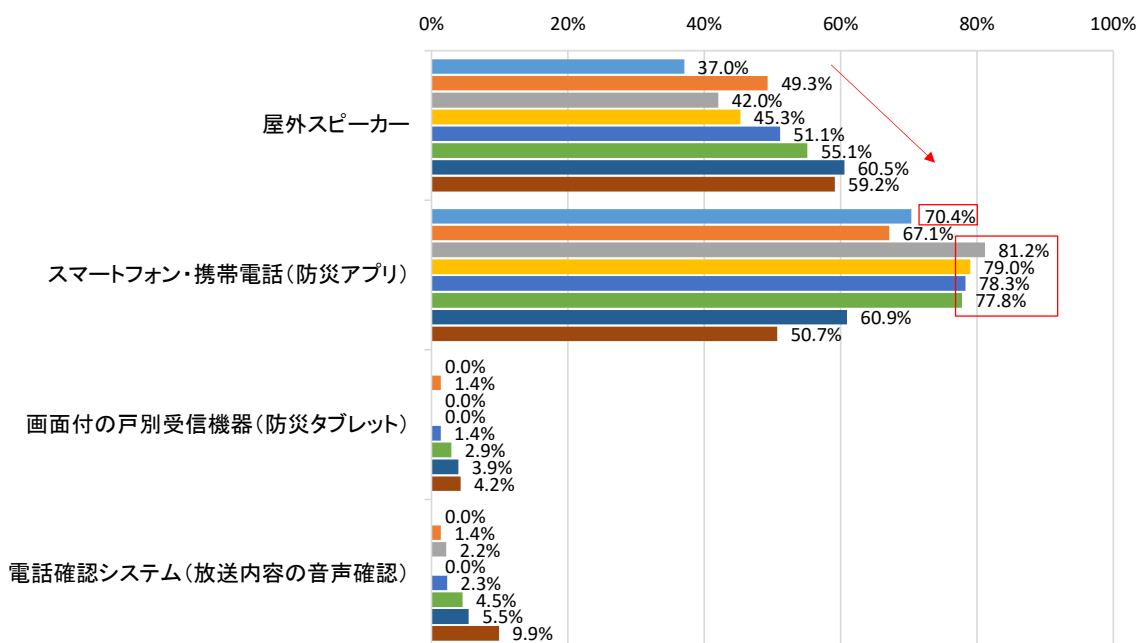
どのようなツールを利用して防災情報を得ているかについて見ると、「スマートフォン・携帯電話(防災アプリ)」が最も高く72.4%、次いで「屋外スピーカー」で52.0%となっています。一方、「電話確認システム(放送内容の音声確認)」は3.5%、「画面付の各戸受信機器(防災タブレット)」は2.0%と低くなっています。

年代別に見ると、「スマートフォン・携帯電話(防災アプリ)」は10歳代と30～60歳代で7割を超えており、「屋外スピーカー」は年代が上がるほど高くなる傾向が伺えます。

(N=1,211)



【年代別】 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

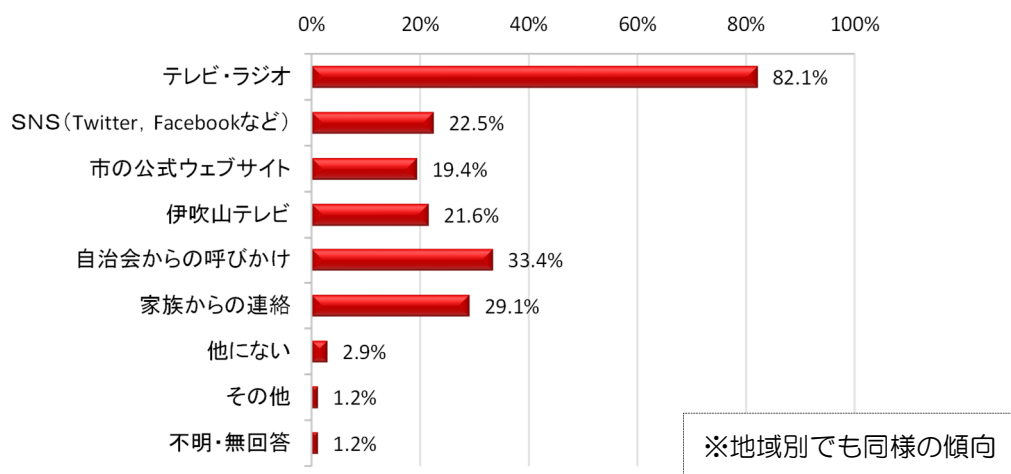


問 20 問 19 のほか、あなたは、どのような方法で防災情報を得ていますか。
(あてはまるものすべて)

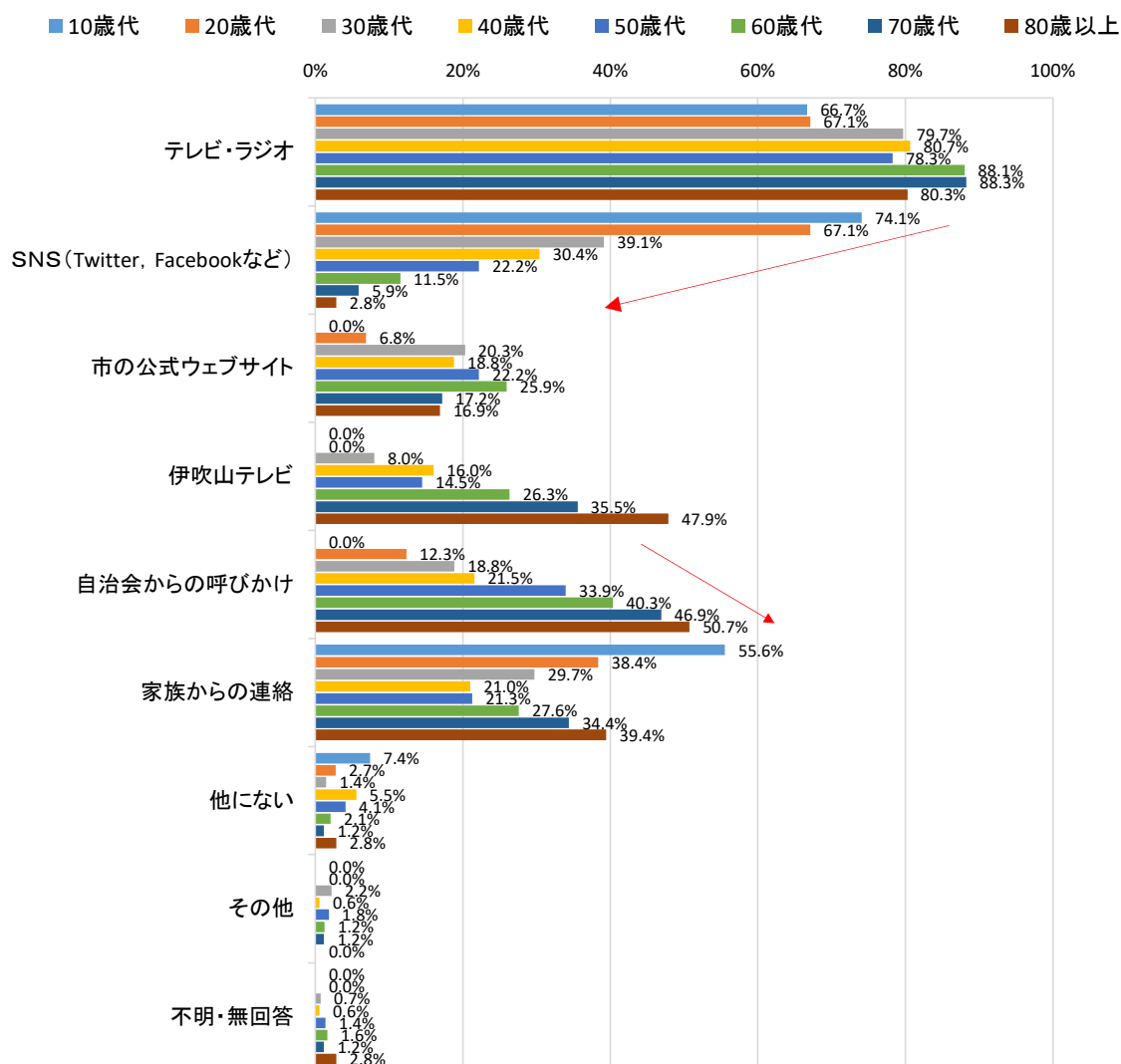
問 19 以外でどのような方法で防災情報を得ているかについて見ると、「テレビ・ラジオ」が最も高く 82.1%、次いで「自治会からの呼びかけ」33.4%、「家族からの連絡」29.1%となっています。

年代別に見ると、「テレビ・ラジオ」は全年代で高く、「SNS (Twitter, Facebook など)」は年代が上がるほど低く、「自治会からの呼びかけ」は年代が上がるほど高くなっています。

(N=1,211)



【年代別】

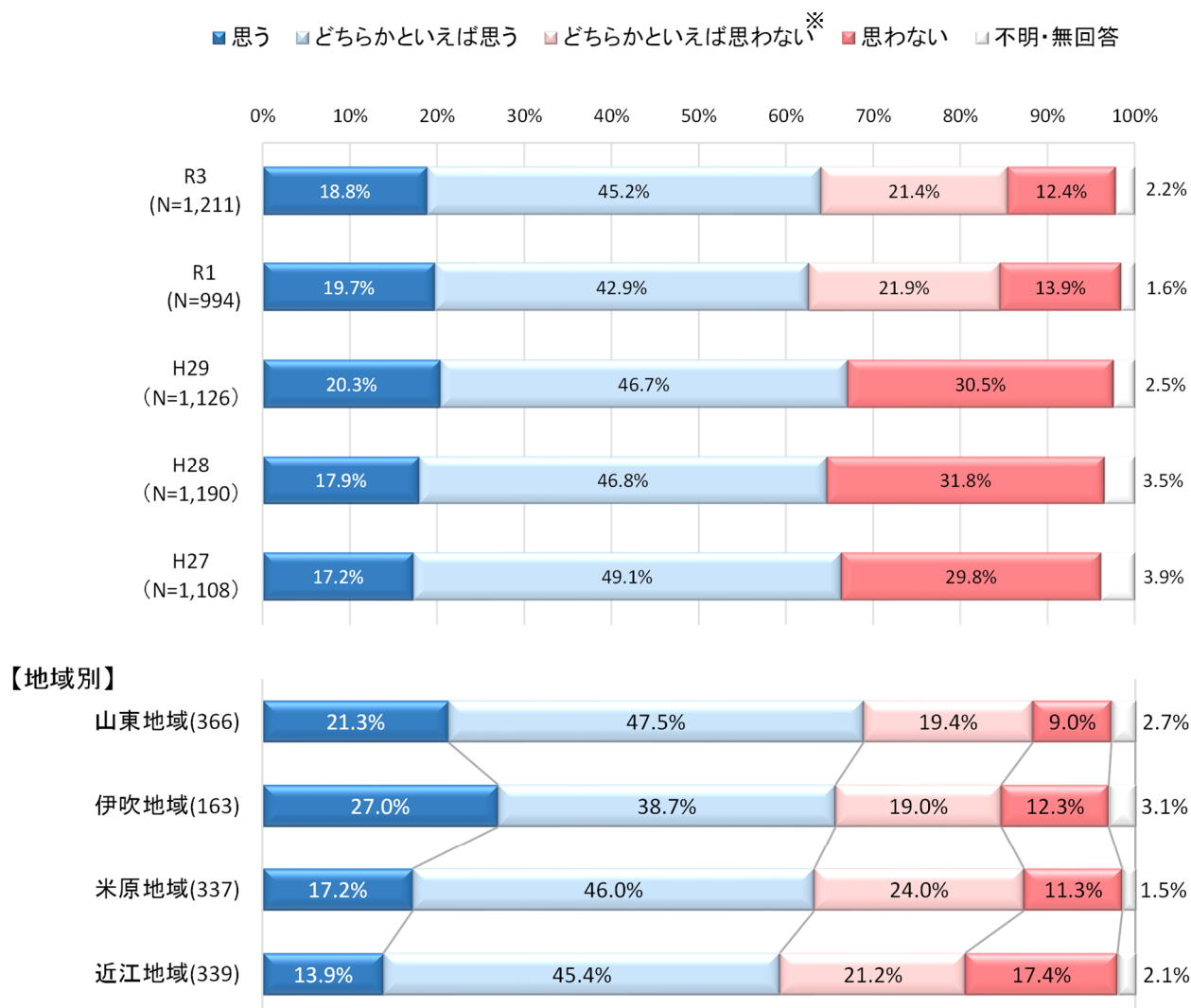


問 21 あなたは、米原市の水道水はおいしいと思いますか。(1つ)

米原市の水道水はおいしいと思うかについて見ると、「思う」が18.8%、「どちらかといえば思う」が45.2%と、6割半ばの市民がおいしいと思っています。

経年変化で見ると、水道水をおいしいと「どちらかといえば思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』は市民の3割強の割合で推移しています。

地域別に見ると、山東地域で「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』が、他の地域よりも高くなっています。



※前回調査（R1）から、「どちらかといえば思わない」と「思わない」を分けています。

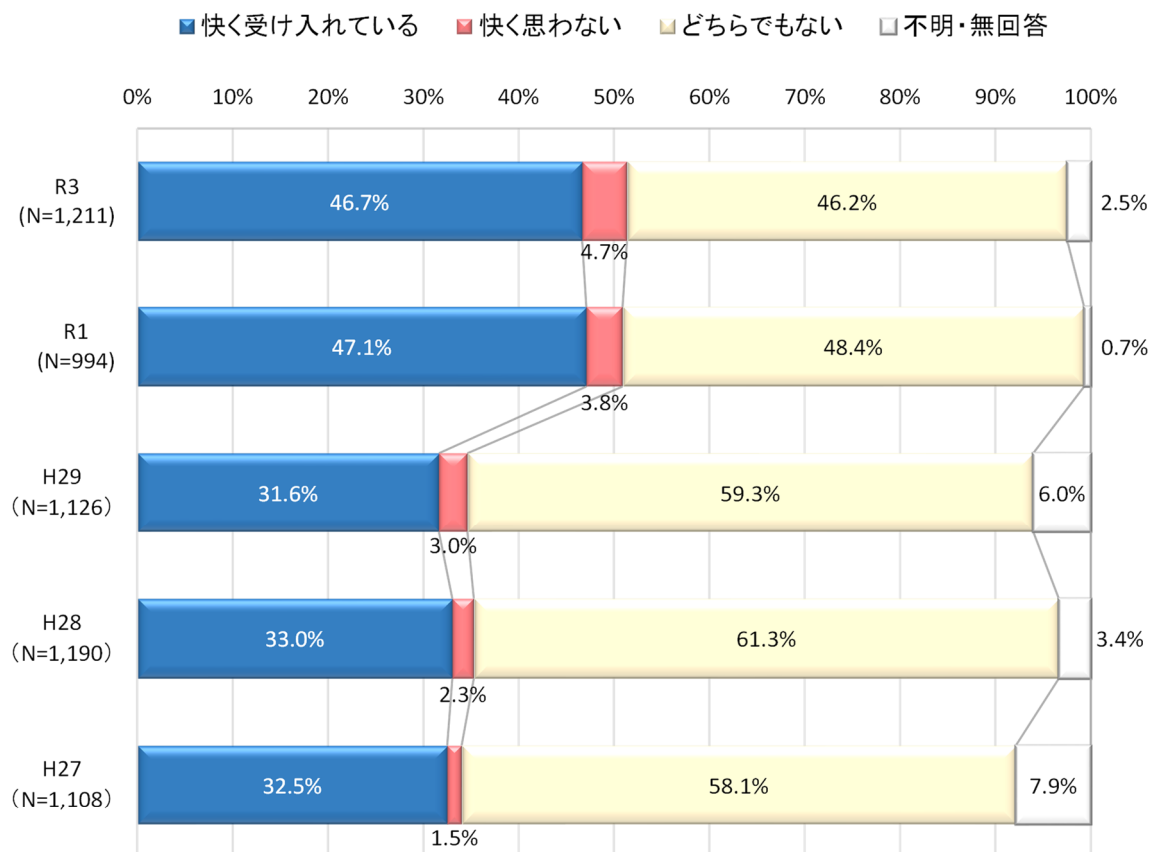
4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり に関する設問です。

問 22 あなたは、米原市を訪れる観光客など、お客さんを快く受け入れていますか。(1つ)

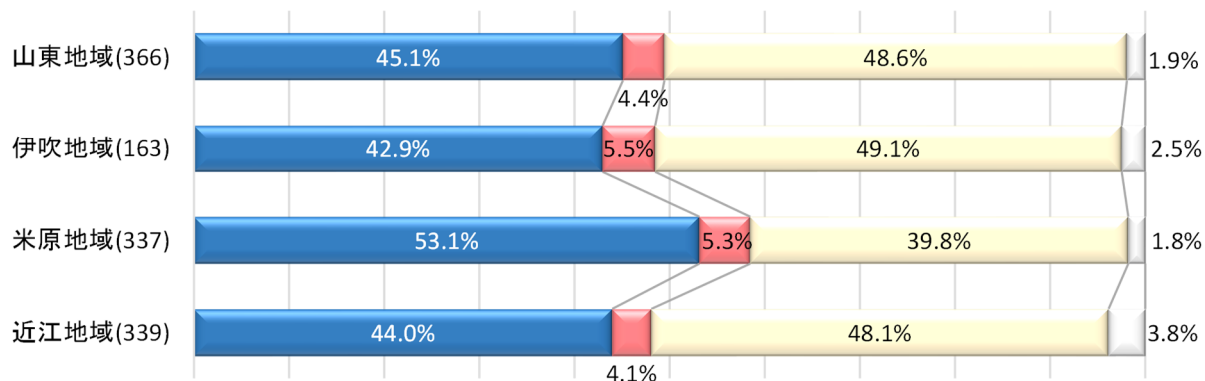
米原市を訪れる観光客などのお客さんを快く受け入れているかについて見ると、「快く受け入れている」が46.7%となっています。

経年変化で見ると、前回調査から「快く受け入れている」が高い結果となっています。

地域別で見ると、「快く受け入れている」が最も高いのは米原地域となっています。



【地域別】



5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり に関する設問です。

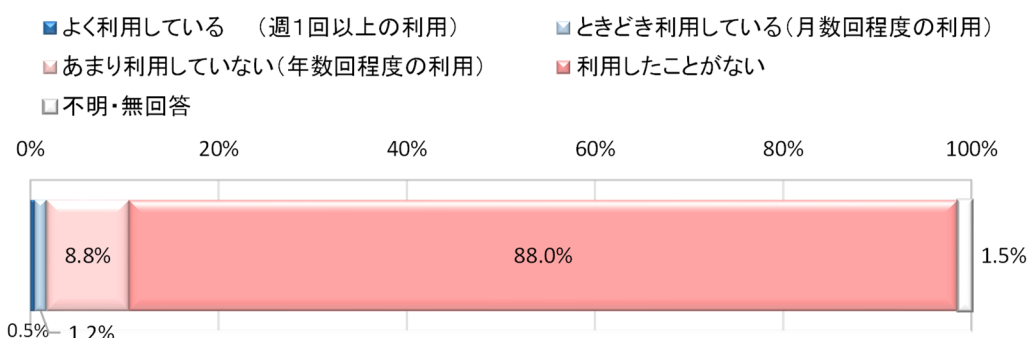
問 23 あなたは、市内を運行する路線バスを利用したことがありますか。(1つ)

市内を運行する路線バスの利用については、9割近い方の回答が「利用したことがない」との結果でした。

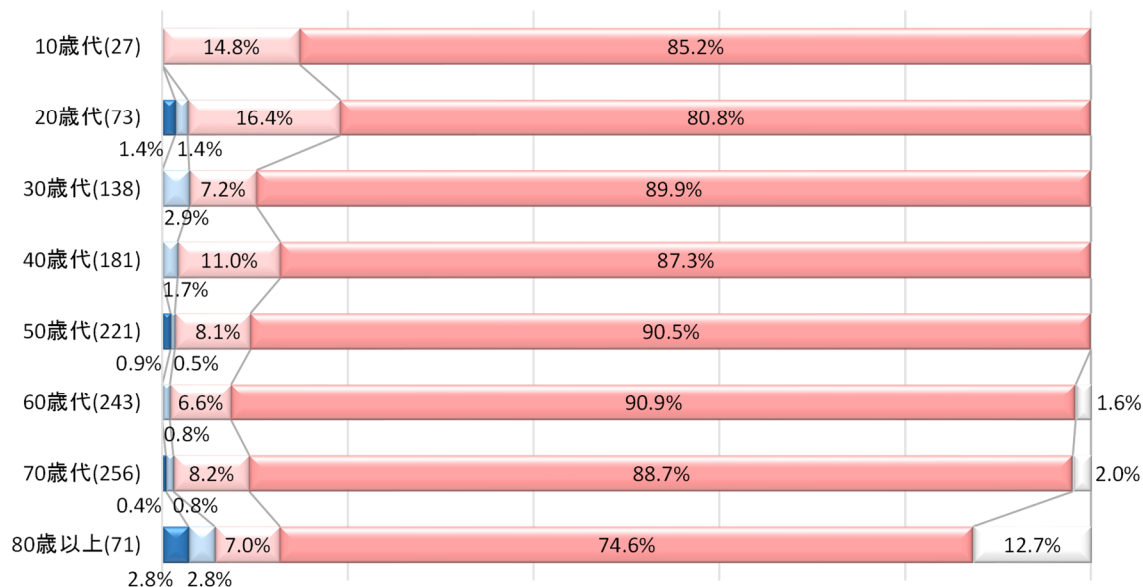
年代別に見ると、年に数回以上利用しているのは20歳代が19.2%と最も高く、次いで10歳代が14.8%、40歳代が12.7%となっています。また、月に数回以上利用しているのは80歳以上の方が5.6%と最も高くなっています。

地域別に見ると、年に数回以上利用している方は伊吹地域が13.5%と最も高く、次いで山東地域が13.3%、米原地域が9.5%となっています。

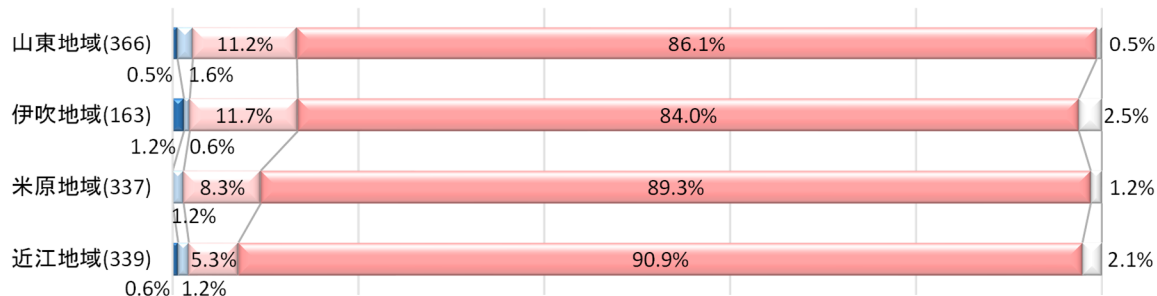
(N=1,211)



【年代別】



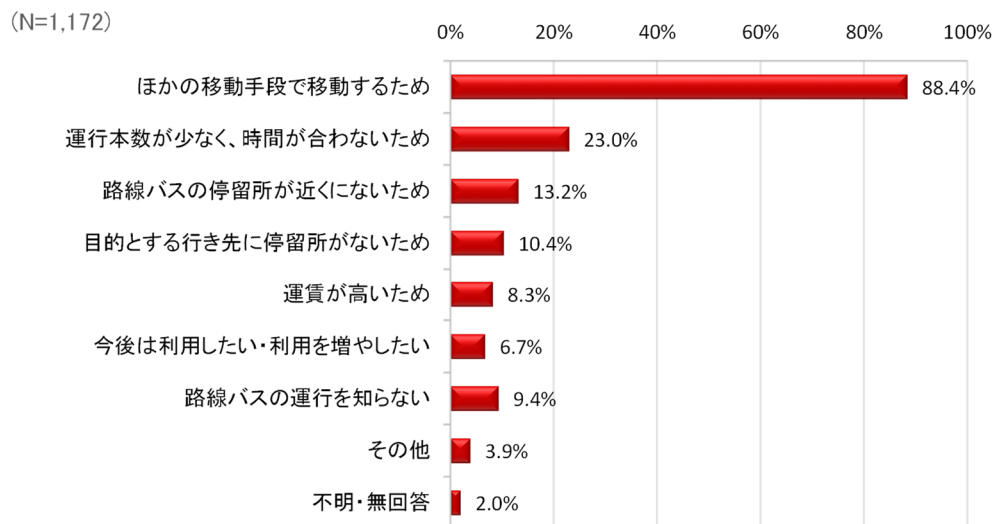
【地域別】



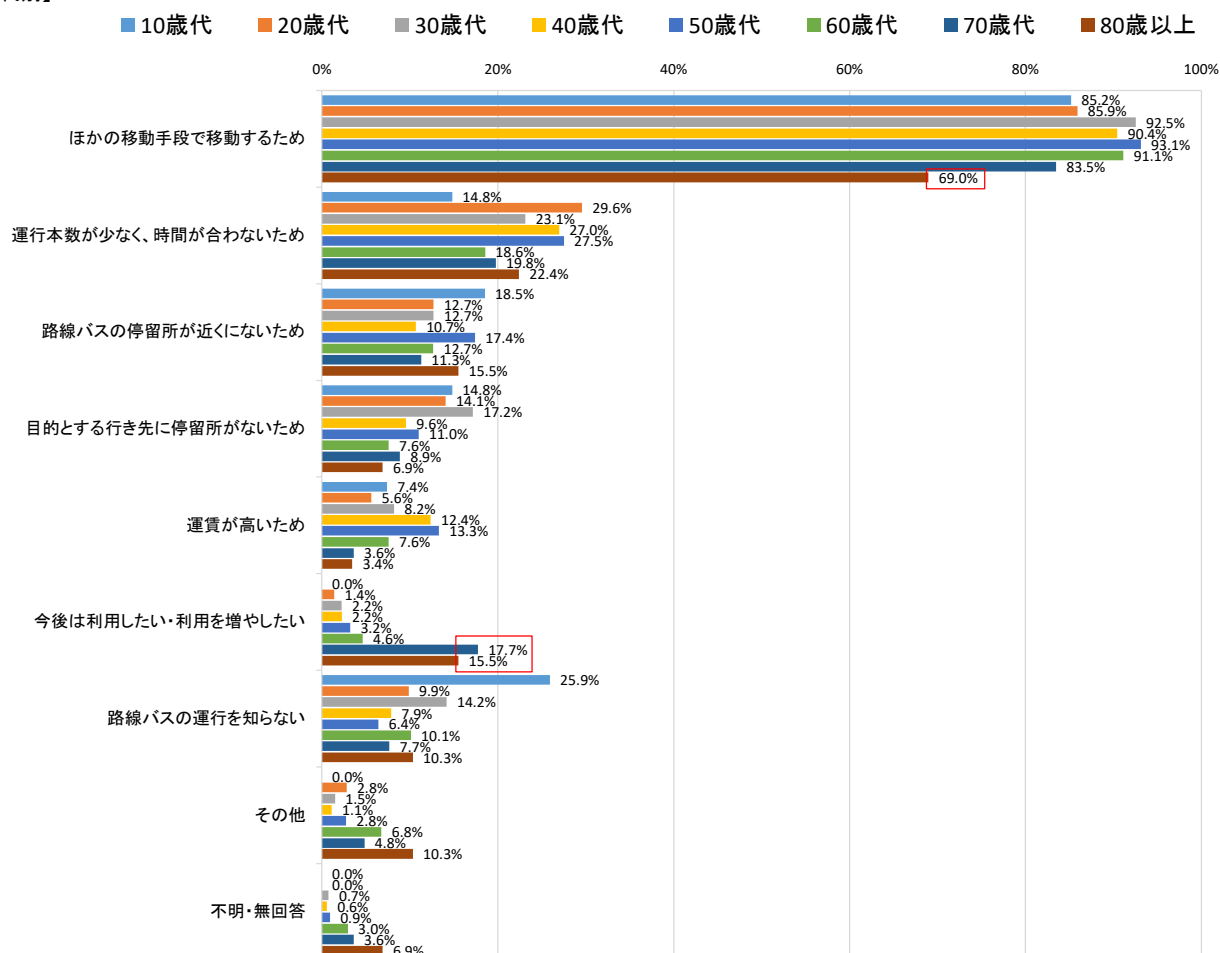
付問 4 【問 23 で「あまり利用していない」、「利用したことがない」と答えられた方】
利用していない理由（利用数が少ない理由）などをお聞かせください。
（あてはまるものすべて）

路線バスを「あまり利用していない」または「利用したことがない」と答えられた方の理由について見ると、「ほかの移動手段で移動するため」が 88.4%と最も高く、次いで「運行本数が少なく、時間が合わないため」が 23.0%、「路線バスの停留所が近くにないため」が 13.2%となっています。

年代別に見ると、「ほかの移動手段で移動するため」では 80 歳以上が最も低くなっています。また、「今後は利用したい・利用を増やしたい」では 70 歳代以上の割合が高くなっています。



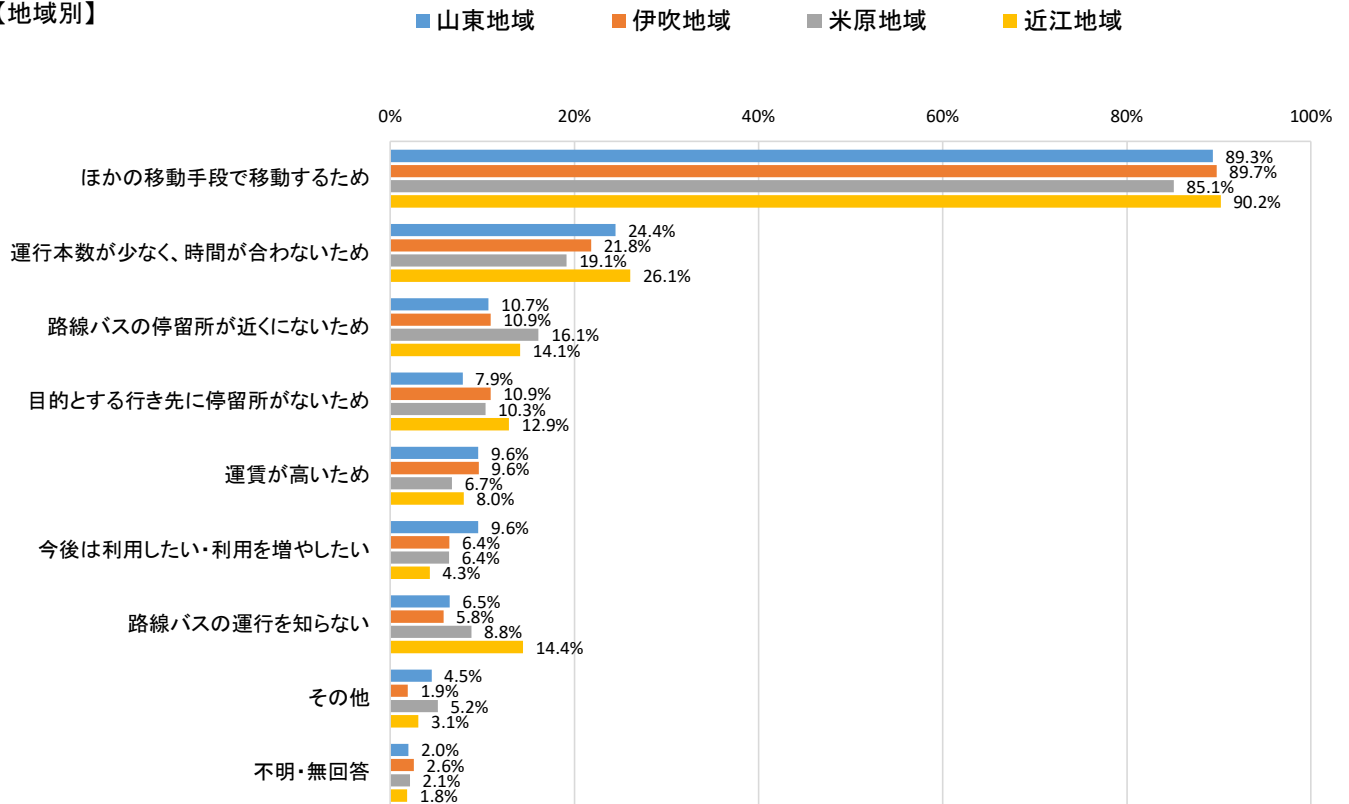
【年代別】



地域別に見ると、「ほかの移動手段で移動するため」では米原地域が低くなっています。

また、「運行本数が少なく、時間が合わないため」「目的とする行き先に停留所がないため」「路線バスの運行を知らない」では、いずれも近江地域の割合が高くなっています。

【地域別】



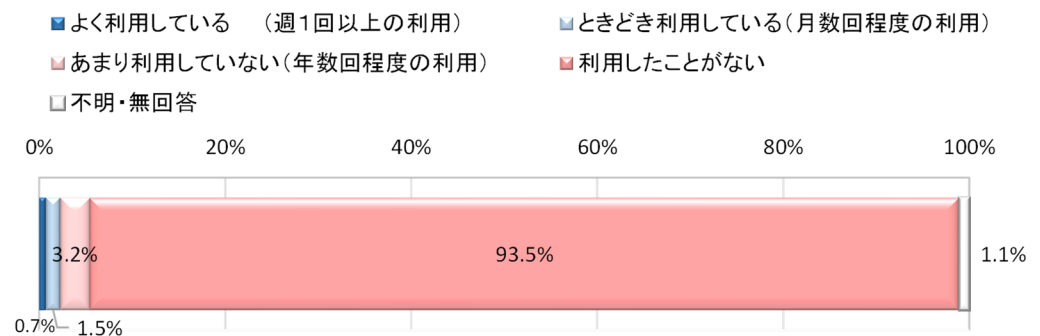
問 24 あなたは、乗合タクシー（まいちゃん号）を利用したことがありますか。（1つ）

乗合タクシー（まいちゃん号）の利用については、9割を超える方の回答が「利用したことがない」との結果でした。

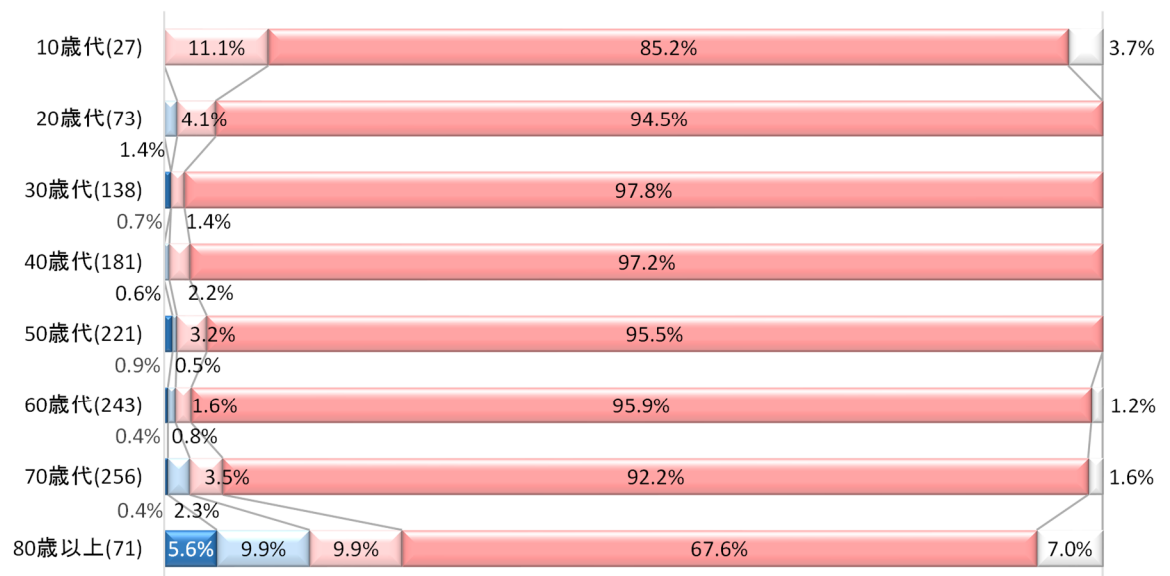
年代別に見ると、80歳以上が利用している割合が最も高く、年に数回以上が25.4%、週に1回以上では5.6%となっています。

地域別に見ると、年に数回以上利用している方は米原地域が7.7%、週に1回以上では伊吹地域が1.8%と高くなっています。

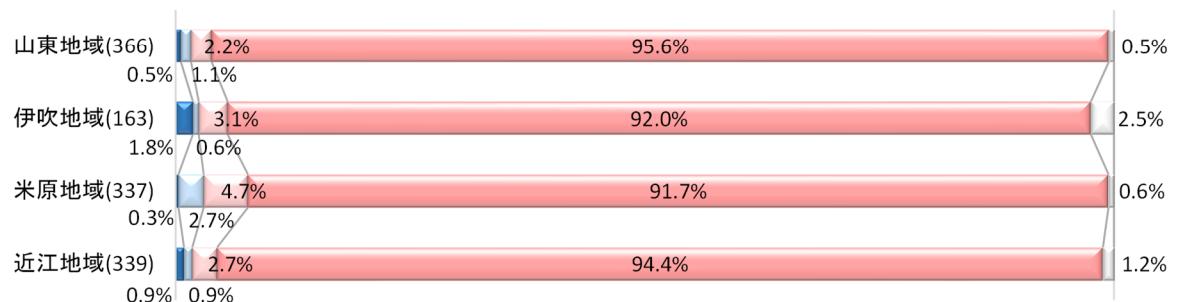
(N=1,211)



【年代別】



【地域別】



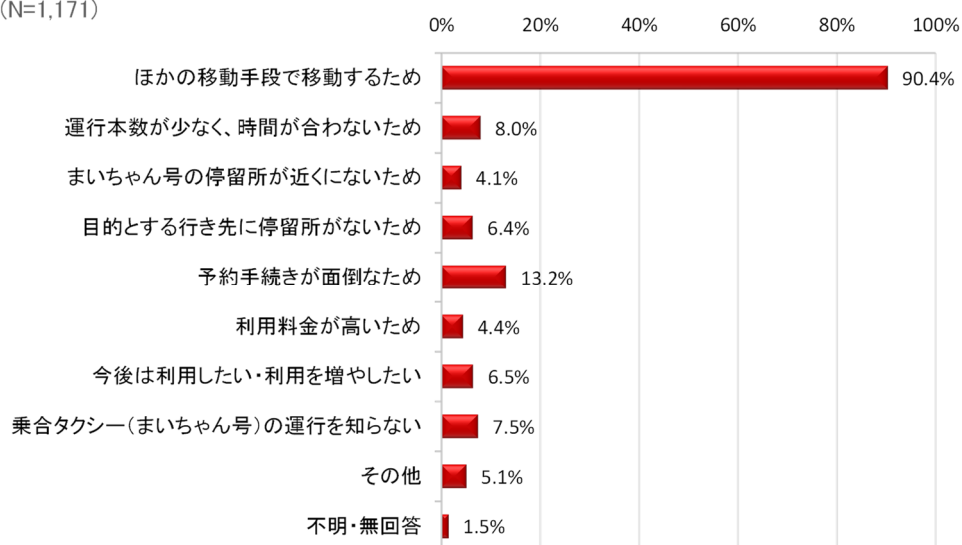
付問5 【問24で「あまり利用していない」、「利用したことがない」と答えられた方】
利用していない理由（利用数が少ない理由）などをお聞かせください。
（あてはまるものすべて）

乗合タクシー（まいちゃん号）を「あまり利用していない」または「利用したことがない」と答えられた理由について見ると、「ほかの移動手段で移動するため」が90.4%と最も高く、次いで「予約手続きが面倒なため」が13.2%、「運行本数が少なく、時間が合わないため」が8.0%となっています。

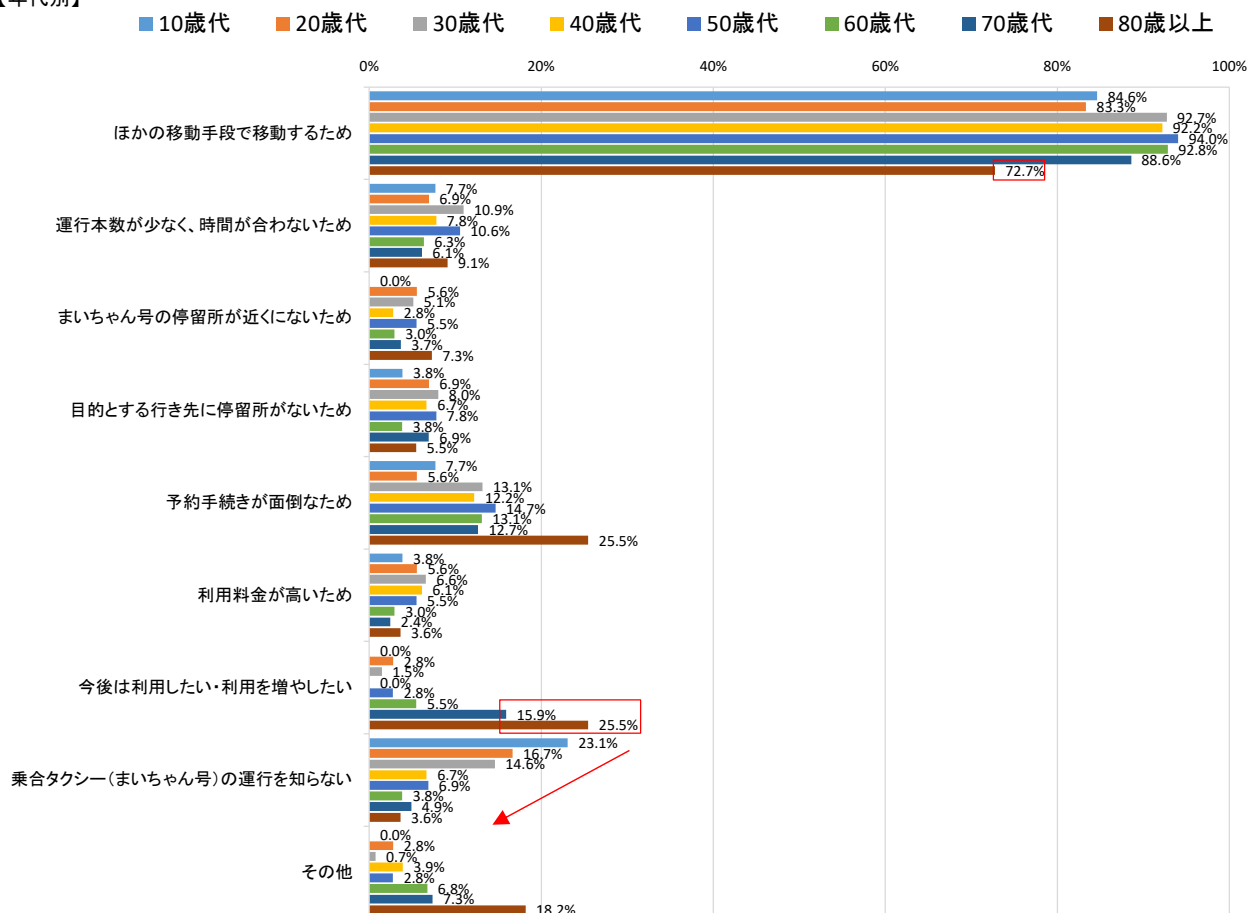
年代別に見ると、路線バスと同様に「ほかの移動手段で移動するため」では80歳以上が最も低く、「今後は利用したい・利用を増やしたい」では70歳代以上の割合が高くなっています。

また、「乗合タクシーの運行を知らない」では、年代が上がるほど低いことが伺えます。

(N=1,171)



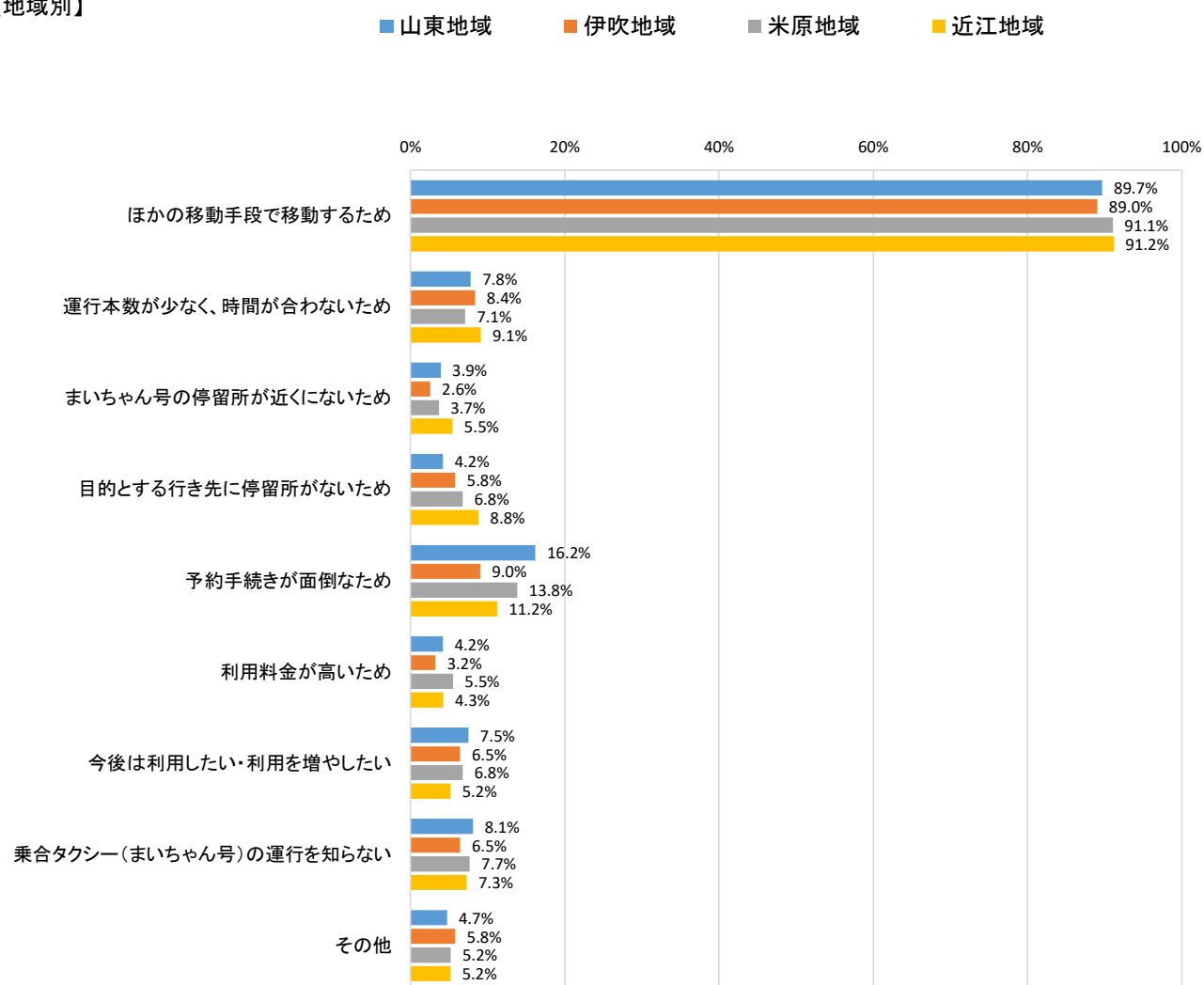
【年代別】



地域別に見ると、「ほかの移動手段で移動するため」では伊吹地域が低くなっていますが、全地域ともほぼ同様な割合になってます。

また、「予約手続きが面倒なため」「今後は利用したい・利用を増やしたい」「集合タクシー（まいちゃん号）の運行を知らない」では、いずれも山東地域の割合が高くなっています。

【地域別】



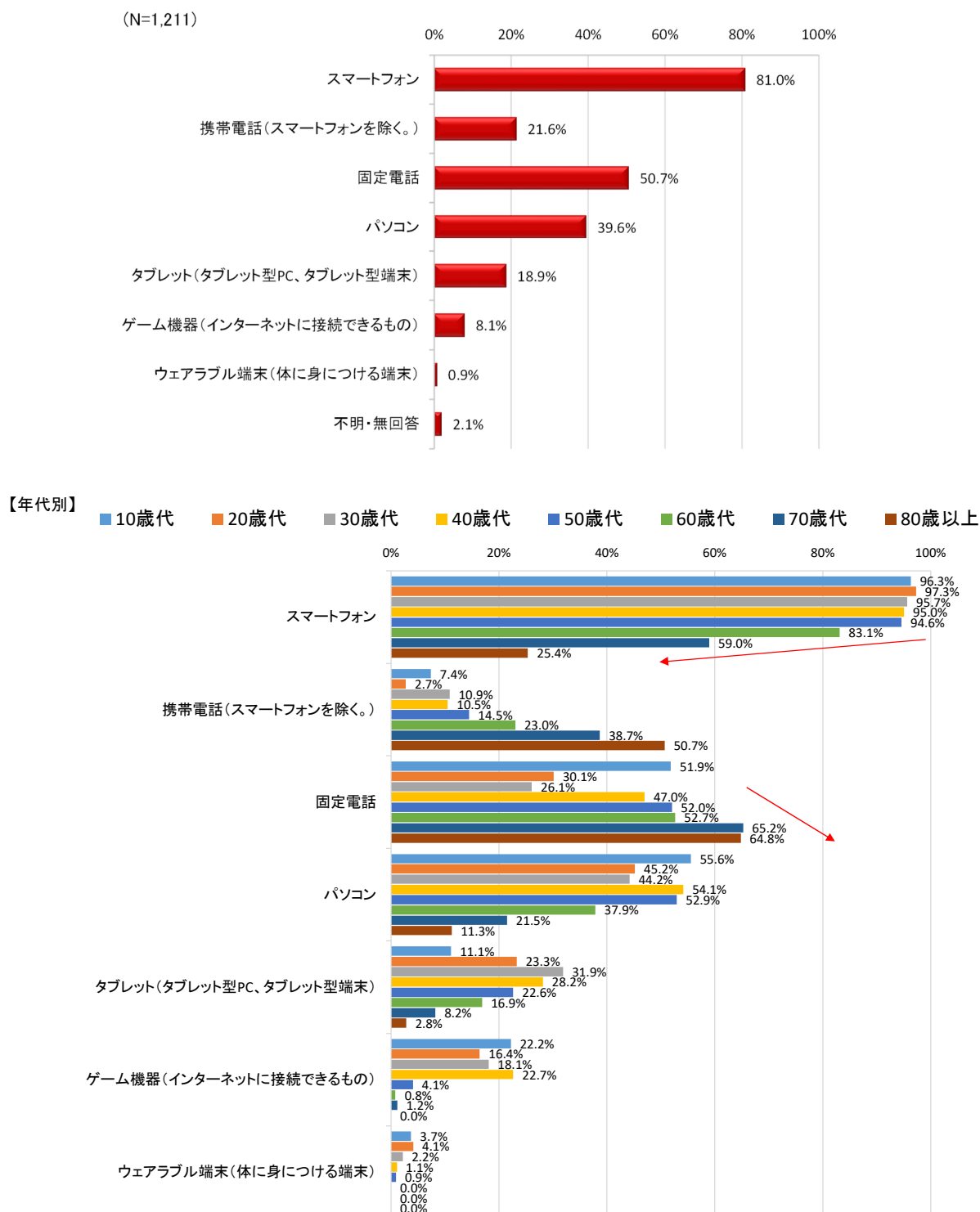
6. まちづくりを進めるための基盤 に関する設問です。

問 25 あなたご自身またはご家庭で利用している情報通信機器はどれですか。 (あてはまるものすべて)

自身または家庭で利用している情報通信機器の設問については、「スマートフォン」が81.0%と最も高く、次いで「固定電話」が50.7%、「パソコン」が39.6%となっています。

年代別に見ると、「スマートフォン」については年代が上がるに従って割合が低くなっています。

一方「固定電話」では30歳代以降、年代が上がるに従い割合が高くなる傾向が見られます。



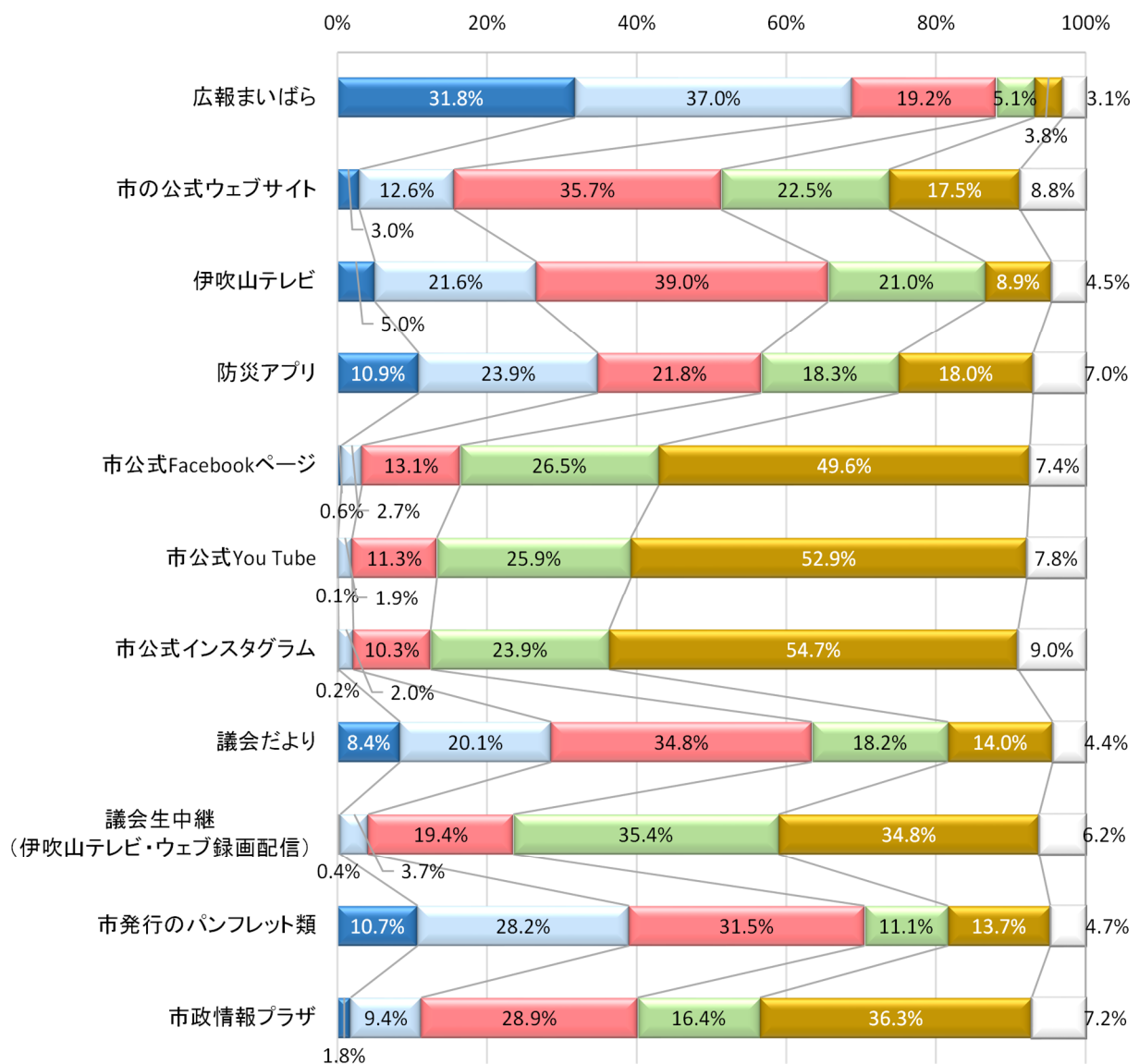
問 26 市では、様々な方法により情報発信をしています。あなたは、どの程度ご覧になりますか。1～11のそれぞれの項目についてお答えください。
(それぞれ1つ)

市が発信している情報を、どのような頻度で得ているかについて見ると、「かかさず見ている」が最も多いのは「広報まいばら」で31.8%、次いで「防災アプリ」が10.9%となっています。

一方、「市公式Facebookページ」、「市公式YouTube」、「市公式Instagram」については、「知らない」が半数程度となっており、情報源として十分な認知を得られていない結果となっています。

(N=1,211)

■ かかさず見ている ■ 見ることが多い ■ 見ることが少ない ■ 知っているが 見たことがない ■ 知らない ■ 不明・無回答

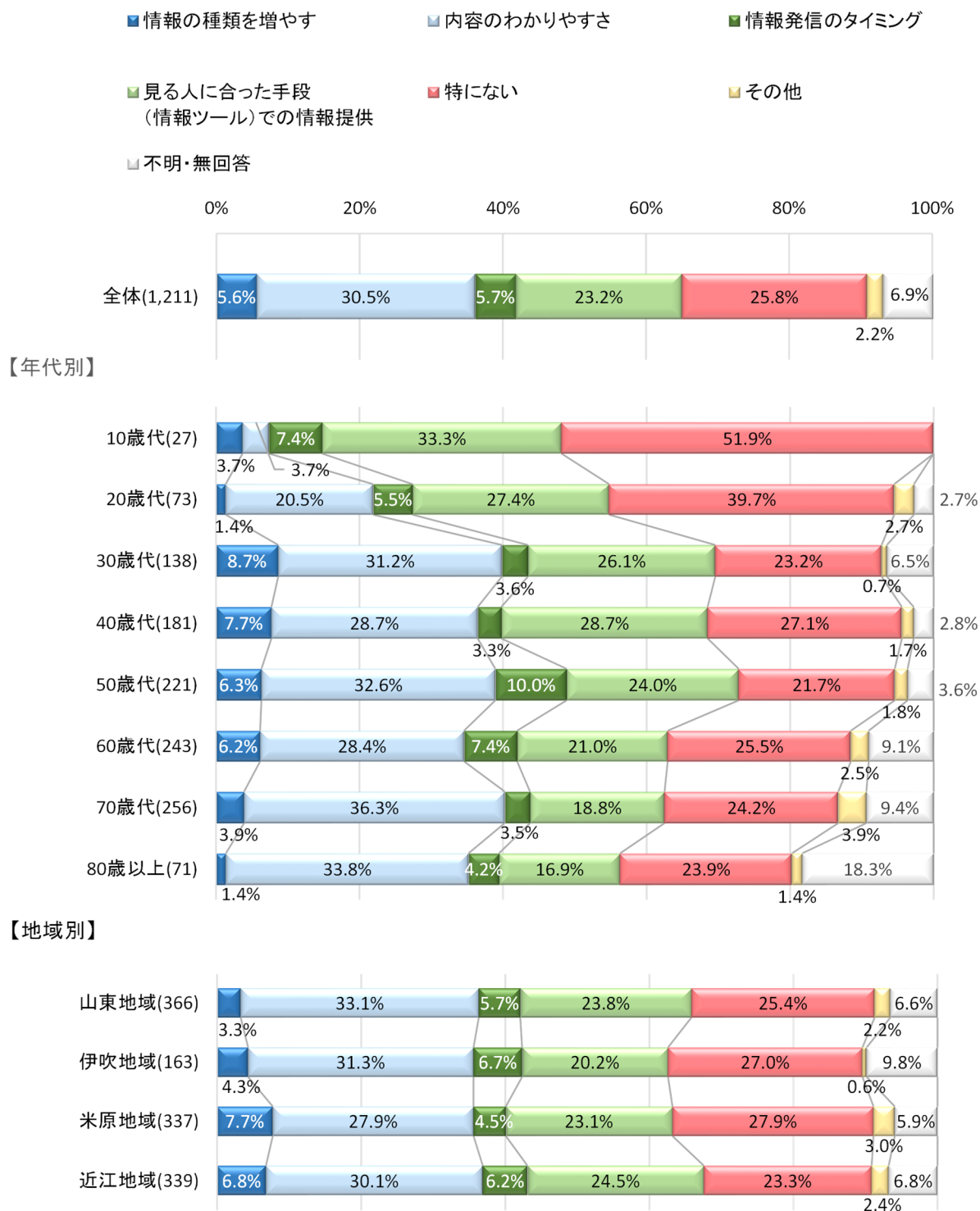


問 27 市の情報発信について充実させてほしいことは何ですか。（１つ）

市の情報発信について充実させてほしいことについて見ると、「内容のわかりやすさ」が最も高く30.5%、次いで「特にない」が25.8%、「見る人に合った手段（情報ツール）での情報提供」が23.2%となっています。

年代別に見ると、「内容のわかりやすさ」は70歳代以上、「特にない」は20歳代以下、「見る人に合った手段（情報ツール）での情報提供」は10歳代でそれぞれ高くなっています。

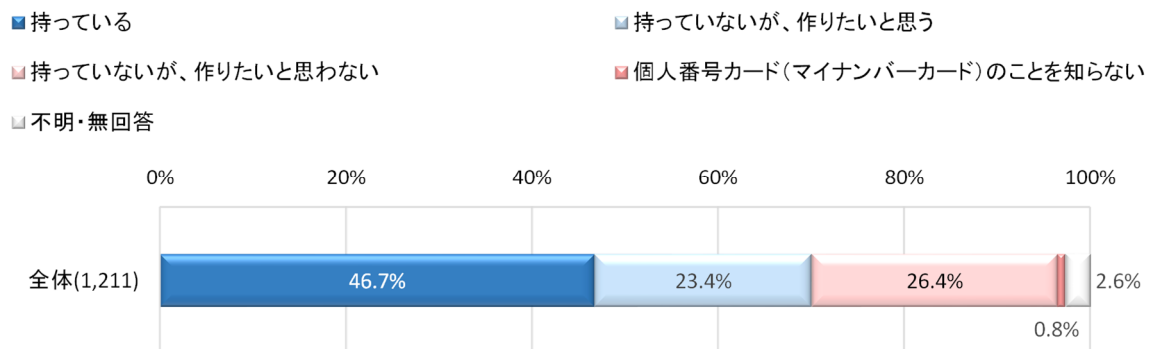
地域別では、ほぼ同程度の傾向が見られます。



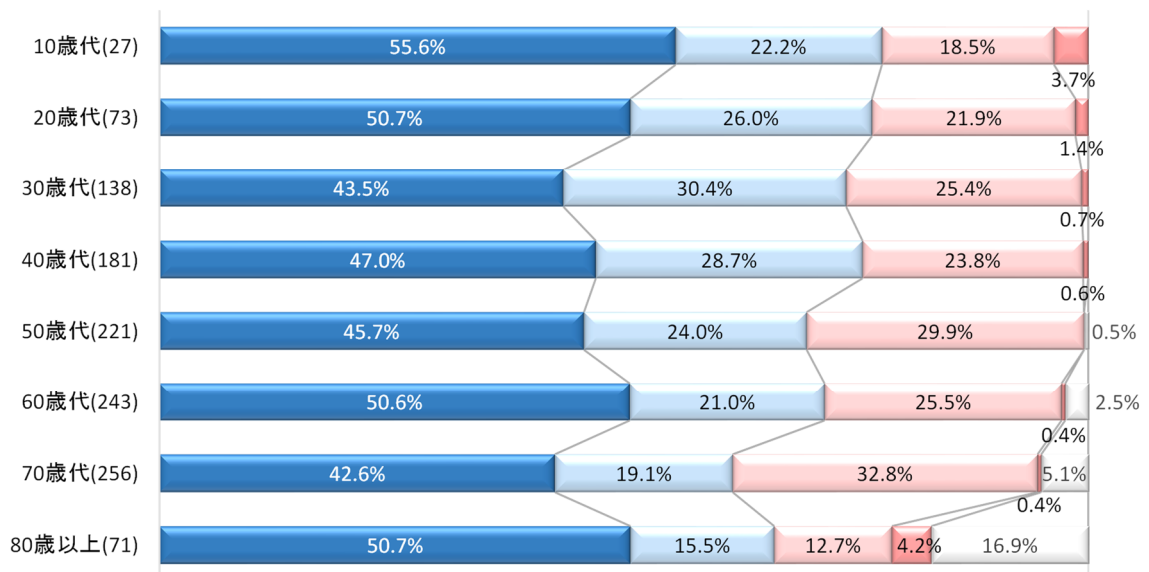
問 28 あなたは、個人番号カード（マイナンバーカード）を持っていますか。（1つ）

個人番号カード（マイナンバーカード）を持っているかどうかについて見ると、「持っている」が最も高く 46.7%、次いで「持っていないが、作りたいと思わない」が 26.4%、「持っていないが、作りたいと思う」が 23.4%となっています。

年代別に見ると、「持っている」が 10～20 歳代、60 歳代、80 歳以上で半数以上、「持っていないが、作りたいと思わない」が 70 歳代、「持っていないが、作りたいと思う」は 30 歳代でそれぞれ高くなっています。



【年代別】

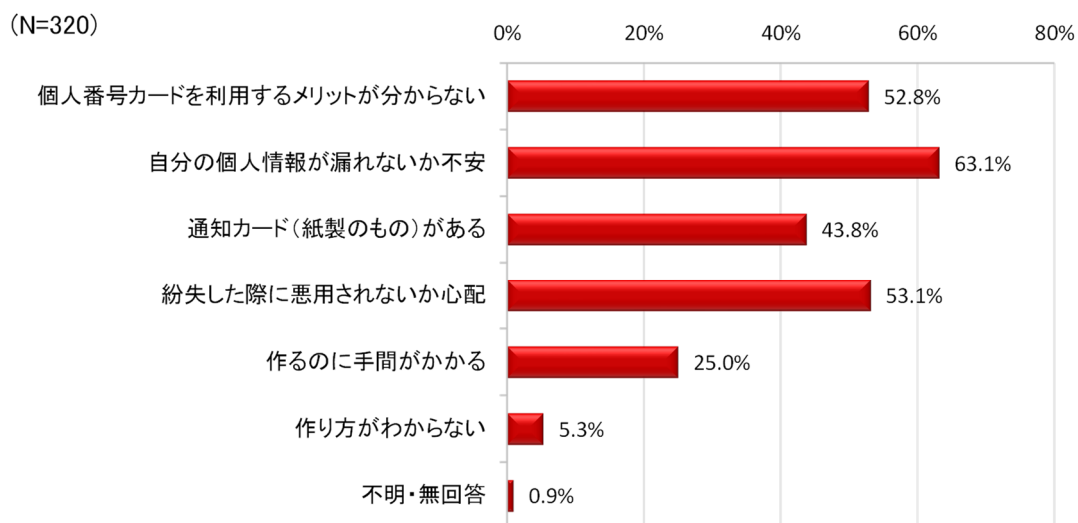


付問6 【問28で「持っていないが、作りたいとは思わない」と答えられた方】
「作りたいとは思わない」とする理由をお答えください。(あてはまるものすべて)

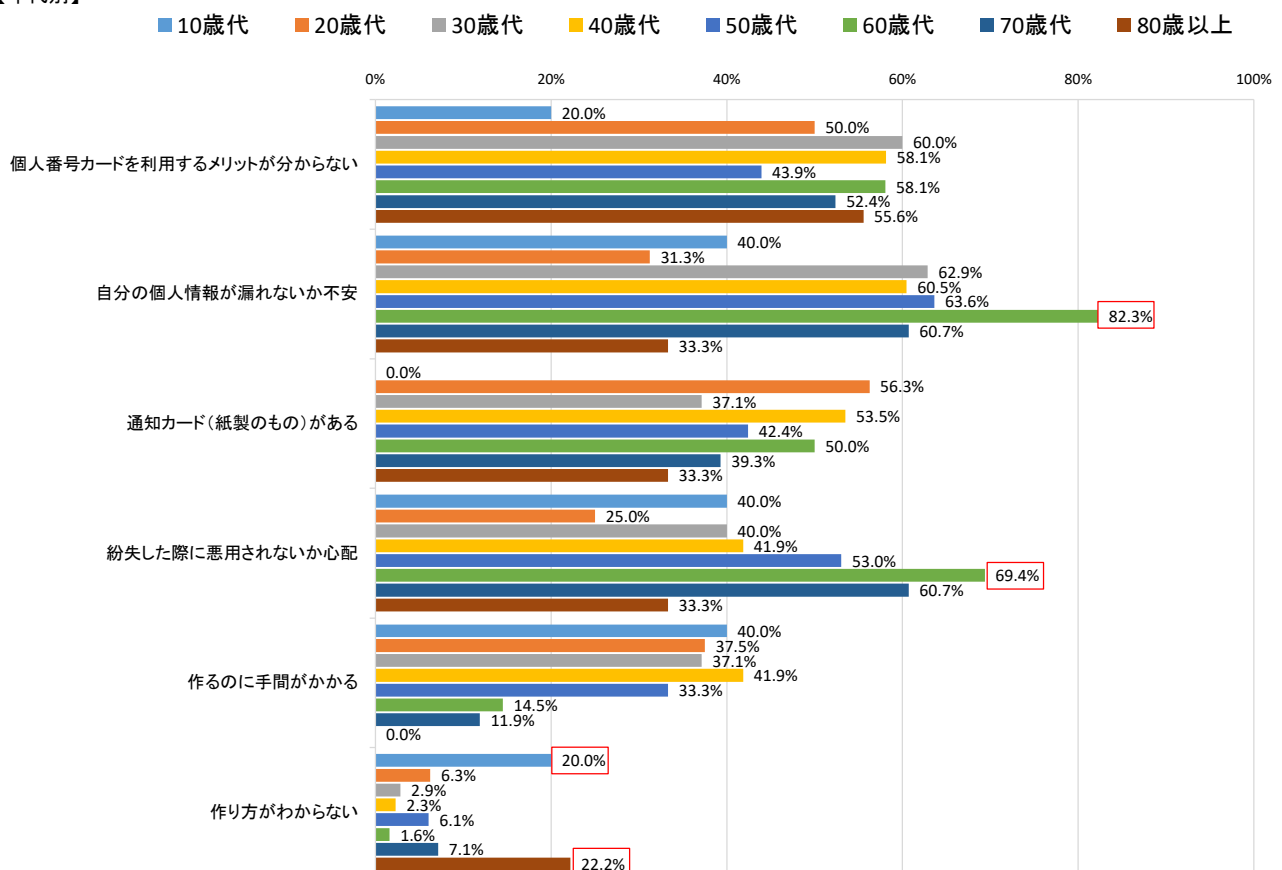
個人番号カードについて「持っていないが、作りたいとは思わない」と答えた方の理由について見ると、「自分の個人情報が漏れないか不安」が63.1%と最も高く、次いで「紛失した際に悪用されないか心配」が53.1%、「個人番号カードを利用するメリットが分からない」が52.8%となっています。

年代別に見ると、「自分の個人情報が漏れないか不安」と「紛失した際に悪用されないか心配」では、いずれも60歳代が最も高くなっています。

また、「作り方がわからない」では、10歳代と80歳以上が高くなっています。



【年代別】

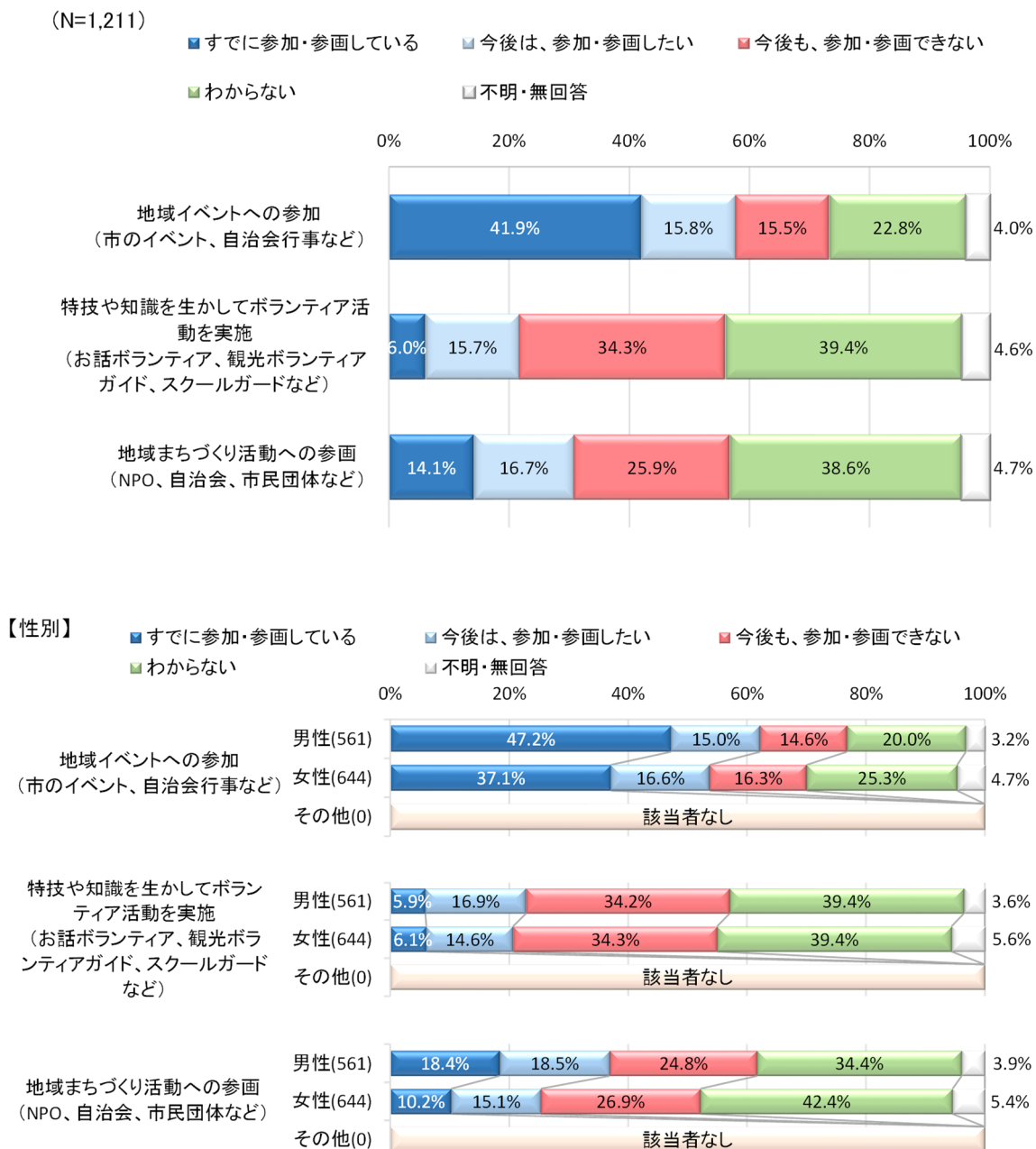


問 29 あなたは、これまでにまちづくり活動に参加・参画したことがありますか。また、参加・参画したことがない方は、今後（コロナ収束後）のお考えについてお答えください。（それぞれ1つ）

まちづくり活動に参加・参画について見ると、「地域イベントへの参加（市のイベント、自治会行事など）」は「すでに参加・参画している」が41.9%、「今後は、参加・参画したい」が15.8%と前向きな回答がありました。

「特技や知識を生かしてボランティア活動を実施（お話ボランティア、観光ボランティアガイド、スクールガードなど）」と「地域まちづくり活動への参画（NPO、自治会、市民団体など）」では、「今後も、参加・参画できない」が高くなっています。

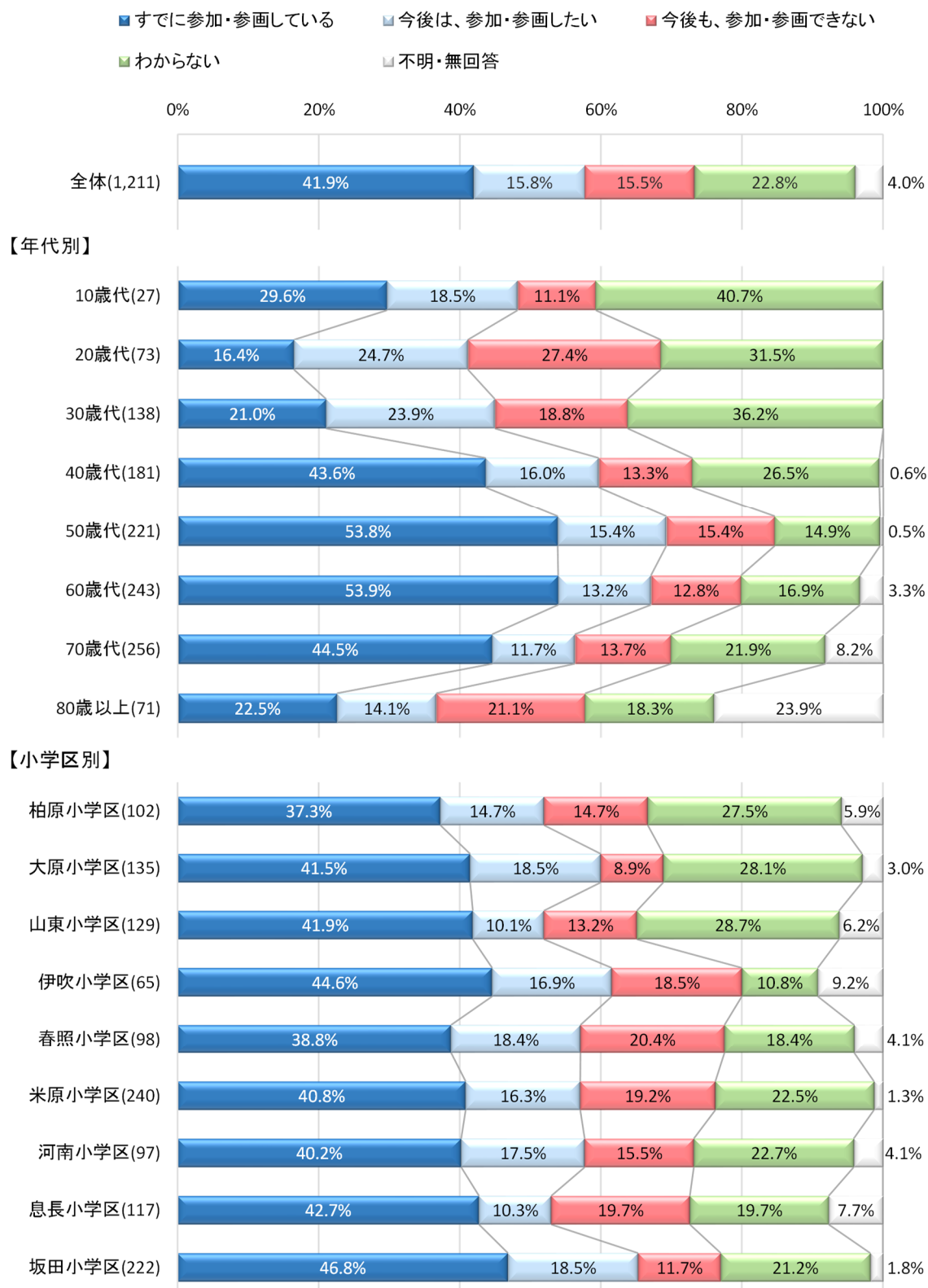
性別で見ると、「地域イベントへの参加」と「地域まちづくり活動への参画」は、男性の「参加・参画」意向が高い傾向が見られます。



◆地域イベントへの参加（市のイベント、自治会行事など）

年代別に見ると、「すでに参加・参画している」が40～70歳代で高く、「今後は、参加・参画したい」は20～30歳代で高くなっています。

小学区別では、「すでに参加・参画している」については、坂田小学区と伊吹小学区で高くなっています。

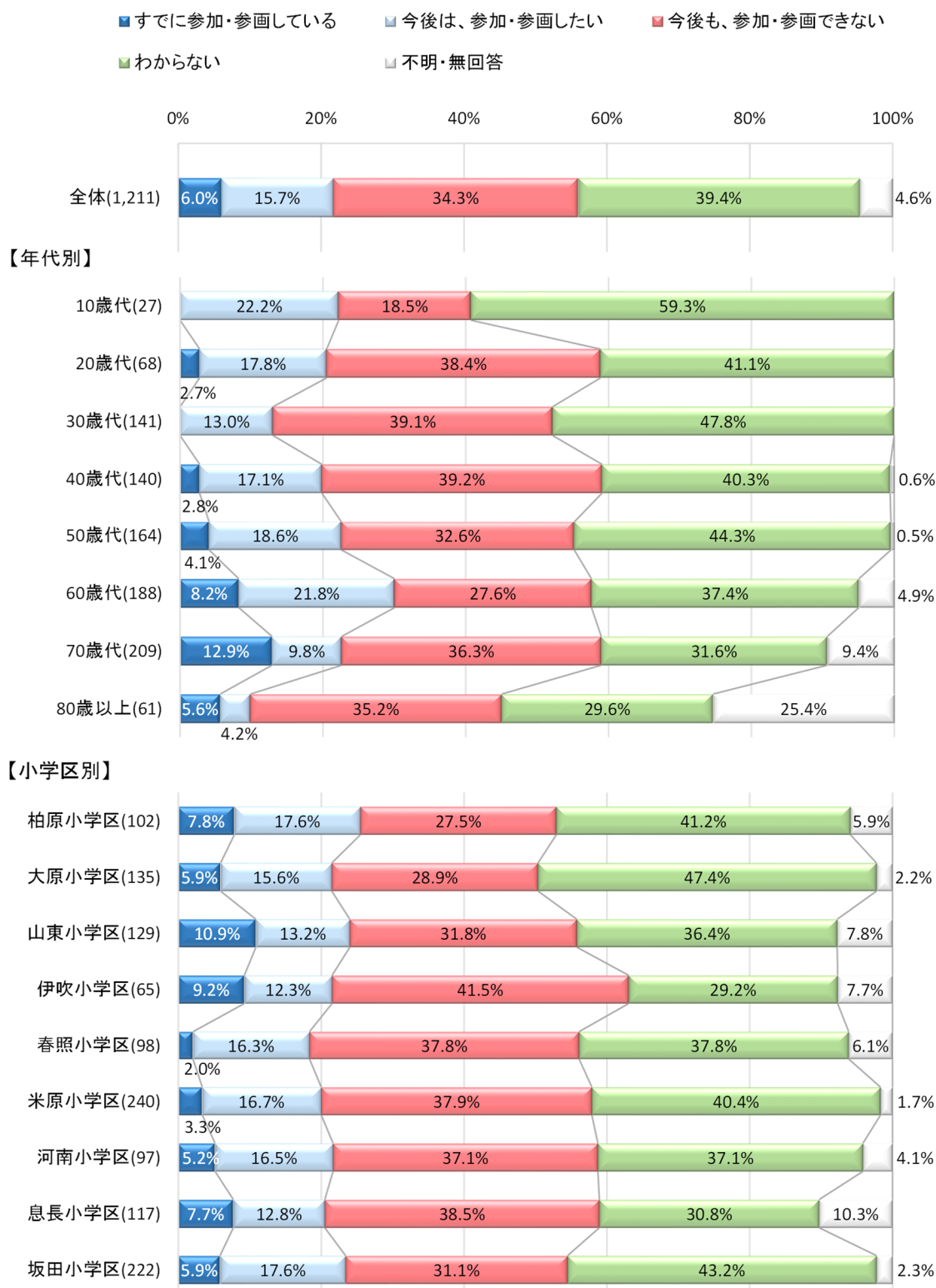


◆特技や知識を生かしてボランティア活動を実施

(お話ボランティア、観光ボランティアガイド、スクールガードなど)

「わからない」としている回答が多いなかで年代別に見ると、「すでに参加している」では60～70歳代が高く、「今後も、参加・参画できない」では20～40歳代が高くなっています。

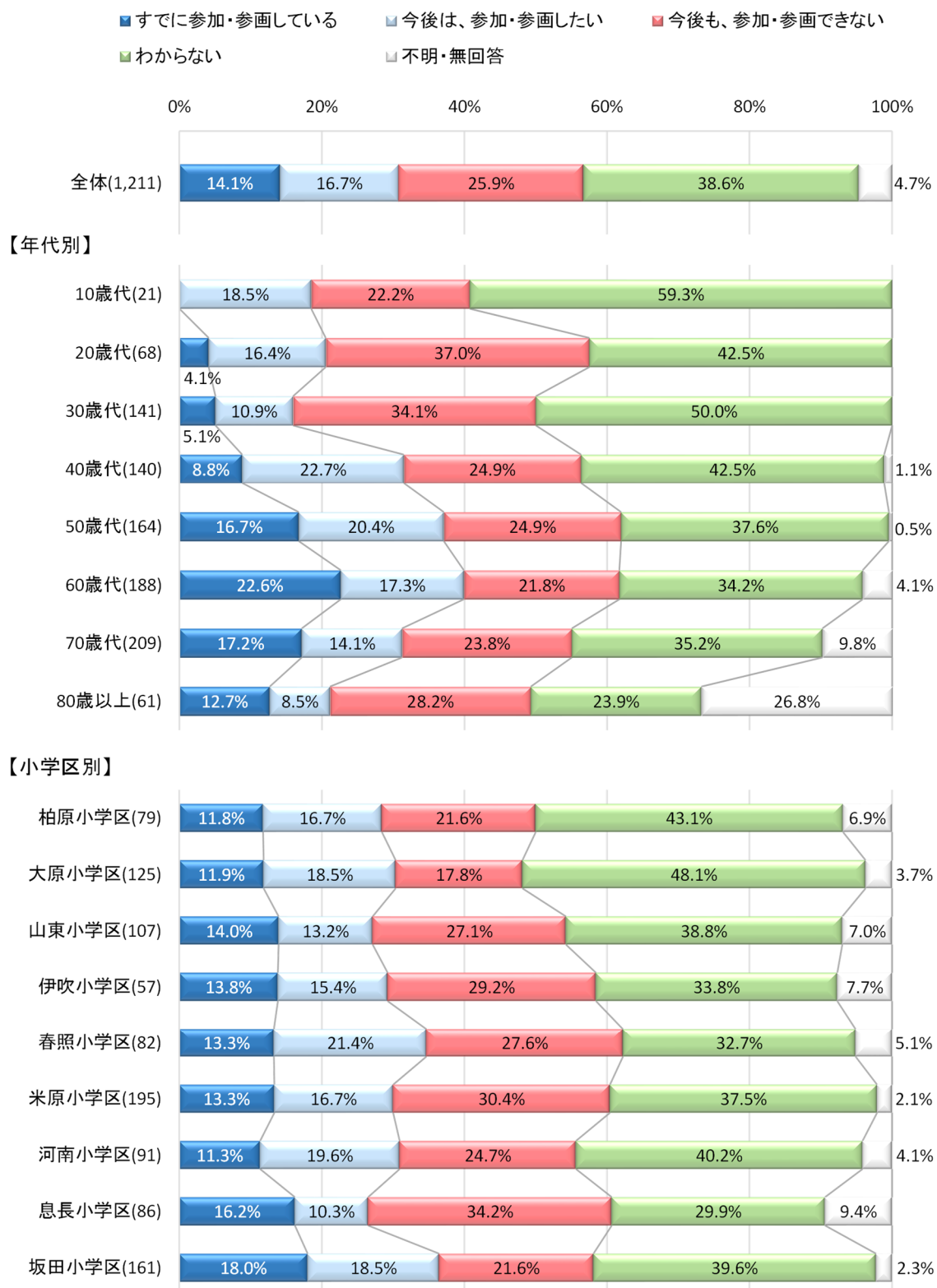
小学区別に見ると、「すでに参加している」では山東小学区と伊吹小学区が高くなっています。また、すべての小学区で、「すでに参加・参画している」「今後は、参加・参画したい」より、「今後も、参加・参画できない」が高くなっています。



◆地域まちづくり活動への参画（NPO、自治会、市民団体など）

「わからない」としている回答が多いなかで年代別に見ると、「すでに参加・参画している」では50～70歳代、「今後も、参加・参画できない」では20～30歳代がそれぞれ高くなっています。

小学区別に見ると、「すでに参加・参画している」「今後は、参加・参画したい」では坂田小学区と春照小学区が、「今後も、参加・参画できない」では息長小学区がそれぞれ高くなっています。

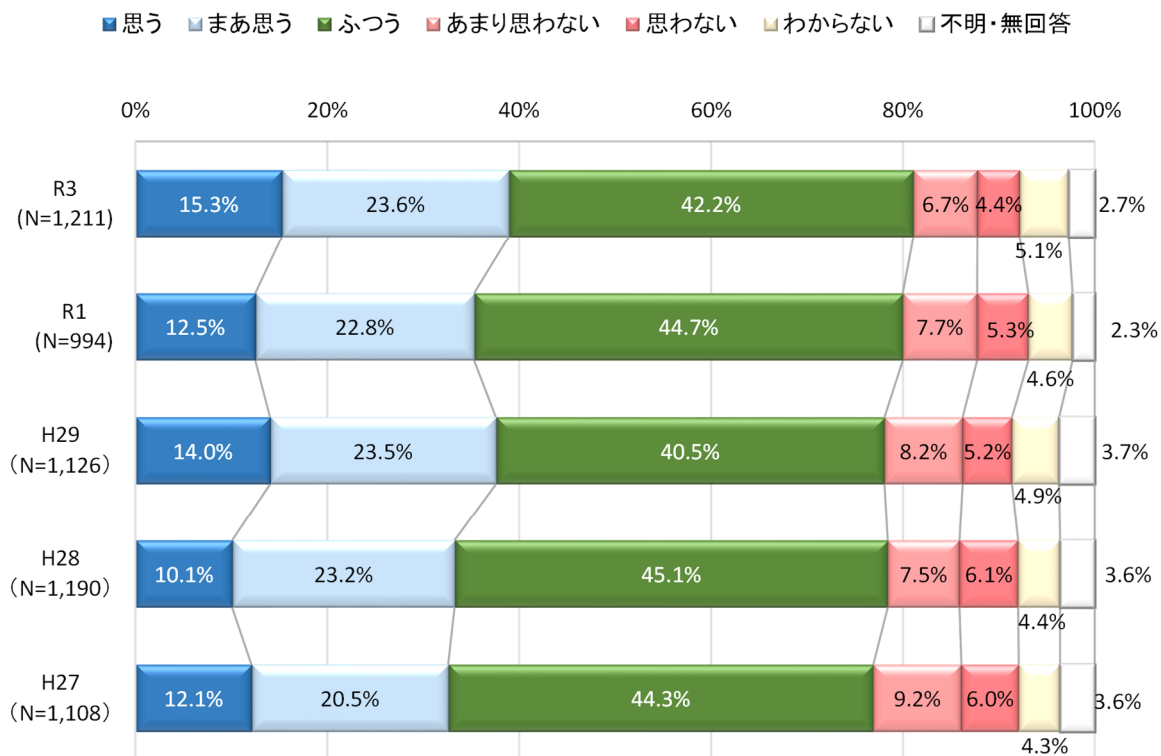


問 30 あなたは、市役所職員の対応はよいと思いますか。(1 つ)

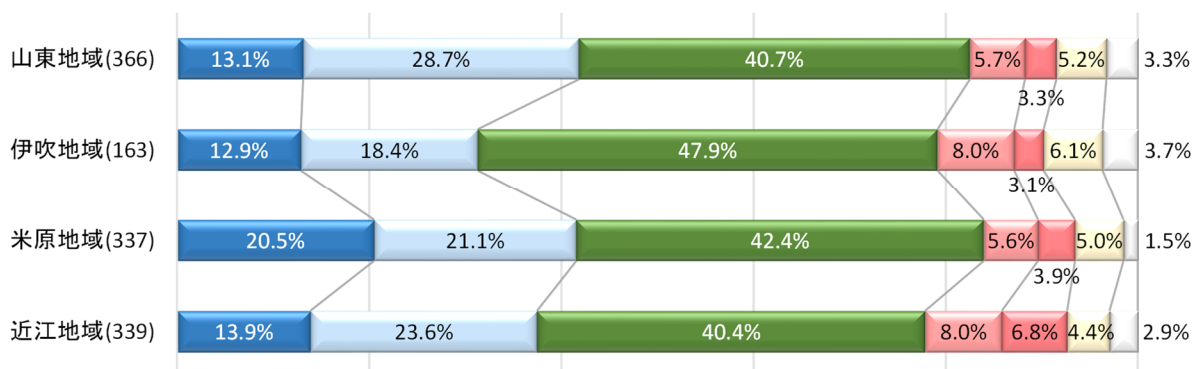
市役所職員の対応の印象については、「ふつう」が42.2%となっています。

経年変化で見ると、今回調査では、よいと「思う」・「まあ思う」は38.9%と最も高く、「あまり思わない」・「思わない」は11.1%と最も低くなっています。

地域別に見ると、伊吹地域で「思う」と「まあ思う」の合計が、他の地域よりも低くなっています。



【地域別】



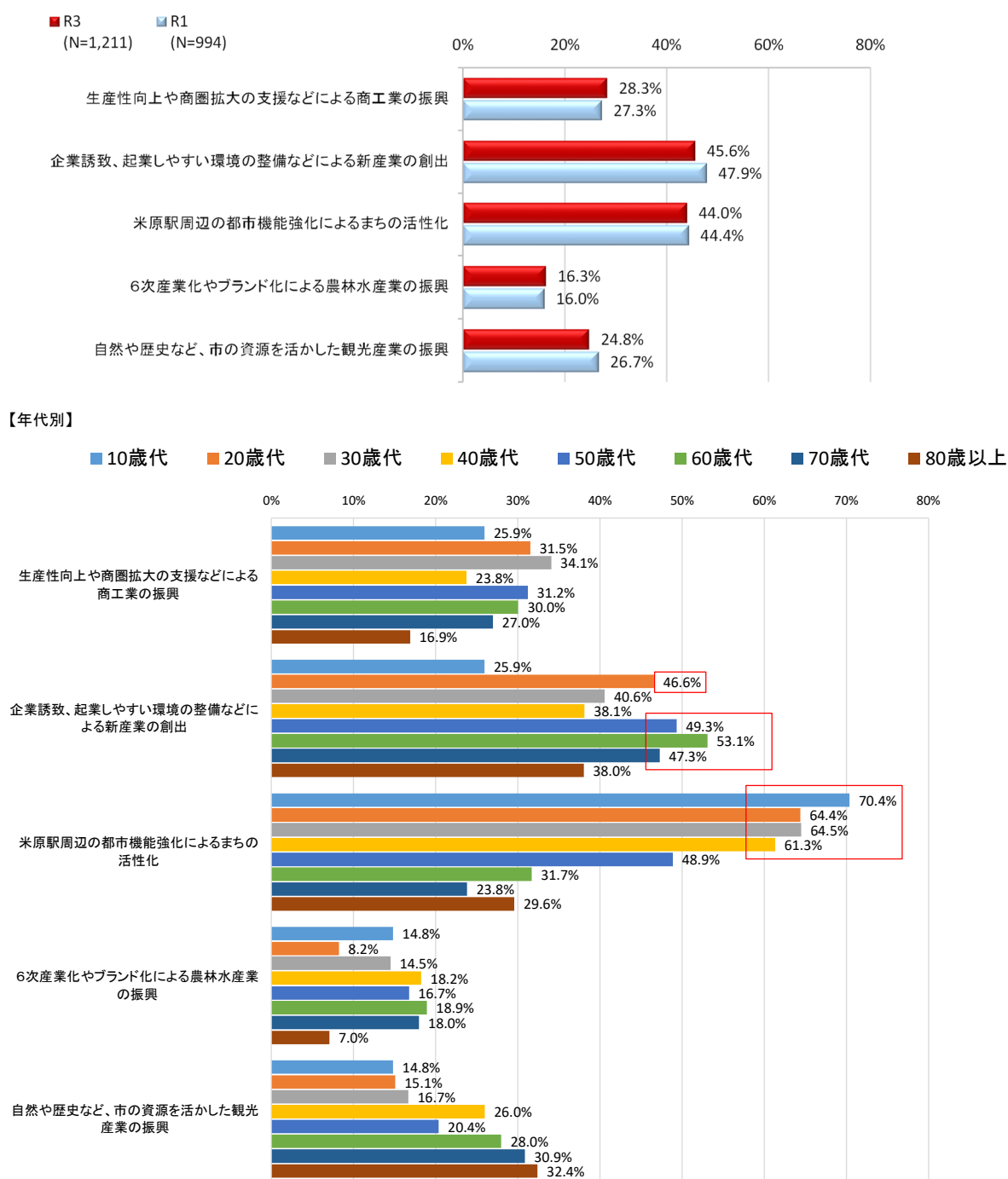
問 31 人口減少に立ち向かい、持続可能な社会を目指して、米原市がどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次のA～Dについて、それぞれお答えください。

A. 地域経済の活性化に関する取組（2つまで）

地域経済の活性化に関する取組について見ると、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新産業の創出」が最も高く 45.6%、次いで「米原駅周辺の都市機能強化によるまちの活性化」が 44.0% となっています。

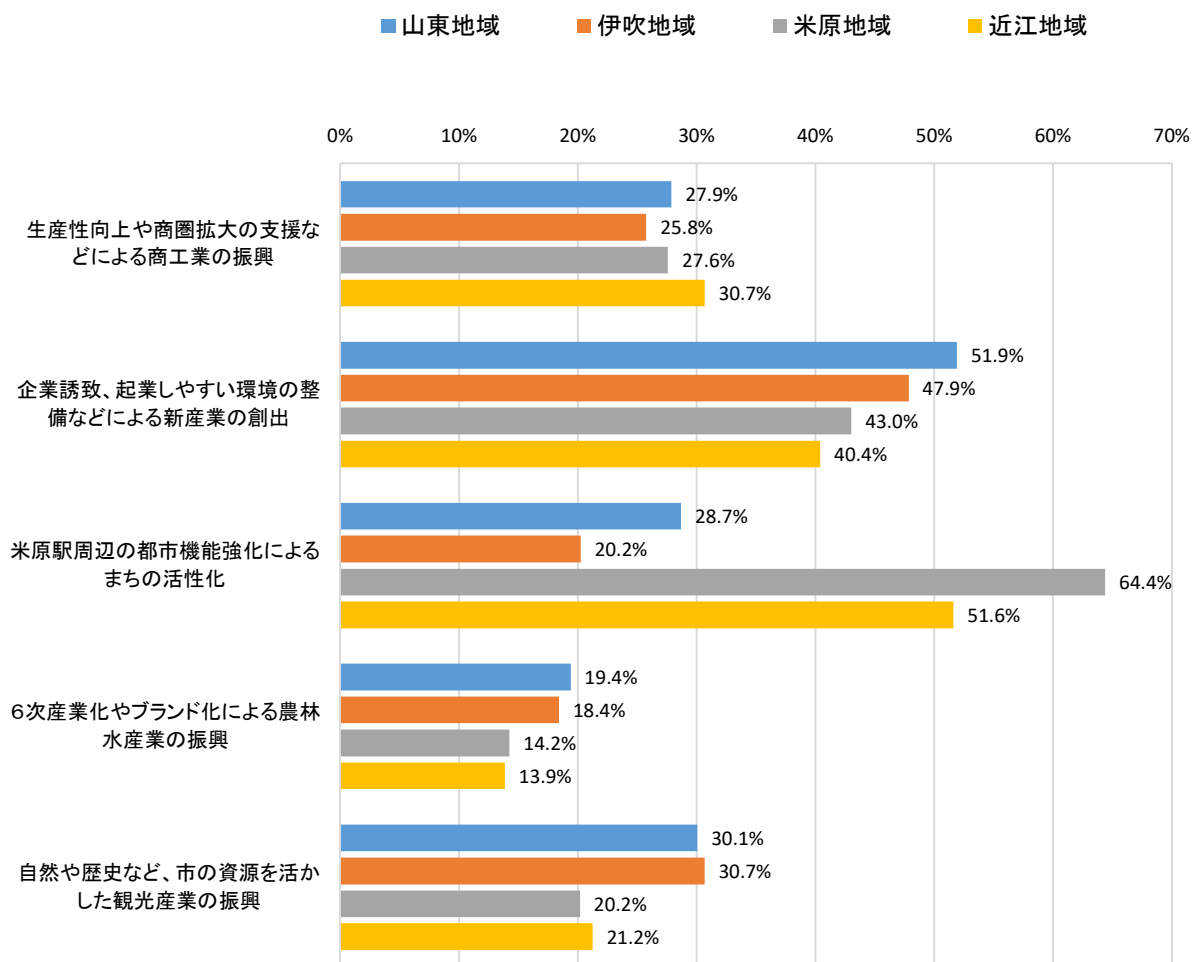
前回調査と比較すると、ほぼ同様な傾向が見られます。

年代別に見ると、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新産業の創出」は 20 歳代、50～70 歳代で高くなっています。「米原駅周辺の都市機能強化によるまちの活性化」は 10～40 歳代で高くなっています。



地域別に見ると、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新産業の創出」では山東地域が、「米原駅周辺の都市機能強化によるまちの活性化」では米原地域が、他の地域よりも高くなっています。

【地域別】



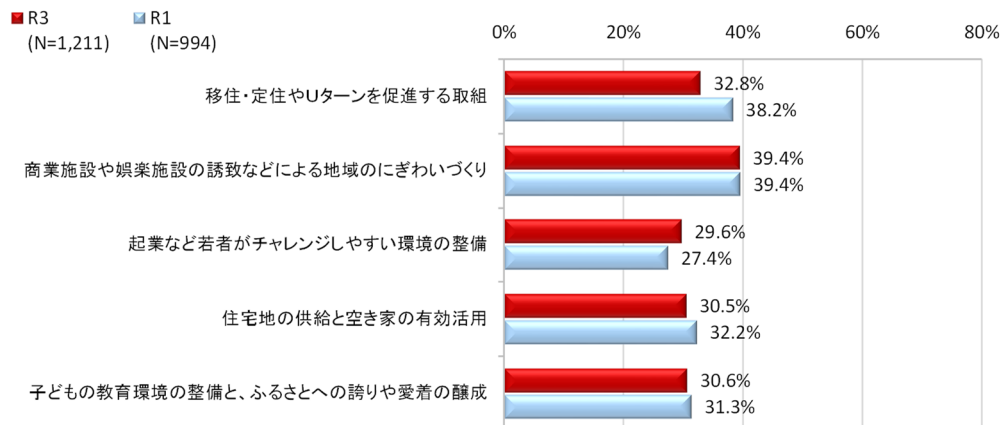
B. 人口の流出抑制と流入促進に関する取組（2つまで）

人口の流出抑制と流入促進に関する取組について見ると、「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」が39.4%で最も高く、次いで「移住・定住やUターンを促進する取組」が32.8%となっています。

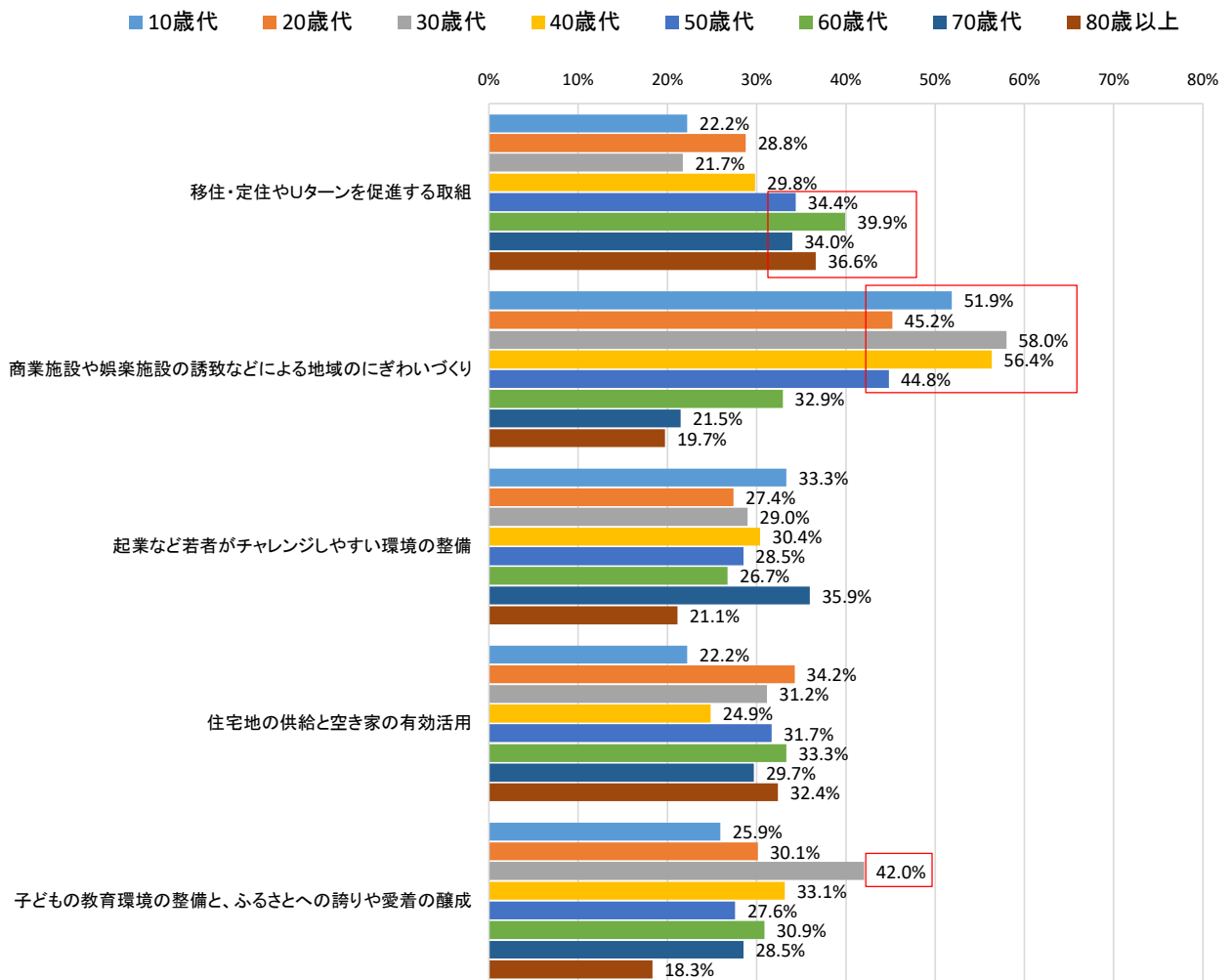
前回調査と比較すると、ほぼ同様な傾向が見られます。

年代別に見ると、「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」は10～50歳代で、「移住・定住やUターンを促進する取組」は50歳代より上の年代でそれぞれ高くなっています。

また、「子どもの教育環境の整備と、ふるさとへの誇りや愛着の醸成」は30歳代が最も高くなっています。



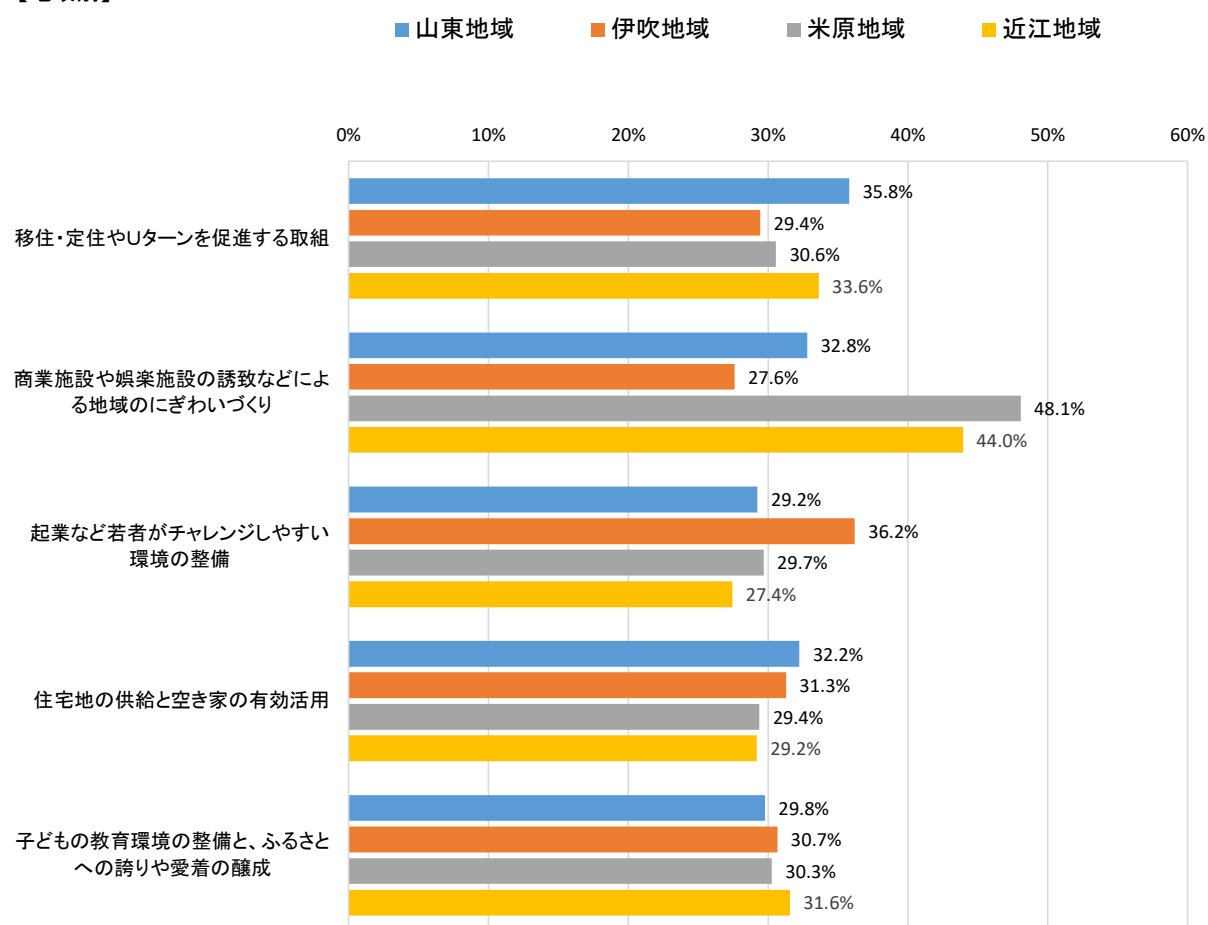
【年代別】



地域別に見ると、「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」では米原地域が、「移住・定住やUターンを促進する取組」では山東地域が、「起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備」では伊吹地域が、他の地域よりも高くなっています。

また、「子どもの教育環境の整備と、ふるさとへの誇りや愛着の醸成」は各地域とも同様な割合になっています。

【地域別】

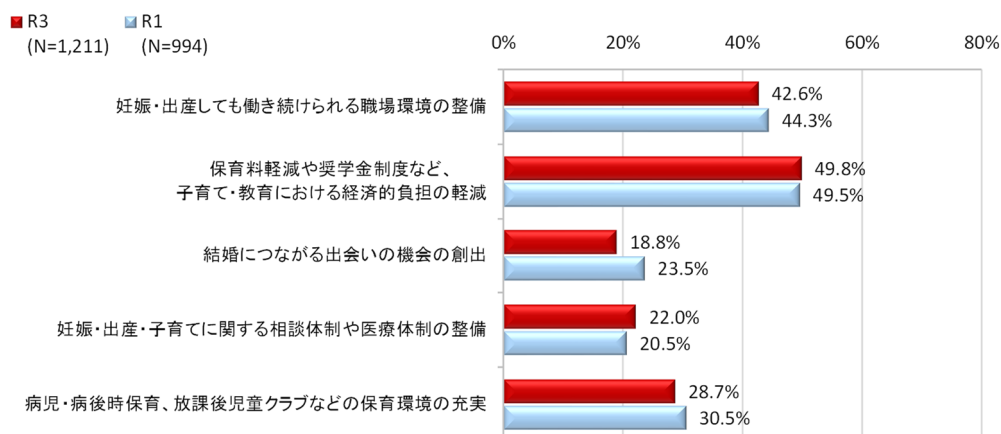


C. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組（2つまで）

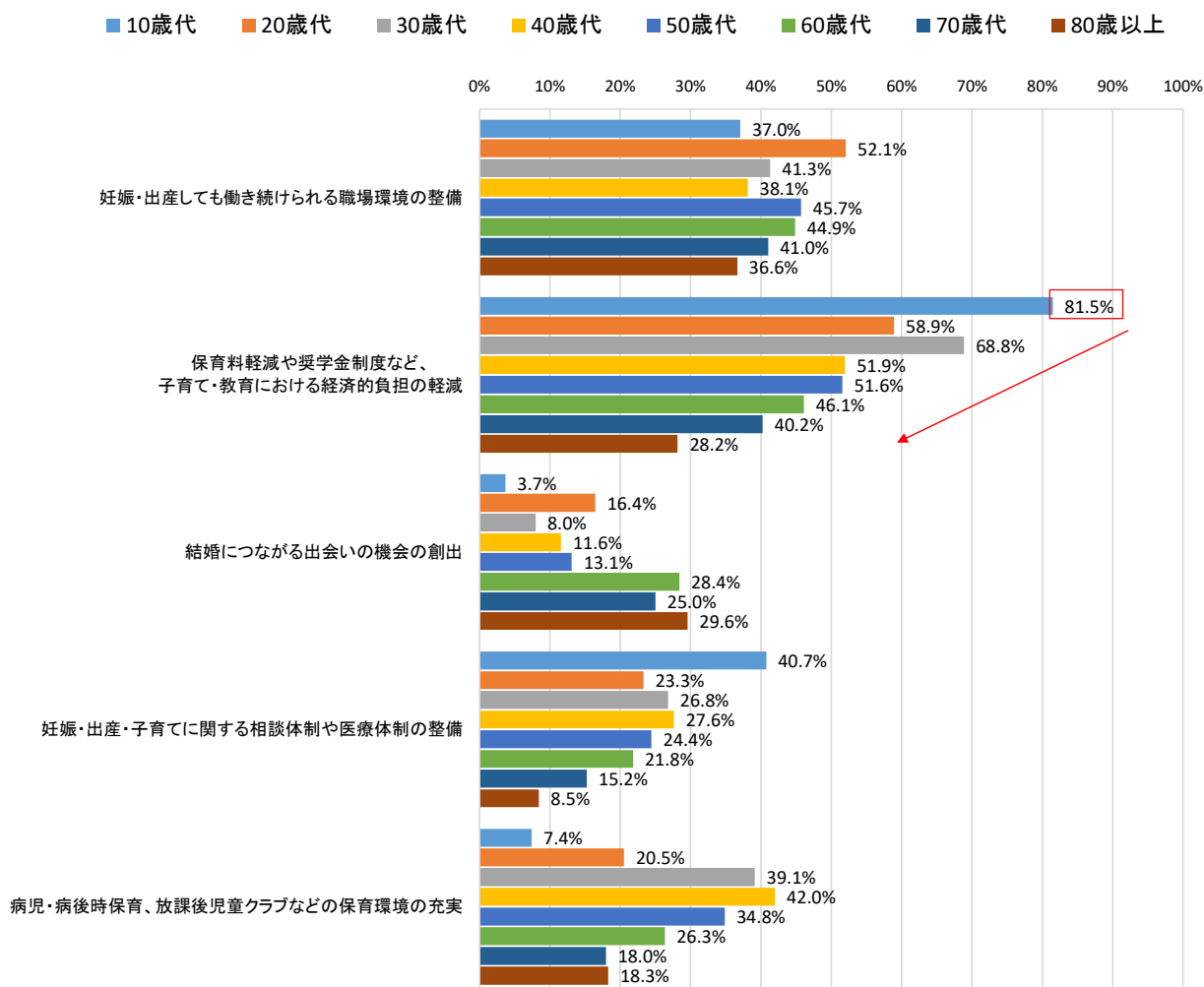
結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組について見ると、「保育料軽減や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」が49.8%と最も高く、次いで「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」が42.6%となっています。

前回調査と比較すると、「結婚につながる出会いの機会の創出」が4.7ポイント低くなっています。その他は、ほぼ同様な傾向が見られます。

年代別に見ると、「保育料軽減や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」は10歳代が最も高くなっており、年代が上がるにつれて低くなる傾向が同えます。

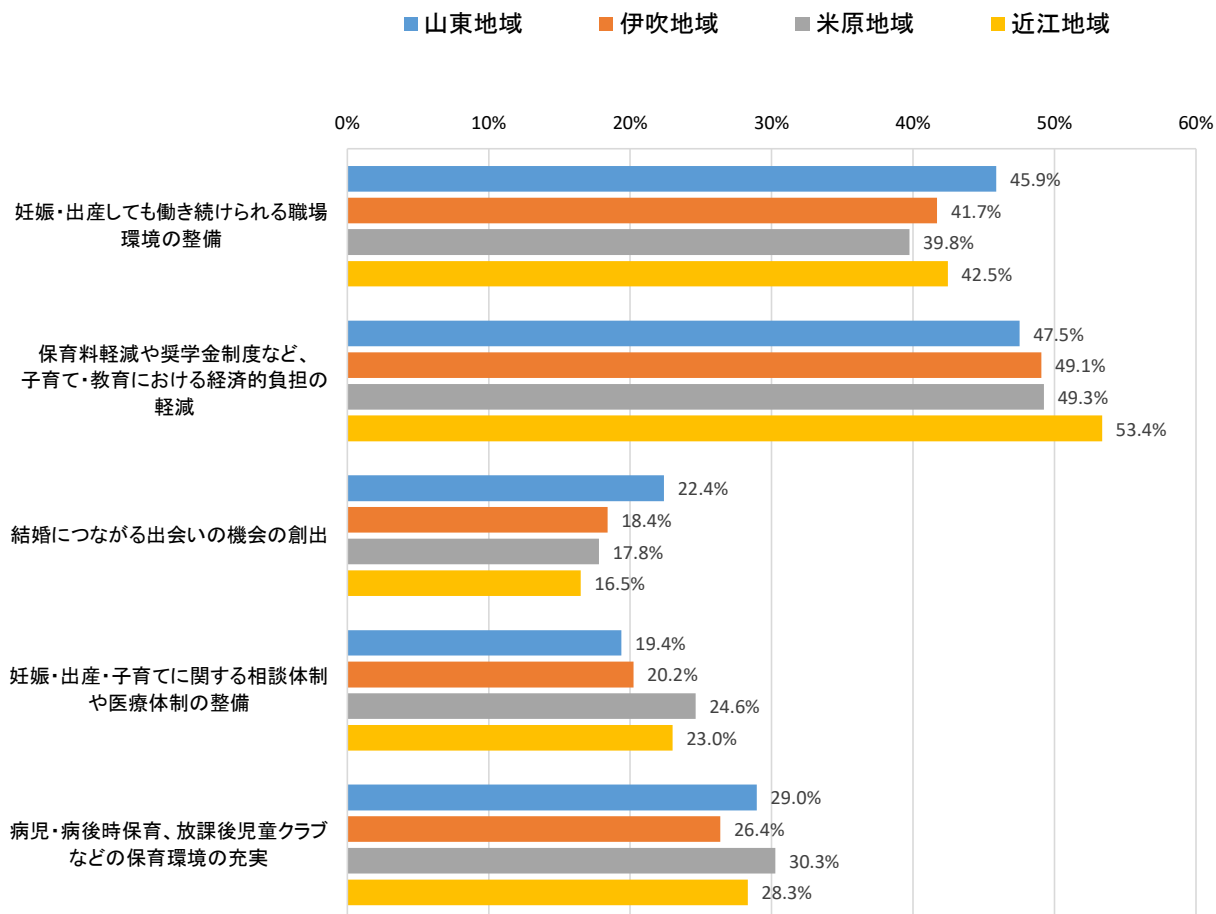


【年代別】



地域別に見ると、「保育料軽減や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」では近江地域が、「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」では山東地域が、他の地域よりも高くなっています。

【地域別】

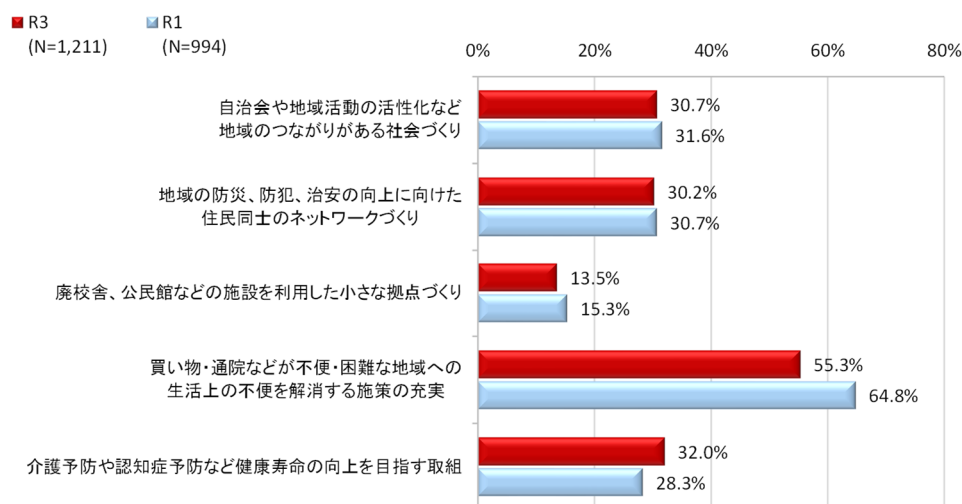


D. 安心して暮らせる地域づくりに関する取組（2つまで）

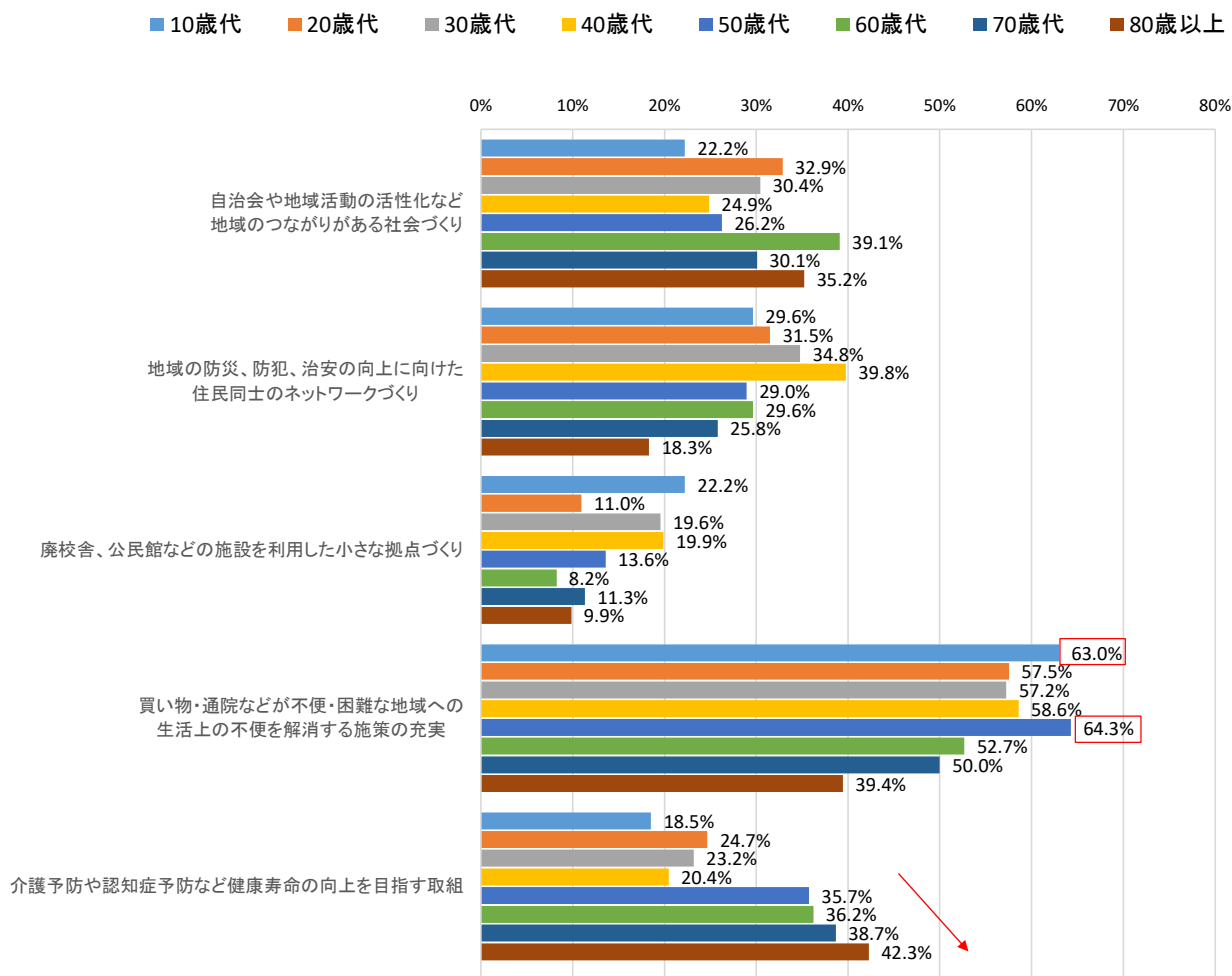
安心して暮らせる地域づくりに関する取組について見ると、「買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実」が55.3%と最も高く、次いで「介護予防や認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組」が32.0%となっています。

前回調査と比較すると、「買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実」が9.5ポイント低くなっています。その他は、ほぼ同様な傾向が見られます。

年代別に見ると、「買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実」は10歳代と50歳代が高く、「介護予防や認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組」は50歳代以降で高い傾向が見られます。

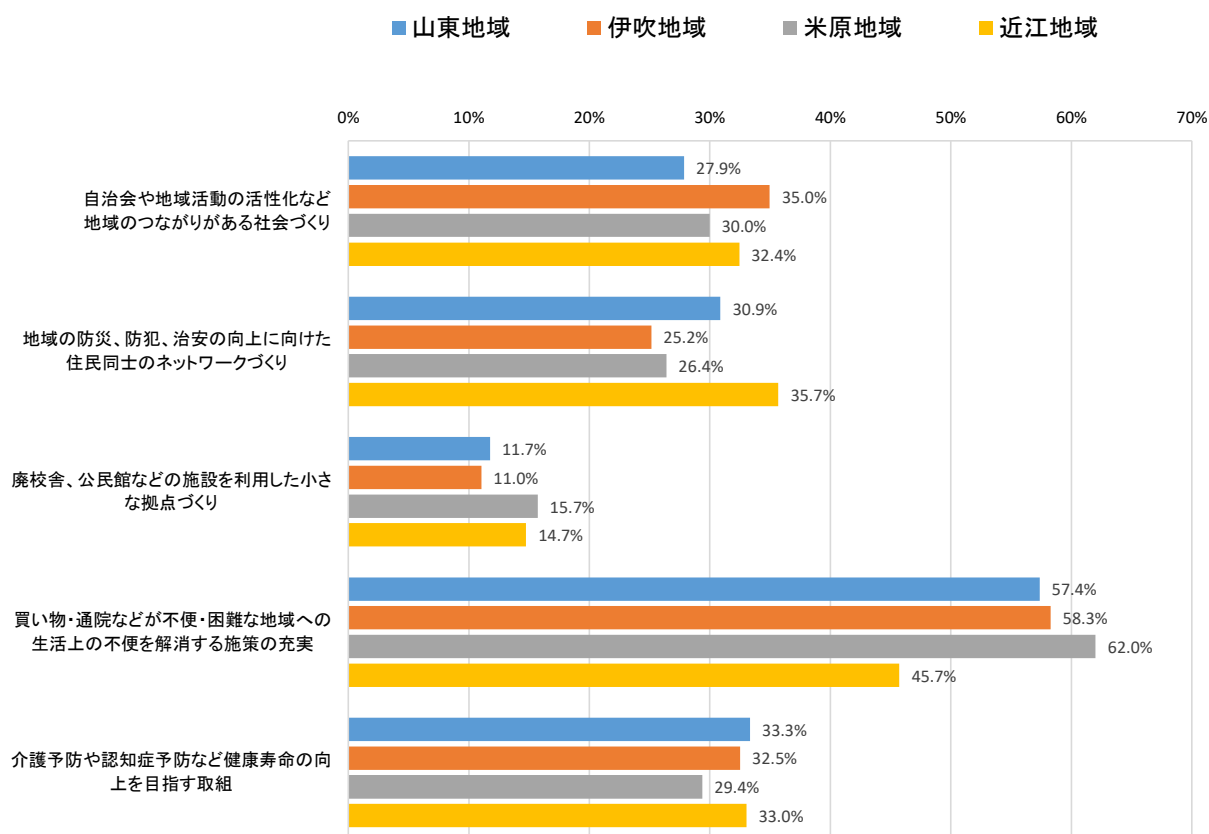


【年代別】



地域別に見ると、「買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実」では近江地域が、「介護予防や認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組」では米原地域が、他の地域よりも低くなっています。

【地域別】

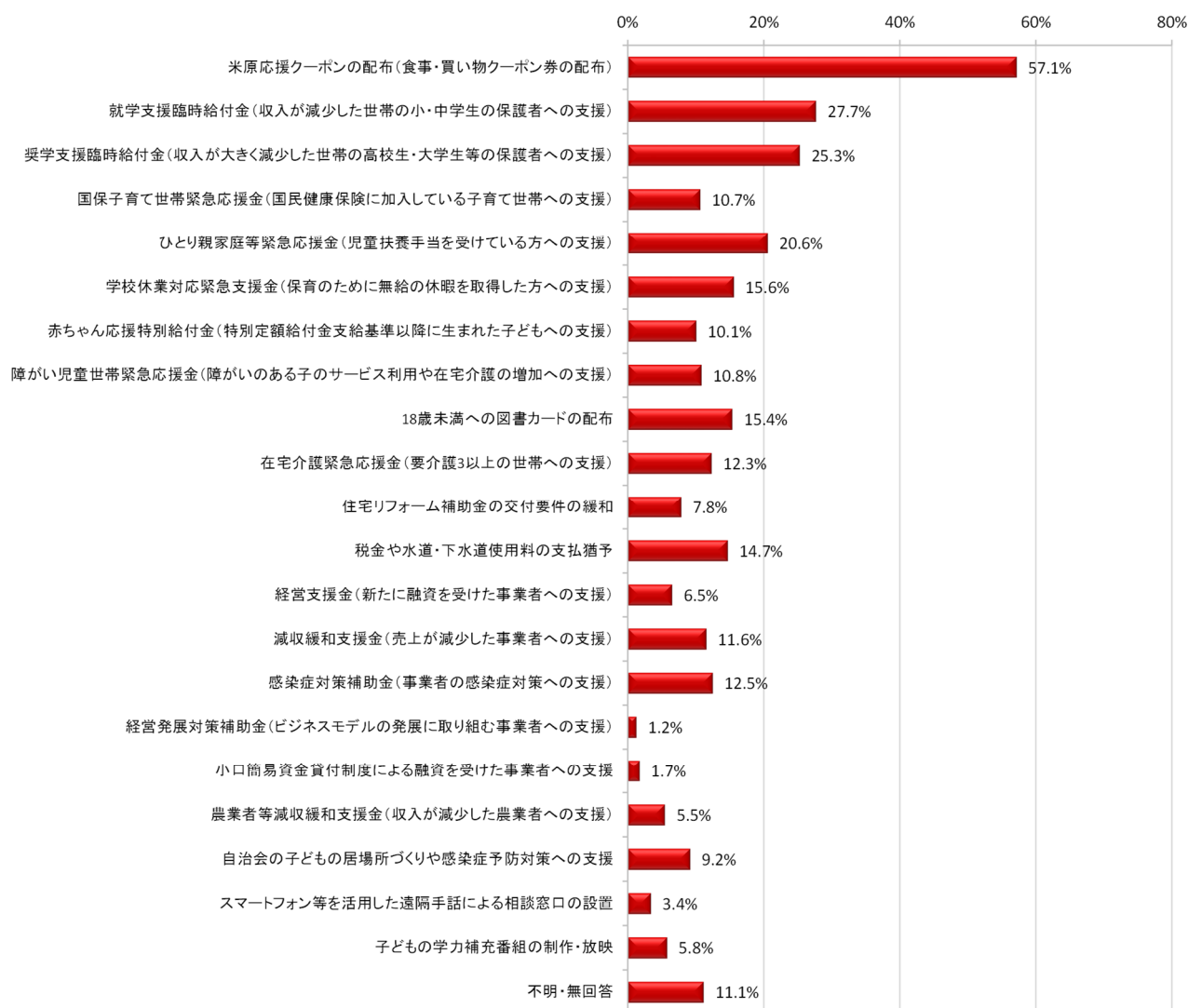


新型コロナウイルス感染症対策について お伺いします。

問 32 あなたは、市が行った新型コロナウイルス感染症対策の個別の施策について、どの施策を評価しますか。(5 つまで)

市が行った新型コロナウイルス感染症対策の個別の施策について見ると、「米原応援クーポンの配布（食事・買い物クーポン券の配布）」が最も高く 57.1%、次いで「就学支援臨時給付金（収入が減少した世帯の小・中学生の保護者への支援）」が 27.7%、「奨学支援臨時給付金（収入が大きく減少した世帯の高校生・大学生等の保護者への支援）」が 25.3%となっています。

(N=1,211)



性別に見ると、全体と同様な割合となっています。

年代別、小学区別でもほぼ同様な傾向が見られますが、年代別では 10 歳代と 30～40 歳代が「18 歳未満への図書カードの配布」、60 歳代と 80 歳以上および柏原小学区と山東小学区、伊吹小学区、河南小学区では「ひとり親家庭等緊急応援金（児童扶養手当を受けている方への支援）」がそれぞれ高くなっています。

※上段は回答数、下段は回答者数に対する割合
各項目で上位 3 番まで着色

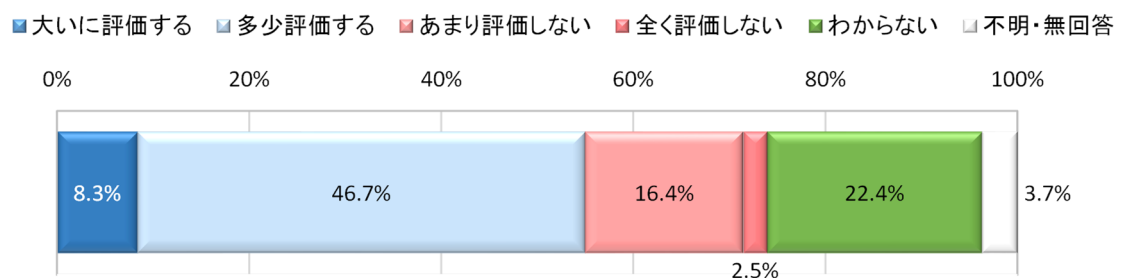
性別	計	米原応援クーポンの配布 （食事・買い物クーポン券の配布）	就学支援臨時給付金（収入が減少した世帯の小・中学生の保護者への支援）	奨学支援臨時給付金（収入が大きく減少した世帯の高校生・大学生等の保護者への支援）	国保子育て世帯緊急応援金（国民健康保険に加入している子育て世帯への支援）	ひとり親家庭等緊急応援金（児童扶養手当を受けている方への支援）	学校休業対応緊急支援金（保育のために無給の休暇を取得した方への支援）	赤ちゃん応援特別給付金（特別定額給付金支給基準以降に生まれた子どもへの支援）	障がい児童世帯緊急応援金（障がいのある子のサービス利用や在宅介護の増加への支援）	18歳未満への図書カードの配布	在宅介護緊急応援金（要介護3以上の世帯への支援）	住宅リフォーム補助金の交付要件の緩和	税金や水道・下水道使用料の支払猶予	経営支援金（新たに融資を受けた事業者への支援）	減収緩和支援金（売上が減少した事業者への支援）	感染症対策補助金（事業者の感染症対策への支援）	経営発展対策補助金（ビジネスモデルの発展に取り組む事業者への支援）	小口簡易資金貸付制度による融資を受けた事業者への支援	農業者等減収緩和支援金（収入が減少した農業者への支援）	自治会の子どもの居場所づくりや感染症予防対策への支援	スマートフォン等を活用した遠隔手話による相談窓口の設置	子どもの学力補充番組の制作・放映	不明・無回答
男性	561	319	148	143	69	111	76	63	49	79	61	44	89	48	62	69	12	11	26	52	16	26	65
	100.0%	56.9%	26.4%	25.5%	12.3%	19.8%	13.5%	11.2%	8.7%	14.1%	10.9%	7.8%	15.9%	8.6%	11.1%	12.3%	2.1%	2.0%	4.6%	9.3%	2.9%	4.6%	11.6%
女性	644	369	185	162	59	137	111	59	82	107	87	51	88	30	77	82	3	9	39	59	25	44	70
	100.0%	57.3%	28.7%	25.2%	9.2%	21.3%	17.2%	9.2%	12.7%	16.6%	13.5%	7.9%	13.7%	4.7%	12.0%	12.7%	0.5%	1.4%	6.1%	9.2%	3.9%	6.8%	10.9%
10歳代	27	15	7	12	5	6	4	3	1	11	0	0	1	0	0	3	0	0	1	1	1	1	2
	100.0%	55.6%	25.9%	44.4%	18.5%	22.2%	14.8%	11.1%	3.7%	40.7%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	7.4%
20歳代	73	47	20	18	8	13	9	8	6	7	3	7	8	6	10	8	1	0	6	4	8	4	2
	100.0%	64.4%	27.4%	24.7%	11.0%	17.8%	12.3%	11.0%	8.2%	9.6%	4.1%	9.6%	11.0%	8.2%	13.7%	11.0%	1.4%	0.0%	8.2%	5.5%	11.0%	5.5%	2.7%
30歳代	138	87	48	39	16	22	41	32	10	43	8	3	19	10	15	19	2	0	9	9	5	7	10
	100.0%	63.0%	34.8%	28.3%	11.6%	15.9%	29.7%	23.2%	7.2%	31.2%	5.8%	2.2%	13.8%	7.2%	10.9%	13.8%	1.4%	0.0%	6.5%	6.5%	3.6%	5.1%	7.2%
40歳代	181	115	46	44	22	24	28	10	19	65	10	9	22	8	19	16	1	2	5	9	8	14	9
	100.0%	63.5%	25.4%	24.3%	12.2%	13.3%	15.5%	5.5%	10.5%	35.9%	5.5%	5.0%	12.2%	4.4%	10.5%	8.8%	0.6%	1.1%	2.8%	5.0%	4.4%	7.7%	5.0%
50歳代	221	130	56	57	19	38	30	27	12	25	27	20	42	25	34	39	4	2	13	12	7	12	21
	100.0%	58.8%	25.3%	25.8%	8.6%	17.2%	13.6%	12.2%	5.4%	11.3%	12.2%	9.0%	19.0%	11.3%	15.4%	17.6%	1.8%	0.9%	5.9%	5.4%	3.2%	5.4%	9.5%
60歳代	243	126	70	59	22	70	45	22	30	15	24	24	36	14	25	28	4	8	11	28	5	14	36
	100.0%	51.9%	28.8%	24.3%	9.1%	28.8%	18.5%	9.1%	12.3%	6.2%	9.9%	9.9%	14.8%	5.8%	10.3%	11.5%	1.6%	3.3%	4.5%	11.5%	2.1%	5.8%	14.8%
70歳代	256	136	73	63	29	59	29	11	39	16	51	26	37	15	29	30	3	7	17	39	6	16	43
	100.0%	53.1%	28.5%	24.6%	11.3%	23.0%	11.3%	4.3%	15.2%	6.3%	19.9%	10.2%	14.5%	5.9%	11.3%	11.7%	1.2%	2.7%	6.6%	15.2%	2.3%	6.3%	16.8%
80歳以上	71	35	15	14	8	17	3	9	14	4	26	6	13	1	8	8	0	2	4	9	1	2	12
	100.0%	49.3%	21.1%	19.7%	11.3%	23.9%	4.2%	12.7%	19.7%	5.6%	36.6%	8.5%	18.3%	1.4%	11.3%	11.3%	0.0%	2.8%	5.6%	12.7%	1.4%	2.8%	16.9%
柏原小学区	102	61	33	24	12	28	14	8	12	18	15	11	14	10	10	14	1	1	8	14	4	11	8
	100.0%	59.8%	32.4%	23.5%	11.8%	27.5%	13.7%	7.8%	11.8%	17.6%	14.7%	10.8%	13.7%	9.8%	9.8%	13.7%	1.0%	1.0%	7.8%	13.7%	3.9%	10.8%	7.8%
大原小学区	135	77	40	37	18	26	27	10	12	22	23	9	24	11	21	17	3	1	11	12	4	7	12
	100.0%	57.0%	29.6%	27.4%	13.3%	19.3%	20.0%	7.4%	8.9%	16.3%	17.0%	6.7%	17.8%	8.1%	15.6%	12.6%	2.2%	0.7%	8.1%	8.9%	3.0%	5.2%	8.9%
山東小学区	129	69	37	29	6	37	18	18	17	16	18	18	26	8	14	22	0	1	9	9	3	7	13
	100.0%	53.5%	28.7%	22.5%	4.7%	28.7%	14.0%	14.0%	13.2%	12.4%	14.0%	14.0%	20.2%	6.2%	10.9%	17.1%	0.0%	0.8%	7.0%	7.0%	2.3%	5.4%	10.1%
伊吹小学区	65	31	16	16	7	12	10	7	8	8	6	5	5	6	7	6	1	0	4	6	2	2	12
	100.0%	47.7%	24.6%	24.6%	10.8%	18.5%	15.4%	10.8%	12.3%	12.3%	9.2%	7.7%	7.7%	9.2%	10.8%	9.2%	1.5%	0.0%	6.2%	9.2%	3.1%	3.1%	18.5%
春照小学区	98	50	33	32	9	18	14	8	10	12	9	7	16	9	10	10	0	2	3	12	3	5	12
	100.0%	51.0%	33.7%	32.7%	9.2%	18.4%	14.3%	8.2%	10.2%	12.2%	9.2%	7.1%	16.3%	9.2%	10.2%	10.2%	0.0%	2.0%	3.1%	12.2%	3.1%	5.1%	12.2%
米原小学区	240	141	60	54	22	34	40	29	22	41	27	9	35	13	24	33	1	5	15	21	8	9	31
	100.0%	58.8%	25.0%	22.5%	9.2%	14.2%	16.7%	12.1%	9.2%	17.1%	11.3%	3.8%	14.6%	5.4%	10.0%	13.8%	0.4%	2.1%	6.3%	8.8%	3.3%	3.8%	12.9%
河南小学区	97	58	20	24	14	22	10	10	10	16	14	9	14	5	16	11	1	5	1	7	3	7	13
	100.0%	59.8%	20.6%	24.7%	14.4%	22.7%	10.3%	10.3%	10.3%	16.5%	14.4%	9.3%	14.4%	5.2%	16.5%	11.3%	1.0%	5.2%	1.0%	7.2%	3.1%	7.2%	13.4%
息長小学区	117	69	33	33	13	19	20	9	17	19	17	11	14	6	14	13	1	0	3	14	5	9	12
	100.0%	59.0%	28.2%	28.2%	11.1%	16.2%	17.1%	7.7%	14.5%	16.2%	14.5%	9.4%	12.0%	5.1%	12.0%	11.1%	0.9%	0.0%	2.6%	12.0%	4.3%	7.7%	10.3%
坂田小学区	222	134	63	57	28	53	36	23	23	34	20	16	30	11	24	25	6	6	12	15	9	13	18
	100.0%	60.4%	28.4%	25.7%	12.6%	23.9%	16.2%	10.4%	10.4%	15.3%	9.0%	7.2%	13.5%	5.0%	10.8%	11.3%	2.7%	2.7%	5.4%	6.8%	4.1%	5.9%	8.1%

問 33 あなたは、市が行った新型コロナウイルス感染症対策全般についての施策をどう評価しますか。(1 つ)

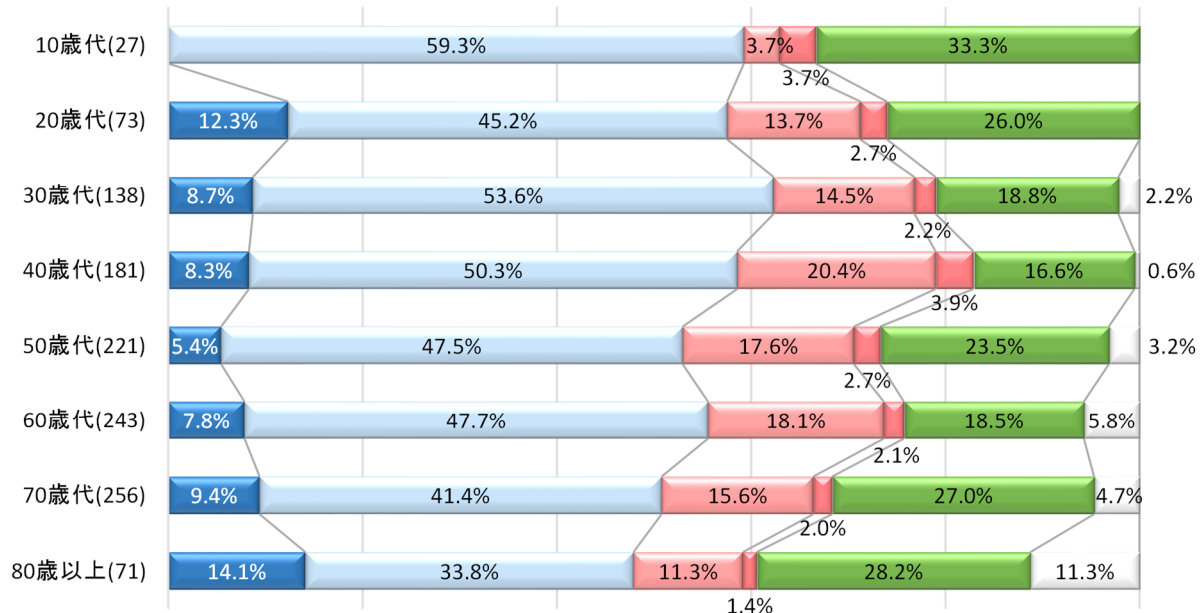
市が行った新型コロナウイルス感染症対策全般についての施策の評価について、「大いに評価する」と「多少評価する」を合わせた『評価する』は 55.0%となっており、半数以上の市民から評価が得られています。

年代別に見ると、「大いに評価する」は 80 歳以上で 14.1%、「全く評価しない」は 40 歳代で 3.9%と、それぞれ他の年代より高くなっています。

(N=1,211)



【年代別】



自由記述欄

問 34 あなたが、米原市に住んでいて感じることや、これからのまちづくりに対する意見、またこのアンケートに回答する中で気が付いたことなどを、ご自由にお書きください。

(※自由記述のため未掲載、回答割合は以下のとおりです。)

(N=1,211)

